

令和2年度

『オーテピア高知図書館サービス計画』に基づくアンケート調査

最終報告

令和3年2月25日

目次

1	調査の概要.....	5
1.1	調査目的.....	5
1.2	調査設計.....	5
1.3	調査票配布数、回収状況と標本抽出方法.....	5
1.4	調査結果の見方.....	6
2	調査結果【関係機関・団体】.....	7
2.1	調査結果の概要.....	7
2.2	【問 2】 所在地.....	8
2.3	【問 3】 サービスの認知度と利用度.....	9
2.4	【問 4】 サービスの満足度.....	12
2.5	【問 5】 情報の入手方法.....	14
2.6	【問 6】 図書館活用の役立ち.....	15
2.7	【問 7】 サービスの事例.....	16
2.8	【問 9】 サービス期待.....	17
2.9	クロス集計【問 5】 × 【問 9】.....	18
2.10	クロス集計【問 6】 × 【問 9】.....	19
2.11	クロス集計【問 6】 × 【問 5】 × 【問 9】.....	20
3	調査結果【関係機関・団体_学校】.....	21
3.1	調査結果の概要.....	21
3.2	【問 2】 サービスの認知度と利用度.....	22
3.3	【問 3】 サービスの満足度.....	25
3.4	【問 4】 資料・情報の入手方法.....	27
3.5	【問 5】 情報源の活用.....	28
3.6	【問 6】 サービスへの期待.....	29
3.7	【問 7】 品ぞろえに期待する分野.....	31
3.8	クロス集計【問 4】 × 【問 5】.....	33
3.9	クロス集計【問 4】 × 【問 6】.....	34
3.10	クロス集計【問 5】 × 【問 6】.....	43

4	調査結果【バリアフリーサービス】.....	53
4.1	調査結果の概要.....	53
4.2	【問 1】 年齢.....	54
4.3	【問 2】 居住地	55
4.4	【問 3】 障害の様態.....	56
4.5	【問 4】 オーテピア高知図書館・高知声と点字の図書館への来館状況	57
4.6	【問 5】 バリアフリーサービスの認知度と利用度.....	62
4.7	【問 6】 バリアフリーサービスの満足度	66
4.8	【問 7】 バリアフリーサービスを利用しない理由	89
4.9	【問 8】 情報の入手方法.....	93
4.10	クロス集計 【問 5】 × 【問 2】 × 【問 7】.....	97
4.11	クロス集計 【問 5】 × 【問 3】 × 【問 7】.....	98
4.12	クロス集計 【問 5】 × 【問 8】.....	99
5	調査結果【行政職員】.....	101
5.1	調査結果の概要	101
5.2	【問 1】 職種.....	102
5.3	【問 2】 年齢.....	103
5.4	【問 3】 職位.....	104
5.5	【問 4】 勤務先の部局名.....	106
5.6	【問 5】 共通利用カードの有無.....	109
5.7	【問 6】 サービスや取り組みの認知度と利用度.....	110
5.8	【問 7】 情報の入手方法.....	173
5.9	【問 8】 図書館活用の役立ち	178
5.10	【問 8-1】 役立たないと思う理由.....	183
5.11	【問 9】 サービスの期待	188
5.12	クロス集計 【問 7】 × 【問 9】.....	193
5.13	クロス集計 【問 8】 × 【問 9】.....	194
5.14	クロス集計 【問 7】 × 【問 8】 × 【問 9】.....	195
6	関係機関・団体【問 7】 事例.....	197
6.1	調べものの案内(レファレンスサービス)	197

6.2 貸し施設(ホール・研修室・集会室)	197
6.3 チラシやパンフレットの館内設置.....	197
6.4 貴重資料の画像データの提供.....	197
6.5 貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示	197
6.6 出前図書館の実施	198
6.7 図書館活用方法の説明のための講師派遣	198
6.8 イベント、セミナーに参加して良かった等	198
6.9 専門知識の取得ができた等	198
6.10 オープンピアを通して、業務の周知に役立った等	198
6.11 その他.....	199
7 自由意見.....	201
7.1 「アンケートでサービスや取り組みを知った」「今後、利用・活用していきたい」等	201
7.2 「サービスや取り組み」「手続き・システム・インターネット関連」への要望・提案等	205
7.3 「利用していた感想やお礼」「利用している」等(分室・分館を含む)	209
7.4 館内(環境・設備・誘導案内等)と駐車場	214
7.5 図書館利用を増やすために「期待する情報発信や企画、取り組み」等	218
7.6 「期待する図書館像」「応援しています」等.....	223
7.7 「専門性の向上」「対応や接遇」など職員について	225
7.8 蔵書・視聴覚資料についての要望、感想等	227
7.9 利用しづらい、できない.....	229
7.10 その他	231
8 調査票.....	235
8.1 関係機関・団体	235
8.2 関係機関・団体_学校	239
8.3 バリアフリーサービス	243
8.4 行政職員.....	247

1 調査の概要

1.1 調査目的

『オーテピア高知図書館サービス計画』の改訂にあたり、社会情勢が変化し、県民の価値観が多様化する中であって、県民や関係機関・団体等の図書館サービスへのニーズ等を把握し、改訂版サービス計画の策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。

1.2 調査設計

- 調査期間 令和2年9月18日(金)から10月13日(火)
- 実施機関 高知県立図書館
- 調査機関 株式会社クリケット「季刊高知編集部」

1.3 調査票配布数、回収状況と標本抽出方法

		配布数	回収数	回収率
関係機関・団体	※1	90 票	78 票	86.7%
関係機関・団体(学校)	※2	110 票	99 票	90.0%
バリアフリーサービス	※3	1,000 票	610 票	61.0%
行政(県・市)	※4	約 8,200 票	1,715 票	約 20.9%

※1 オーテピア高知図書館の課題解決支援サービス(ビジネス支援サービス、健康・安心・防災情報サービス)に関連する関係機関・団体のうち90箇所を選定し実施。

※2 高知県立学校(中学校、高等学校)、高知市立学校(小学校、中学校、義務教育学校)、高知大学附属学校(小学校・中学校)、学校法人(県内に所在する小学校、中学校、高等学校の設置母体)110箇所を対象に実施。

※3 県内に所在する特別支援学校、視覚障害・聴覚障害・身体障害・知的障害・発達障害・難病等の関係団体、高齢者介護施設の92箇所に対して、団体の構成員や施設利用者等への調査票の配布及び回答協力の呼びかけを依頼する形で実施。配布総数1,000票(一部、点字版やメールにて配布)。

※4 高知県・高知市それぞれの行政端末のアンケートシステムを利用し、県市職員を対象として実施。個人端末を有しない職員もいるため、回収率は概数の扱いとする。

1.4 調査結果の見方

- (1) 図表の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、択一設問の合計が100%にならない場合がある。また、質問項目への回答は、「○は1つだけ」、「○はいくつでも」などの方法を採用している。したがって複数回答の質問は構成比を合計すると100%以上になる。
- (2) 前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問については、その特定の回答をした票数を有効回答票数として構成比を算出した。
- (3) 記述によるご意見については、基本的に原文ママとし、明らかな誤字・脱字等は修正するとともに、内容が重複しているものについては集約した。

2 調査結果【関係機関・団体】

2.1 調査結果の概要

サービス認知度と利用度(P9-11)をみると、認知度については「貸し施設」が93.6%と最も多く、次いで、「調べものの案内(レファレンスサービス)」が76.9%、「データベースの提供」が73.1%と続いた。一方で、「ブックリストの作成・提供」と「図書館の活用方法やサービス周知のための講師派遣」は33.3%と最も少なくなっている。

また、利用度については、「チラシやパンフレットの館内配置」は認知している回答者の49.1%が利用したことがあると回答し、次いで、「貸し施設」が32.9%、「貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示」が23.9%、「出前図書館の実施」が21.9%と続き、その他のサービスは20%未満となっている。

サービスの満足度(P12-13)をみると、すべてのサービスにおいて満足(大いに・だいたい)していると回答した割合が95%以上となっている。やや不満と回答があった「貸し施設」では、「駐車場がないため車では不便」といったことが理由として挙げられている。

情報の入手方法(P14)をみると、「インターネットの閲覧」が91.0%で最も多くなっており、次いで、「書籍の購入」が76.9%、「専門分野の雑誌の購入」が59.0%と続いている。

また、「オーテピア高知図書館の利用」は20.5%、「近隣の市町村立図書館」は5.1%となっている。

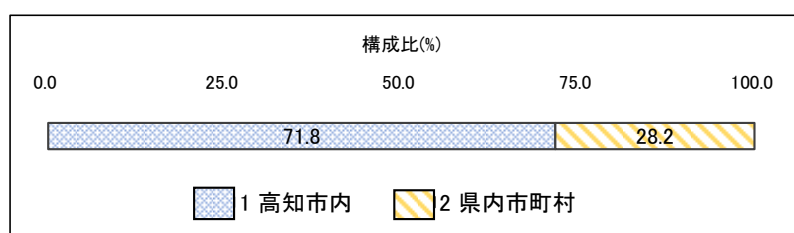
図書館活用の役立ち(P15)をみると、図書館活用が業務に役立つと思うと回答した割合が、84.6%と大半を占めており、一方で、役立つと思わないと回答した割合は、10.3%となっている。

サービス期待(P17)をみると、「本や雑誌の品ぞろえ」が61.1%と最も多く、次いで、「図書館の場や資源を活用した広報活動」が34.7%、「特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ」、「セミナーや相談会での連携」が33.3%と続いている。一方で、「特に健康づくりや防災に役立つ本や雑誌の品ぞろえ」、「新しいコミュニケーションを活用した調べものの相談」が16.7%と最も少なくなっている。

2.2 【問 2】所在地

貴所の所在地を教えてください。(県内に複数の事業所がある場合は、中心となる事業所の所在地)

	回答票数	構成比(%)
	N=78	100.0
1 高知市内	56	71.8
2 県内市町村	22	28.2

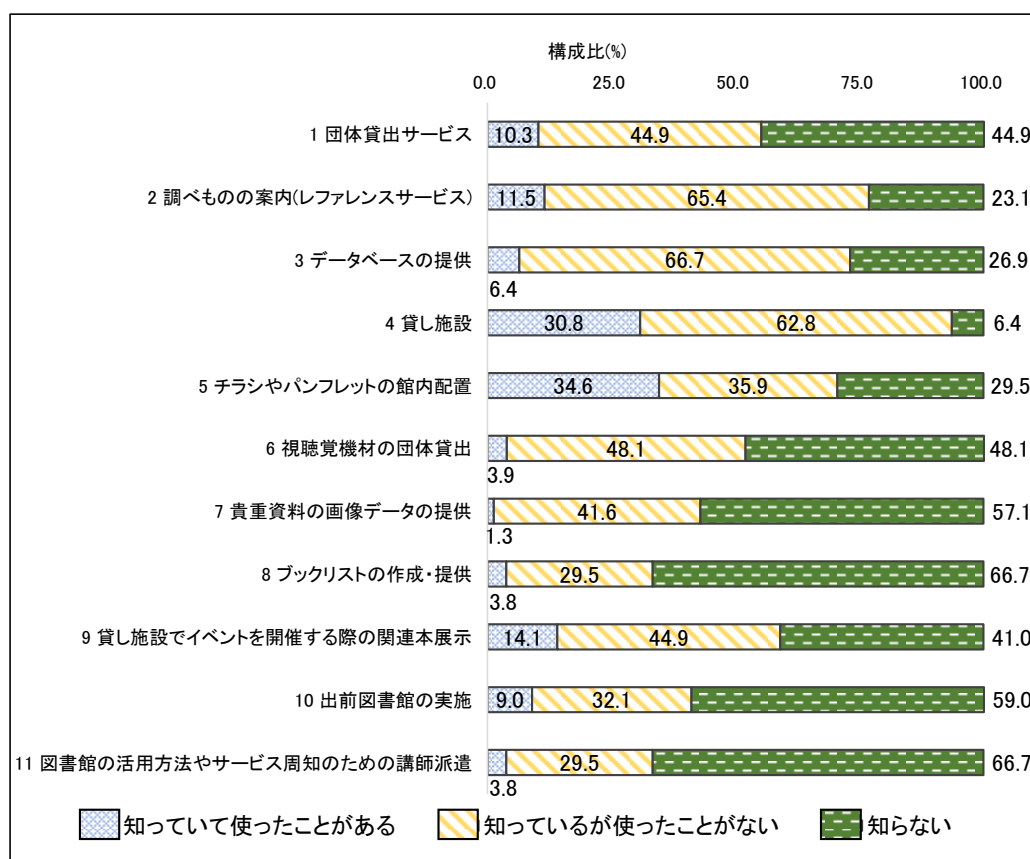


回答者の事業所の所在地を尋ねたところ、「高知市内」は 71.8%、「県内市町村」は 28.2% となっている。

2.3 【問 3】サービスの認知度と利用度

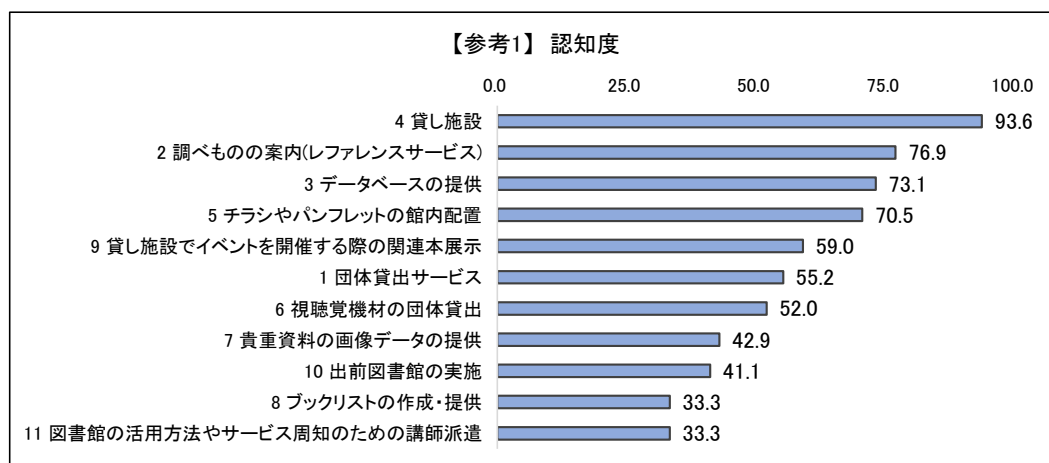
オーテピア高知図書館が提供している以下のサービスや取組を知っていますか。また貴所の業務に関連して、これらのサービスを利用したり、連携した取組をしたことはありますか。
(①～⑪のそれぞれ該当する枠に○をつけてください)【各項目いずれかに○を1つだけ】

		こ と が あ い る 使 っ た	た 知 こ と が い る が 使 っ た	知 ら な い
1 団体貸出サービス	N=78	8	35	35
2 調べものの案内(レファレンスサービス)	N=78	9	51	18
3 データベースの提供	N=78	5	52	21
4 貸し施設	N=78	24	49	5
5 チラシやパンフレットの館内配置	N=78	27	28	23
6 視聴覚機材の団体貸出	N=77	3	37	37
7 貴重資料の画像データの提供	N=77	1	32	44
8 ブックリストの作成・提供	N=78	3	23	52
9 貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示	N=78	11	35	32
10 出前図書館の実施	N=78	7	25	46
11 図書館の活用方法やサービス周知のための講師派遣	N=78	3	23	52



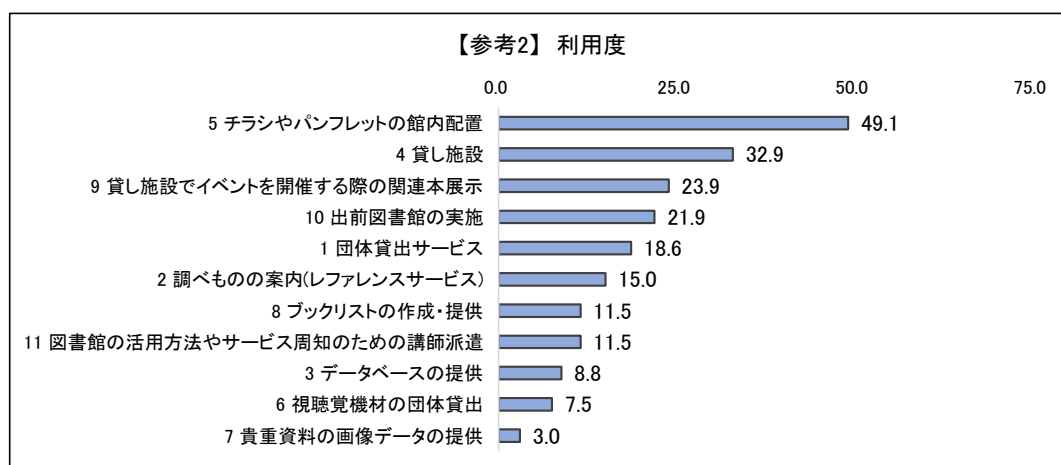
提供しているサービスや取組の認知度、利用の有無を尋ねたところ、知っていて使ったことがあると回答した割合は、「チラシやパンフレットの館内配置」が 34.6%で最も多く、次いで、「貸し施設」が 30.8%、「貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示」が 14.1%と続いている。また、知っているが使ったことがないと回答した割合は、「データベースの提供」が 66.7%と最も多く、次いで、「調べものの案内(レファレンスサービス)」が 65.4%、「貸し施設」が 62.8%と続いている。知らないと回答した割合は、「ブックリストの作成・提供」、「図書館の活用方法やサービス周知のための講師派遣」が 66.7%で最も多く、次いで、「出前図書館の実施」が 59.0%と続いている。

【参考1】サービスの認知度について



利用の有無を問わず、サービスや取組の認知度をみると、「貸し施設」が 93.6%で最も多く、次いで、「調べものの案内(レファレンスサービス)」が 76.9%、「データベースの提供」が 73.1%と続いている。

【参考2】サービスの利用度について

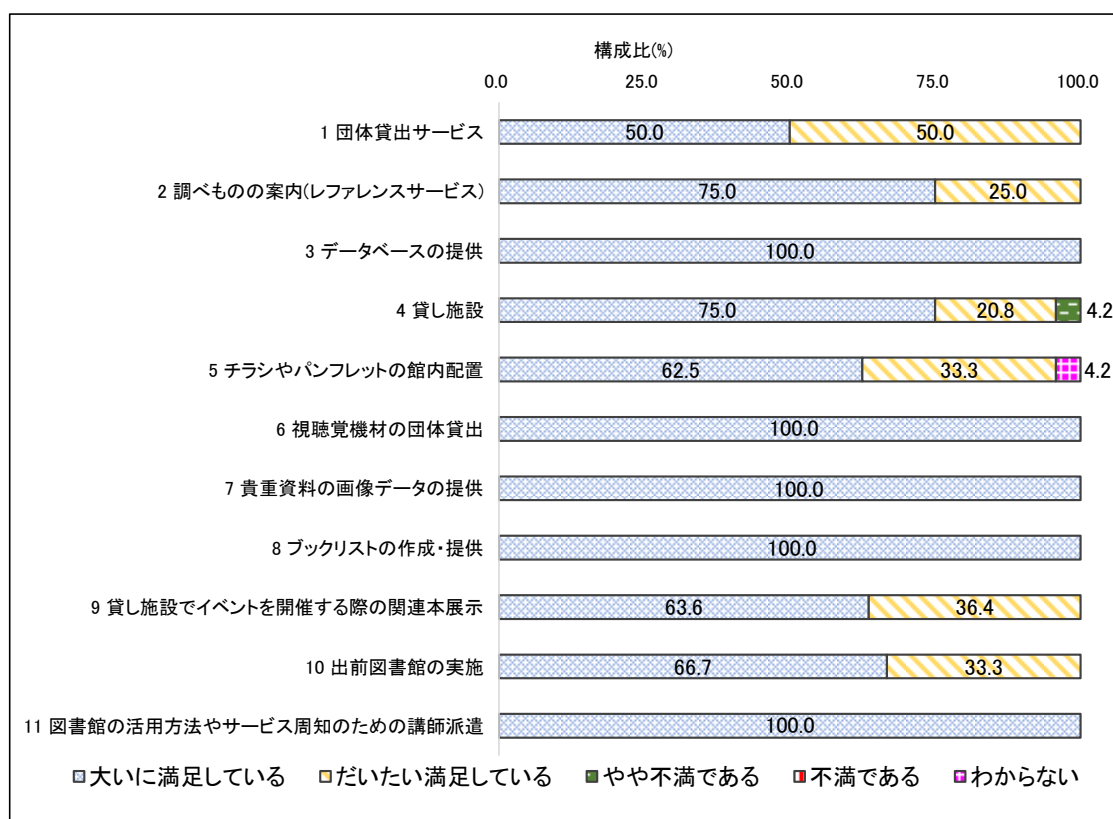


サービスや取組を知っている回答者のうち、その利用度をみると、「チラシやパンフレットの館内配置」が 49.1%で最も多く、次いで、「貸し施設」が 32.9%、「貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示」が 23.9%と続いている。

2.4 【問 4】 サービスの満足度

問3で「知っていて使ったことがある」と答えた機関・団体におたずねします。利用したサービスについて、どのように感じましたか。(問3で「知っていて使ったことがある」サービスのみ、該当する枠に○をつけてください。「やや不満である」・「不満である」の場合、理由もお聞かせください。)【各項目いずれかに○を1つだけ】

		る大いに満足している	いたい満足している	やや不満である	不満である	わからない
1 団体貸出サービス	N=8	4	4	0	0	0
2 調べものの案内(レファレンスサービス)	N=8	6	2	0	0	0
3 データベースの提供	N=4	4	0	0	0	0
4 貸し施設	N=24	18	5	1	0	0
5 チラシやパンフレットの館内配置	N=24	15	8	0	0	1
6 視聴覚機材の団体貸出	N=3	3	0	0	0	0
7 貴重資料の画像データの提供	N=1	1	0	0	0	0
8 ブックリストの作成・提供	N=3	3	0	0	0	0
9 貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示	N=11	7	4	0	0	0
10 出前図書館の実施	N=6	4	2	0	0	0
11 図書館の活用方法やサービス周知のための講師派遣	N=3	3	0	0	0	0



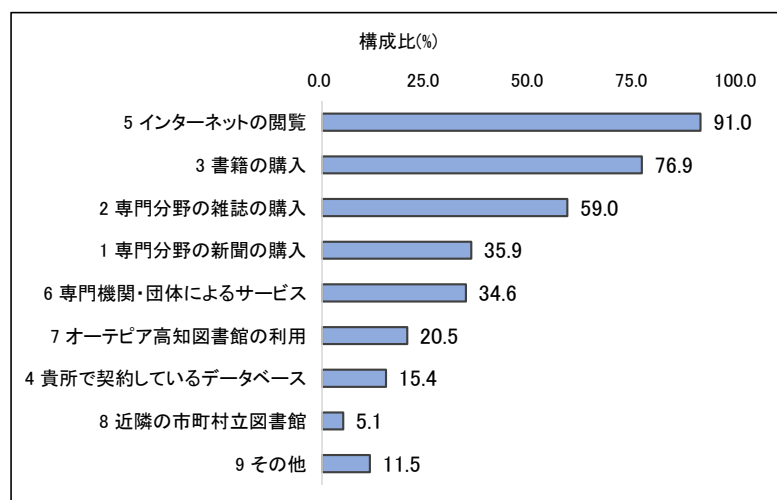
サービスの満足度を尋ねたところ、大いに満足していると回答した割合は、「調べものの案内(レファレンスサービス)」、「貸し施設」が 75.0%で最も多く、次いで、「出前図書館の実施」が 66.7%、「貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示」が 63.6%と続いている。だいたい満足していると回答した割合は、「団体貸出サービス」が 50.0%で最も多く、次いで、「貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示」が 36.4%、「チラシやパンフレットの館内配置、出前図書館の実施」が 33.3%と続いている。やや不満であると回答した割合は、「貸し施設」のみで 4.2%となっている。不満であるという回答はなかった。

※有効回答票数が 5 票未満の項目は省略

2.5 【問 5】 情報の入手方法

普段、貴所では、業務で必要な情報をどのように入手していますか。【〇はいくつでも】

	回答票数	構成比(%)
	N=78	100.0
1 専門分野の新聞の購入	28	35.9
2 専門分野の雑誌の購入	46	59.0
3 書籍の購入	60	76.9
4 貴所で契約しているデータベース	12	15.4
5 インターネットの閲覧	71	91.0
6 専門機関・団体によるサービス	27	34.6
7 オーテピア高知図書館の利用	16	20.5
8 近隣の市町村立図書館	4	5.1
9 その他	9	11.5

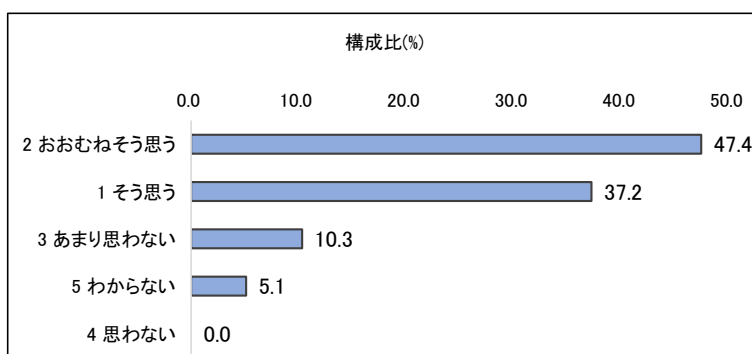


業務で必要な情報をどのように入手しているか尋ねたところ、「インターネットの閲覧」が91.0%で最も多く、次いで、「書籍の購入」が76.9%、「専門分野の雑誌の購入」が59.0%と続いている。なお、「オーテピア高知図書館の利用」は20.5%となっている。

2.6 【問 6】 図書館活用の役立ち

図書館の活用は、貴所の業務に役立つと思いますか。【〇は1つだけ】

	回答票数	構成比(%)
	N=78	100.0
1 そう思う	29	37.2
2 おおむねそう思う	37	47.4
3 あまり思わない	8	10.3
4 思わない	0	0.0
5 わからない	4	5.1



図書館活用は、業務に役立つと思うか尋ねたところ、「そう思う」が 37.2%、「おおむねそう思う」が 47.4%と、役に立つと思うと回答した割合が、84.6%となっている。一方で、「思わない」という回答はなかったが、「あまり思わない」が 10.3%となっている。

2.7 【問 7】 サービスの事例

貴所の業務にオーテピア高知図書館のサービスが役立った事例があれば、教えてください。
(例: 支援企業の販路拡大、商品開発のヒント、従業員のモチベーション向上、業務改善、業界動向の把握など、どんなことでも構いません。利用したサービス(資料の借受け、調べものの相談、データベースなど)もあわせてお書きください。) 【自由記述】

	回答票数
	N=27
調べものの案内(レファレンスサービス)	1
貸し施設(ホール・研修室・集会室)	4
チラシやパンフレットの館内設置	1
貴重資料の画像データの提供	1
貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示	2
出前図書館の実施	1
図書館活用方法の説明のための講師派遣	1
イベント、セミナーに参加して良かった等	1
専門知識の取得ができた等	3
オーテピアを通して、業務の周知に役立った等	3
その他	9

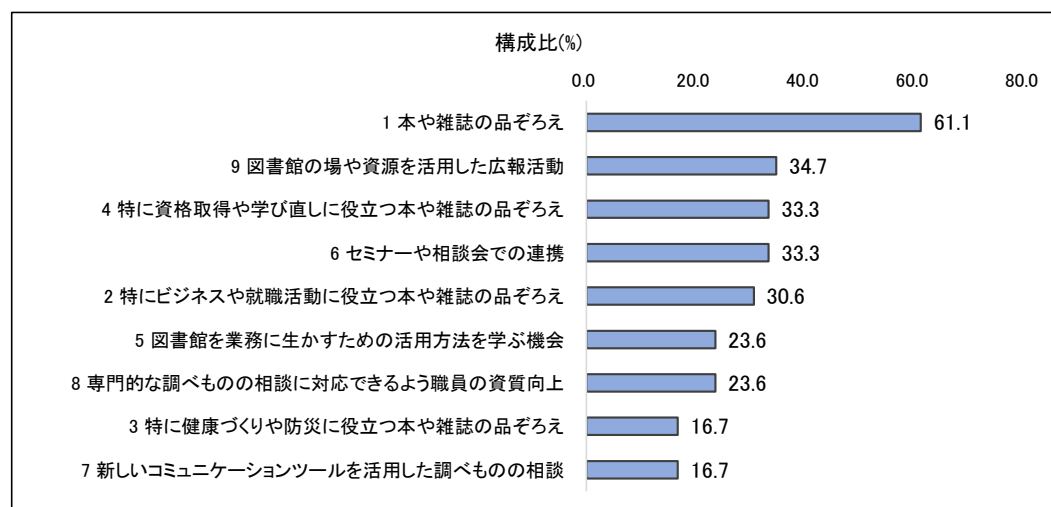
オーテピア高知図書館のサービスが役立った事例を尋ねたところ、回答票数は 27 件となっている。

※事例内容については P197-199 に記述

2.8 【問 9】 サービス期待

オーテピア高知図書館のこれからのサービスについてどのようなことに期待しますか。
【〇はいくつでも】

	回答票数	構成比(%)
	N=72	100.0
1 本や雑誌の品ぞろえ	44	61.1
2 特にビジネスや就職活動に役立つ本や雑誌の品ぞろえ	22	30.6
3 特に健康づくりや防災に役立つ本や雑誌の品ぞろえ	12	16.7
4 特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ	24	33.3
5 図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会	17	23.6
6 セミナーや相談会での連携(関連本展示・出前図書館・図書館活用方法の説明など)	24	33.3
7 新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談	12	16.7
8 専門的な調べものの相談に対応できるよう職員の資質向上	17	23.6
9 図書館の場や資源を活用した広報活動	25	34.7



これからのサービスについてどのようなことに期待するかを尋ねたところ、「本や雑誌の品ぞろえ」が 61.1%で最も多く、次いで、「図書館の場や資源を活用した広報活動」が 34.7%、「特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ」、「セミナーや相談会での連携」が 33.3%と続いている。

2.9 クロス集計【問5】×【問9】

【問5】情報の入手方法 × 【問9】サービス期待 [上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		問9 サービス期待									
		本や雑誌の品ぞろえ	役立つつビジネスや雑誌の品ぞろえに	立つ健康づくりや防災に役	役立つつ資格取得や学び直しに	図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会	セミナーや相談会での連携	新しいコミュニケーションツールの活用した調べもの相談	専門的な調べものの相談に 向上 対応できるような職員 の資質	図書館の場や資源を活用した広報活動	
問5 情報の 入手方法	オーテピア、市町村立図書館の両方を利用している	N=3	3	1	1	0	1	1	0	2	1
			100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3
	オーテピアは利用しているが、市町村立図書館は利用していない	N=13	8	6	2	3	3	4	3	3	5
			61.5	46.2	15.4	23.1	23.1	30.8	23.1	23.1	38.5
	市町村立図書館は利用しているが、オーテピアは利用していない	N=1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0
	図書館を利用している	N=17	11	7	3	3	4	5	4	6	6
			64.7	41.2	17.6	17.6	23.5	29.4	23.5	35.3	35.3
	図書館は利用していない	N=61	33	15	9	21	13	19	8	11	19
			54.1	24.6	14.8	34.4	21.3	31.1	13.1	18.0	31.1

※図書館を利用している回答者と図書館は利用していない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所に色付け

業務に必要な情報を入手するために図書館を利用している回答者、図書館は利用していない回答者ともに、「本や雑誌の品ぞろえ」に期待する割合が最も多くなっている。

情報の入手方法別に比較すると、「専門的な調べものの相談に対応できるよう職員の資質向上」や「特にビジネスや就職活動に役立つ本や雑誌の品ぞろえ」などでは、図書館を利用している回答者のほうが多くなっており、「特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ」と「セミナーや相談会での連携」では、図書館は利用していない回答者のほうが多くなっている。

2.10 クロス集計【問 6】×【問 9】

【問 6】図書館活用の役立ち × 【問 9】サービス期待

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		問9 サービス期待	問9 サービス期待								
			本 や 雑 誌 の 品 ぞ ろ え	特 に ビ ジ ネ ス や 就 職 活 動 に 役 立 つ 本 や 雑 誌 の 品 ぞ ろ え	立 つ 本 や 雑 誌 の 品 ぞ ろ え	特 に 健 康 づ く り や 防 災 に 役 立 つ 本 や 雑 誌 の 品 ぞ ろ え	特 に 資 格 取 得 や 学 び 直 し に 役 立 つ 本 や 雑 誌 の 品 ぞ ろ え	図 書 館 を 業 務 に 生 か す た め の 活 用 方 法 を 学 ぶ 機 会	セ ミ ナ ー や 相 談 会 で の 連 携	新 し い コ ミュ ニ ケー ション の 相 談	向 上 で き る よ う な 調 べ も の
問6 図 書 館 活 用 の 役 立 ち	図書館の活用は、業務に役立つと思う N=66	38	21	11	22	15	21	11	15	24	
		57.6	31.8	16.7	33.3	22.7	31.8	16.7	22.7	36.4	
	図書館の活用は、業務に役立つと思わない N=8	4	1	1	1	2	3	1	1	1	
		50.0	12.5	12.5	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	12.5	

※図書館の活用は業務に役立つと思う回答者と役立つと思わない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所に色付け

図書館の活用は業務に役立つと思う回答者、役立つと思わない回答者ともに、「本や雑誌の品ぞろえ」に期待する割合が最も多くなっている。

図書館活用の役立ち別に比較すると、「図書館の場や資源を活用した広報活動」や「特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ」などでは、役立つと思う回答者のほうが多くなっており、「セミナーや相談会での連携」と「図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会」では、役立つと思わない回答者のほうが多くなっている。

2.11 クロス集計【問 6】 × 【問 5】 × 【問 9】

【問 6】図書館活用の役立ち「(おおむね)そう思う」 × 【問 5】情報の入手方法 × 【問 9】サービス期待 [上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		問9 サービス期待									
		本 や 雑 誌 の 品 ぞ ろ え	特 に ビ ジ ネ ス や 就 職 活 動 に 役 立 つ 本 や 雑 誌 の 品 ぞ ろ え	特 に 健 康 づ く り や 防 災 に 役 立 つ 本 や 雑 誌 の 品 ぞ ろ え	特 に 資 格 取 得 や 学 び 直 し に 役 立 つ 本 や 雑 誌 の 品 ぞ ろ え	図 書 館 を 業 務 に 生 か す た め の 活 用 方 法 を 学 ぶ 機 会	セ ミ ナ ー や 相 談 会 で の 連 携	新 し い コ ミュ ニ ケー ション の 相 談	対 上	専 門 的 な 調 べ も の の 相 談 に 対 応 で き る よ う 職 員 の 資 質	図 書 館 の 場 や 資 源 を 活 用 し た
問5 の 役 立 ち × 図 書 館 活 用 方 法 × 情 報 の	「図書館活用は業務に役立つと感じている」、かつ「業務で必要な情報をオーテピアで入手」 N=16	11	7	3	3	4	5	3	5	6	
		68.8	43.8	18.8	18.8	25.0	31.3	18.8	31.3	37.5	
	「図書館活用は業務に役立つと感じている」、かつ「業務で必要な情報をオーテピア以外で入手」 N=50	27	14	8	19	11	16	8	10	18	
		54.0	28.0	16.0	38.0	22.0	32.0	16.0	20.0	36.0	

※図書館の活用は業務に役立つと思う回答者のうち、業務に必要な情報をオーテピアで入手している回答者とオーテピア以外で入手している回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所に色付け

図書館の活用は業務に役立つと思う回答者のうち、業務に必要な情報をオーテピアで入手している回答者、オーテピア以外で入手している回答者ともに、「本や雑誌の品ぞろえ」に期待する割合が最も多くなっている。

情報の入手方法別で比較すると、「本や雑誌の品ぞろえ」や「特にビジネスや就職活動に役立つ本や雑誌の品ぞろえ」などでは、オーテピアで入手している回答者のほうが多くなっており、「特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ」と「セミナーや相談会での連携」では、オーテピア以外で入手している回答者のほうが多くなっている。

3 調査結果【関係機関・団体_学校】

3.1 調査結果の概要

サービスの認知度と利用度(P22-24)をみると、認知度については「貸し施設」が96.9%と最も多く、次いで、「調べものの案内(レファレンスサービス)」が94.9%、「団体貸出サービス」が91.9%と続いた。一方で、「貴重資料の画像データの提供」は55.5%で最も少なくなっている。

また利用度については、「学校見学の受け入れ」は認知している回答者の50.0%が利用したことがあると回答し、次いで、「団体貸出サービス」が42.9%、「貸し施設」が34.4%と続いている。

サービスの満足度(P25-26)をみると、満足(大いに・だいたい)していると回答した割合は、ほとんどのサービスで90%以上を占めているが、「児童図書選定支援コーナー」が75.0%、「データベースの提供」が83.3%となっている。一方で、不満(やや)と回答した割合は、「児童図書選定支援コーナー」が25.0%で最も多くなっている。

資料・情報の入手方法(P27)をみると、「自校の学校図書館」が92.9%と最も多くなっており、次いで、「インターネットの閲覧」が85.9%、「オーテピア高知図書館」が54.5%、「近隣の市町村立図書館」が50.5%となっている。

情報源の活用(P28)をみると、「児童・生徒の探求的な学習」が89.9%と最も多く、「学校図書館の資料を選定する参考」が60.6%と最も少なくなっている。

サービスへの期待(P29-30)をみると、期待(大いに・まあまあ)すると回答した割合が、ほとんどのサービスで90%以上を占めているが、「図書館司書による教職員を対象とした図書館活用方法の説明」が89.7%となっている。

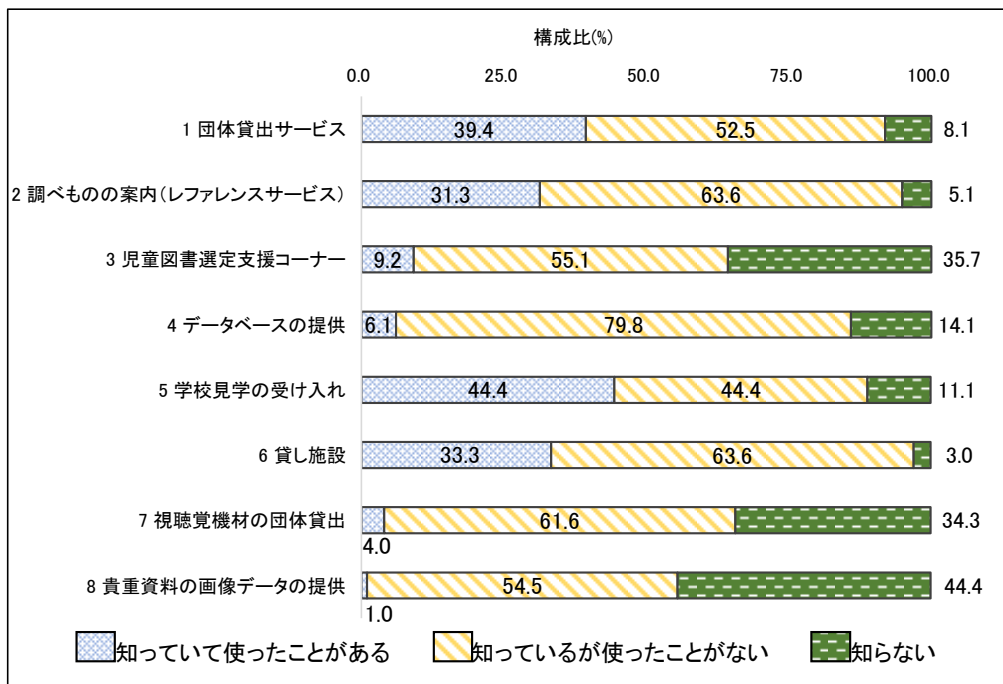
品ぞろえに期待する分野(P31-32)をみると、「教育」43.2%、「情報学」41.1%、「歴史」36.8%の順で多くなっている。

3.2 【問 2】 サービスの認知度と利用度

オーテピア高知図書館が提供する以下のサービスや取組を知っていますか。また、貴校の業務や教育活動に関連して、これらのサービスを利用したことはありますか。(①～⑧のそれぞれ該当する枠に○をつけてください。)

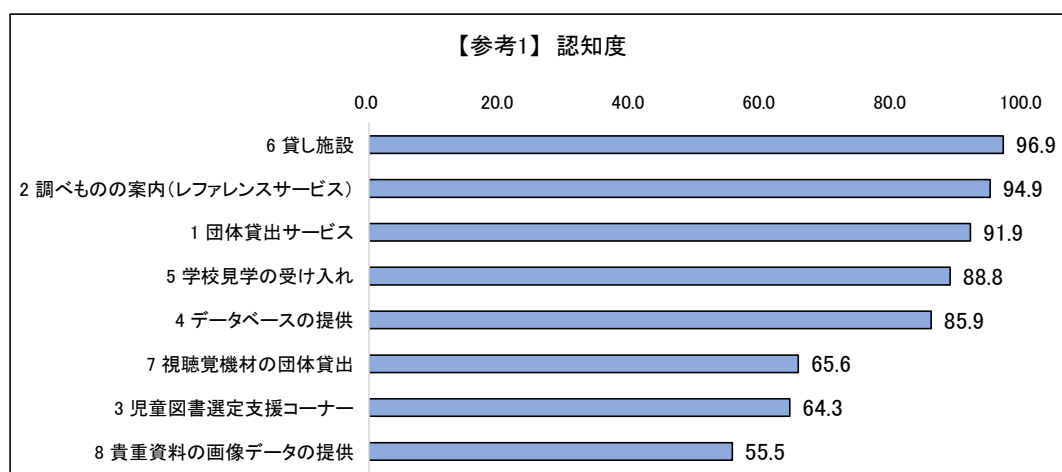
【各項目いずれかに○を1つだけ】

		使 知 っ た こ い と て が あ る	使 知 っ た こ い と る が な い	知 ら な い
1 団体貸出サービス	N=99	39	52	8
2 調べものの案内(レファレンスサービス)	N=99	31	63	5
3 児童図書選定支援コーナー	N=98	9	54	35
4 データベースの提供	N=99	6	79	14
5 学校見学の受け入れ	N=99	44	44	11
6 貸し施設	N=99	33	63	3
7 視聴覚機材の団体貸出	N=99	4	61	34
8 貴重資料の画像データの提供	N=99	1	54	44



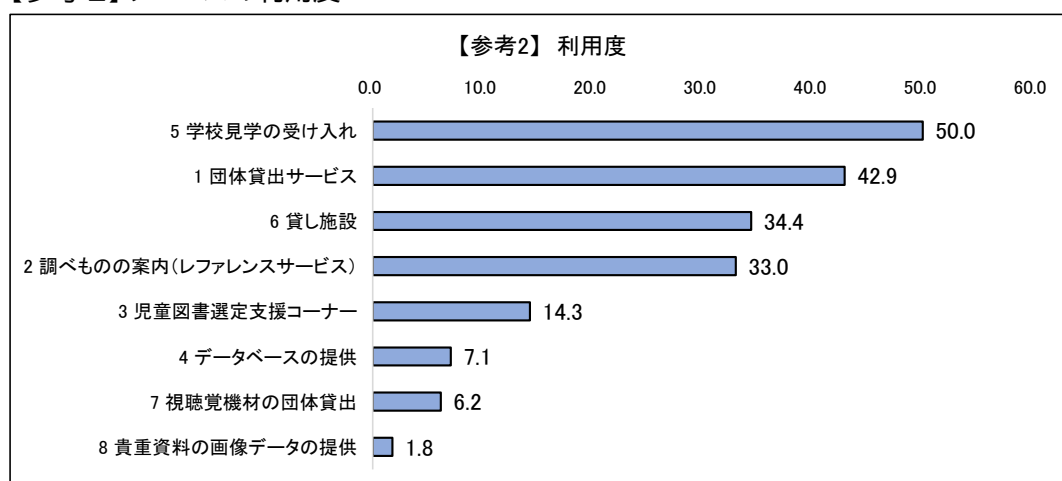
提供しているサービスや取り組みの認知度、利用の有無を尋ねたところ、知っていて使ったことがあると回答した割合は、「学校見学の受け入れ」が 44.4%で最も多く、次いで、「団体貸出サービス」が 39.4%、「貸し施設」が 33.3%と続いている。知っているが使ったことがないと回答した割合は、「データベースの提供」が 79.8%で最も多く、次いで、「調べものの案内(レファレンスサービス)」、「貸し施設」が 63.6%、「視聴覚機材の団体貸出」が 61.6%と続いている。知らないと回答した割合は、「貴重資料の画像データの提供」が 44.4%で最も多く、次いで、「児童図書選定支援コーナー」が 35.7%、「視聴覚機材の団体貸出」が 34.3%と続いている。

【参考 1】サービスの認知度



利用の有無を問わず、サービスや取組の認知度をみると、「貸し施設」が 96.9%で最も多く、次いで、「調べものの案内(レファレンスサービス)」が 94.9%、「団体貸出サービス」が 91.9%と続いている。

【参考 2】サービスの利用度



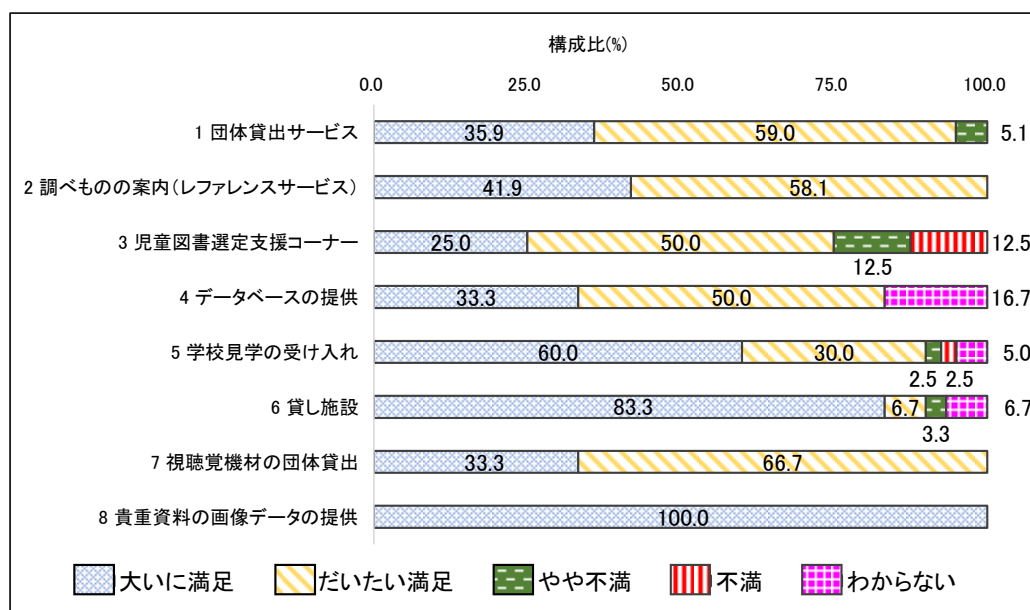
サービスや取組を知っている回答者のうち、その利用度をみると、「学校見学の受け入れ」が 50.0%で最も多く、次いで、「団体貸出サービス」が 42.9%、「貸し施設」が 34.4%と続いている。

3.3 【問 3】 サービスの満足度

問2で「知っていて使ったことがある」と答えた学校にお尋ねします。利用したサービスについて、どのように感じましたか。(問2で「知っていて使ったことがある」サービスのみ、該当する枠に○をつけてください。「やや不満である」・「不満である」の場合、理由もお聞かせください)

【該当する項目のいずれかに○を1つだけ】

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	不満である	わからない
1 団体貸出サービス	N=39	14	23	2	0	0
2 調べものの案内(レファレンスサービス)	N=31	13	18	0	0	0
3 児童図書選定支援コーナー	N=8	2	4	1	1	0
4 データベースの提供	N=6	2	3	0	0	1
5 学校見学の受け入れ	N=40	24	12	1	1	2
6 貸し施設	N=30	25	2	1	0	2
7 視聴覚機材の団体貸出	N=3	1	2	0	0	0
8 貴重資料の画像データの提供	N=1	1	0	0	0	0



サービスの満足度を尋ねたところ、大いに満足していると回答した割合は、「貸し施設」が83.3%で最も多く、次いで、「学校見学の受け入れ」が60.0%、「調べものの案内(レファレンスサービス)」が41.9%と続いている。だいたい満足と回答した割合は、「団体貸出サービス」が59.0%で最も多く、次いで、「調べものの案内(レファレンスサービス)」が58.1%、「児童図書選定支援コーナー」、「データベースの提供」が50.0%と続いている。やや不満と回答した割合は、「児童図書選定支援コーナー」が12.5%で最も多く、次いで、「団体貸出サービス」が5.1%、「貸し施設」が3.3%と続いている。不満と回答した割合は、「児童図書選定支援コーナー」が12.5%で最も多く、次いで、「学校見学の受け入れ」が2.5%となっている。

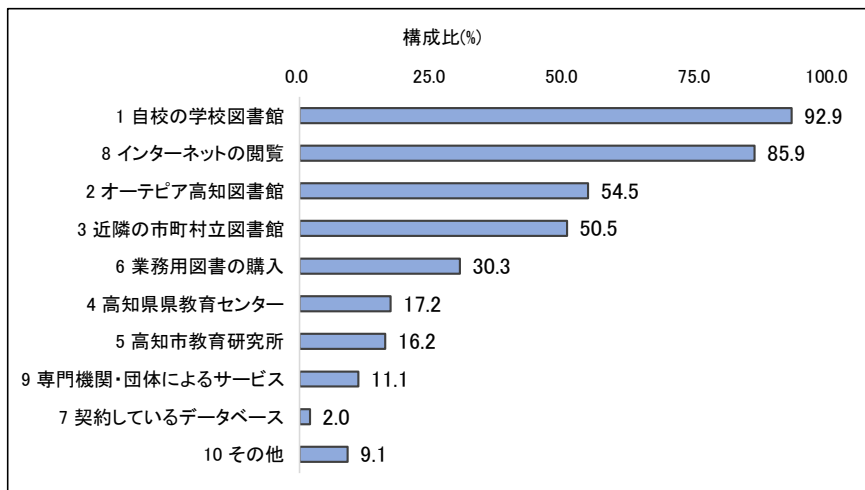
※有効回答票数が5票以下の項目は省略

3.4 【問 4】 資料・情報の入手方法

普段、貴校では、教育活動に必要な資料や情報をどのように入手していますか。

【○はいくつでも】

	回答票数	構成比(%)
	N=99	100.0
1 自校の学校図書館	92	92.9
2 オーテピア高知図書館	54	54.5
3 近隣の市町村立図書館	50	50.5
4 高知県県教育センター	17	17.2
5 高知市教育研究所	16	16.2
6 業務用図書の購入	30	30.3
7 契約しているデータベース	2	2.0
8 インターネットの閲覧	85	85.9
9 専門機関・団体によるサービス	11	11.1
10 その他	9	9.1

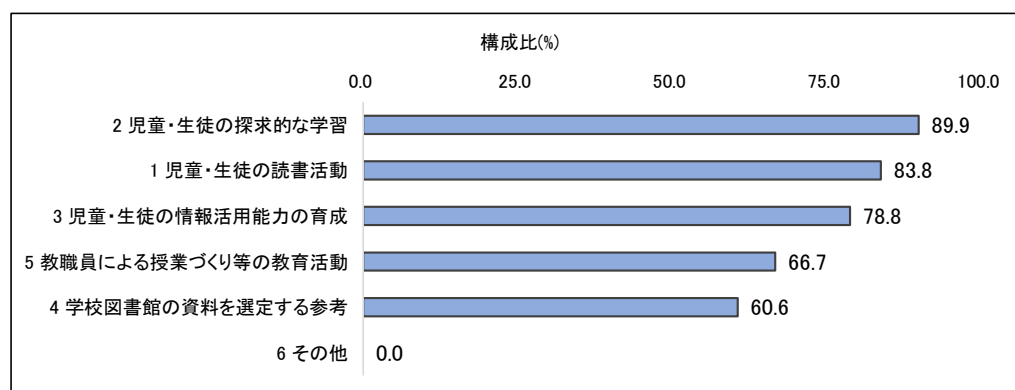


教育活動に必要な情報をどのように入手しているか尋ねたところ、「自校の学校図書館」が 92.9%で最も多く、次いで、「インターネットの閲覧」が 85.9%、「オーテピア高知図書館」が 54.5%と続いている。

3.5 【問 5】 情報源の活用

オーテピア高知図書館の所蔵資料やデータベースなどの情報源をどのような教育活動に活用できると思いますか。【〇はいくつでも】

	回答票数	構成比(%)
	N=99	100.0
1 児童・生徒の読書活動	83	83.8
2 児童・生徒の探求的な学習	89	89.9
3 児童・生徒の情報活用能力の育成	78	78.8
4 学校図書館の資料を選定する参考	60	60.6
5 教職員による授業づくり等の教育活動	66	66.7
6 その他	0	0.0



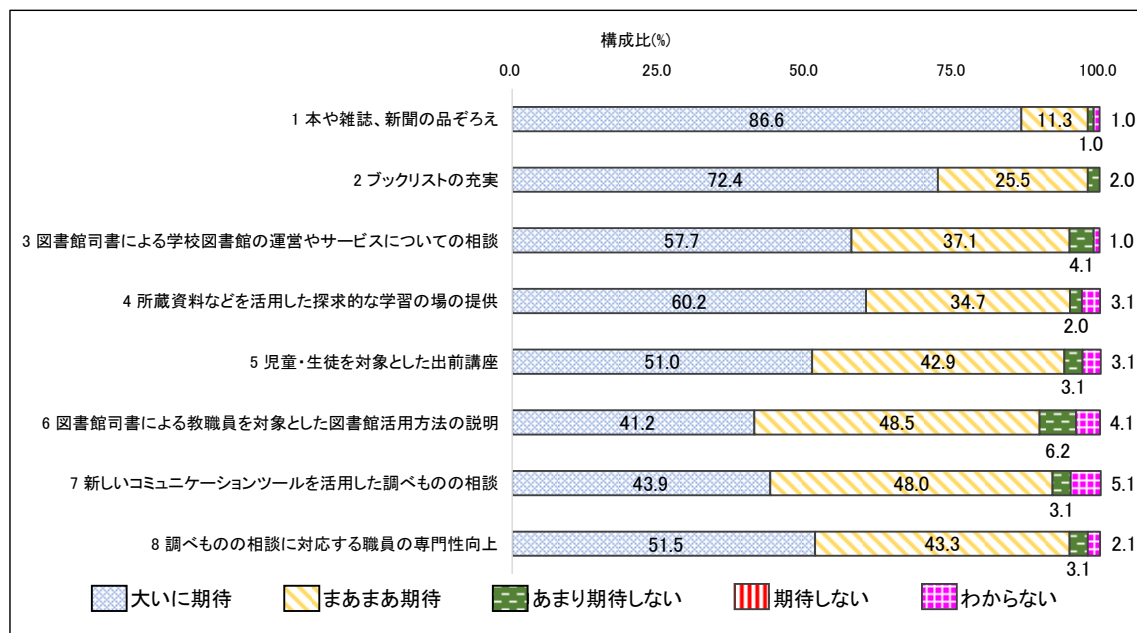
所蔵資料やデータベースなどの情報源をどのような教育活動に活用できるかを尋ねたところ、「児童・生徒の探求的な学習」が 89.9%で最も多く、次いで、「児童・生徒の読書活動」が 83.8%、「児童・生徒の情報活用能力の育成」が 78.8%と続いている。

3.6 【問 6】 サービスへの期待

オーテピア高知図書館のこれからのサービスについてどの程度期待しますか。

(①～⑧のそれぞれ該当する枠に○をつけてください)【各項目いずれかに○を1つだけ】

		大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
1 本や雑誌、新聞の品ぞろえ	N=97	84	11	1	0	1
2 ブックリストの充実	N=98	71	25	2	0	0
3 図書館司書による学校図書館の運営やサービスについての相談	N=97	56	36	4	0	1
4 所蔵資料などを活用した探求的な学習の場の提供	N=98	59	34	2	0	3
5 児童・生徒を対象とした出前講座	N=98	50	42	3	0	3
6 図書館司書による教職員を対象とした図書館活用方法の説明	N=97	40	47	6	0	4
7 新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談	N=98	43	47	3	0	5
8 調べものの相談に対応する職員の専門性向上	N=97	50	42	3	0	2

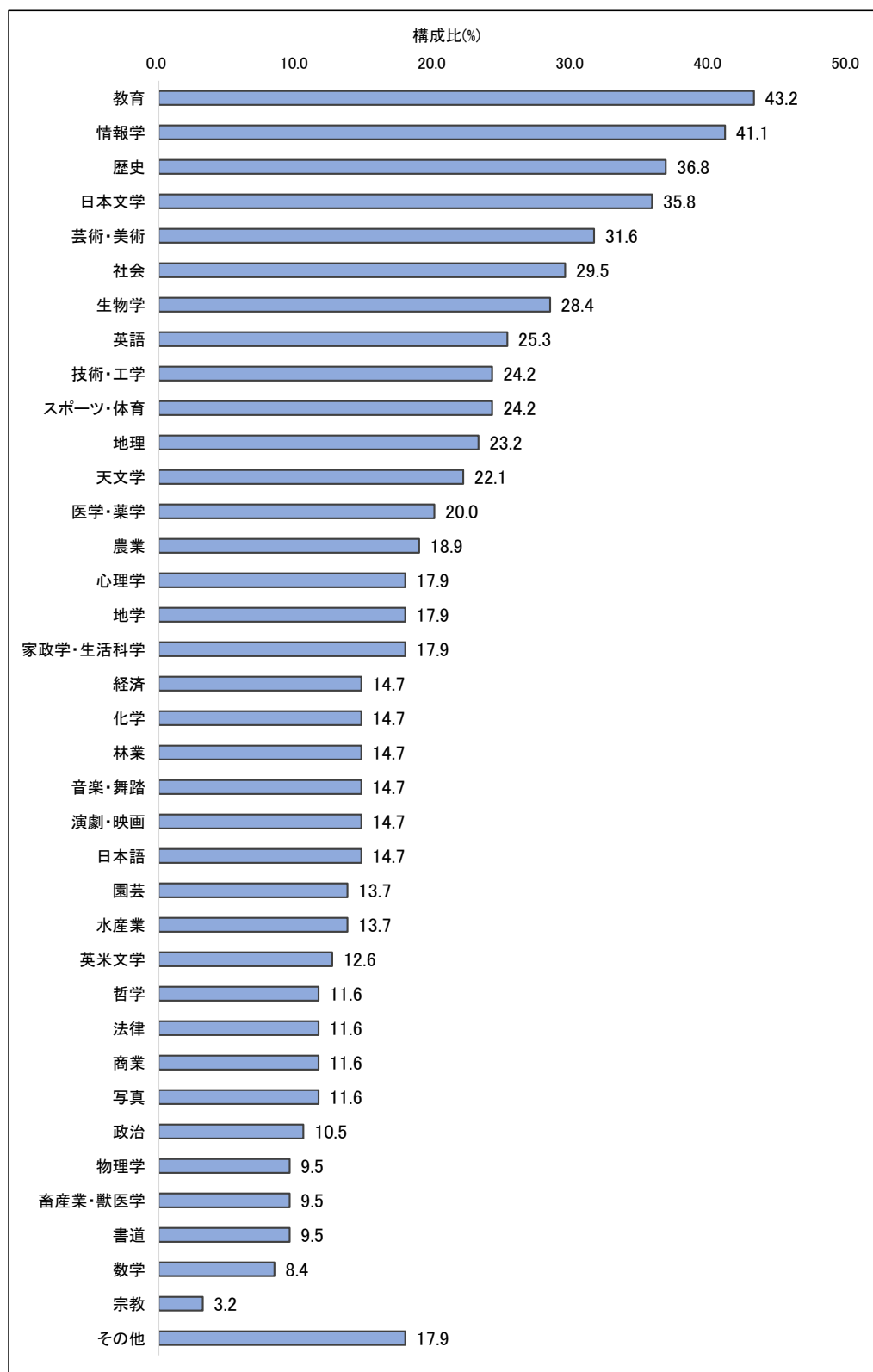


これからのサービスについてどの程度期待するかを尋ねたところ、大いに期待と回答した割合は、「本や雑誌、新聞の品ぞろえ」が 86.6%で最も多く、次いで、「ブックリストの充実」が 72.4%、「所蔵資料などを活用した探求的な学習の場の提供」が 60.2%と続いている。まあまあ期待と回答した割合は、「図書館司書による教職員を対象とした図書館活用方法の説明」が 48.5%で最も多く、次いで、「新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談」が 48.0%、「調べものの相談に対応する職員の専門性向上」が 43.3%と続いている。あまり期待しないと回答した割合は、「図書館司書による教職員を対象とした図書館活用方法の説明」が 6.2%で最も多く、次いで、「図書館司書による学校図書館の運営やサービスについての相談」が 4.1%、「児童・生徒を対象とした出前講座」、「新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談」、「調べものの相談に対応する職員の専門性向上」が 3.1%と続いている。

3.7 【問 7】品ぞろえに期待する分野

問6①で本や雑誌、新聞の品ぞろえについて、「大いに期待する」・「まあまあ期待する」と回答した学校におたずねします。本や雑誌、新聞の品ぞろえについて、特に期待する分野について○をつけてください。【○はいくつでも】

	回答票数	構成比(%)			
	N=95	100.0			
情報学	39	41.1	家政学・生活科学	17	17.9
哲学	11	11.6	農業	18	18.9
心理学	17	17.9	園芸	13	13.7
宗教	3	3.2	畜産業・獣医学	9	9.5
歴史	35	36.8	林業	14	14.7
地理	22	23.2	水産業	13	13.7
政治	10	10.5	商業	11	11.6
法律	11	11.6	芸術・美術	30	31.6
経済	14	14.7	書道	9	9.5
社会	28	29.5	写真	11	11.6
教育	41	43.2	音楽・舞踏	14	14.7
数学	8	8.4	演劇・映画	14	14.7
物理学	9	9.5	スポーツ・体育	23	24.2
化学	14	14.7	日本語	14	14.7
天文学	21	22.1	英語	24	25.3
地学	17	17.9	日本文学	34	35.8
生物学	27	28.4	英米文学	12	12.6
医学・薬学	19	20.0	その他	17	17.9
技術・工学	23	24.2			



オーテピア高知図書館の本や雑誌、新聞の品ぞろえについて、特に期待する分野を尋ねたところ、「教育」が 43.2%で最も多く、次いで、「情報学」が 41.1%、「歴史」が 36.8%と続いている。

3.8 クロス集計【問4】×【問5】

【問4】資料・情報の入手方法 × 【問5】情報源の活用

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

			問5 情報源の活用					
			読児童・活動生の	探求的な学習の	情報活用の能力の育成	選定する図書館の資料を	教職員その他の授業づくり	その他
問4 資料・情報の 入手方法	オーテピア、市町村立図書館の両方を利用している	N=34	32	32	28	27	28	0
			94.1	94.1	82.4	79.4	82.4	0.0
	オーテピアは利用しているが、市町村立図書館は利用していない	N=20	16	19	16	10	11	0
			80.0	95.0	80.0	50.0	55.0	0.0
	市町村立図書館は利用しているが、オーテピアは利用していない	N=16	14	15	12	7	11	0
			87.5	93.8	75.0	43.8	68.8	0.0
	図書館を利用している	N=70	62	66	56	44	50	0
			88.6	94.3	80.0	62.9	71.4	0.0
	図書館は利用していない	N=29	21	23	22	16	16	0
			72.4	79.3	75.9	55.2	55.2	0.0

※図書館を利用している回答者と図書館は利用していない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所の色付け(ここでいう「図書館」には、「自校の学校図書館」を含まない)

教育活動に必要な資料や情報入手のために図書館を利用している回答者、図書館は利用していない回答者ともに、「児童・生徒の探求的な学習」に所蔵資料やデータベースなどの情報源を活用することができると回答した割合が最も多くなっている。

資料・情報の入手方法別に比較すると、すべての項目で図書館を利用している回答者のほうが多くなっている。

3.9 クロス集計 【問 4】 × 【問 6】

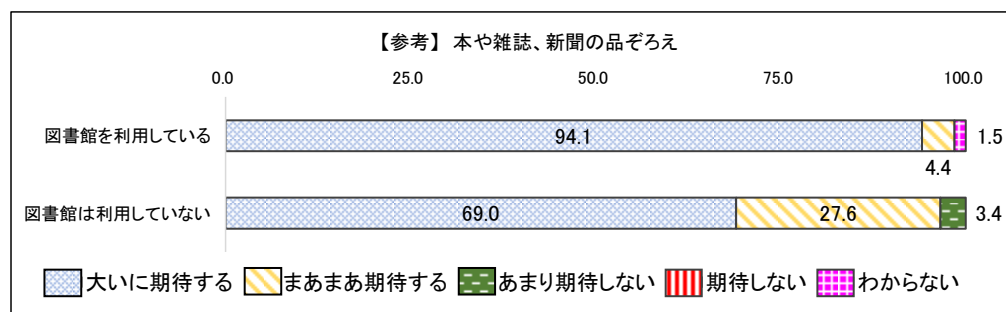
【問 4】資料・情報の入手方法 × 【問 6】サービスへの期待

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

①本や雑誌、新聞の品ぞろえ

		問6 サービスへの期待				
		大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
問4 資料・情報の入手方法	オーデビア、市町村立図書館の両方を利用している N=33	33	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	オーデビアは利用しているが、市町村立図書館は利用していない N=20	18	1	0	0	1
		90.0	5.0	0.0	0.0	5.0
	市町村立図書館は利用しているが、オーデビアは利用していない N=15	13	2	0	0	0
		86.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	図書館を利用している N=68	64	3	0	0	1
		94.1	4.4	0.0	0.0	1.5
	図書館は利用していない N=29	20	8	1	0	0
		69.0	27.6	3.4	0.0	0.0

※図書館を利用している回答者と図書館は利用していない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所に色付け(ここでいう「図書館」には、「自校の学校図書館」を含まない)

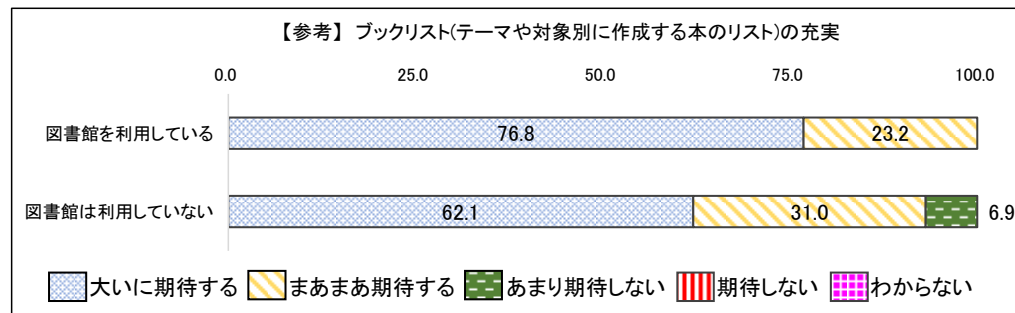


本や雑誌、新聞の品ぞろえについて「大いに期待する」と回答した割合は、図書館を利用している回答者のほうが 25.1 ポイント多くなっている。

②ブックリスト(テーマや対象別に作成する本のリスト)の充実

			問6 サービスへの期待				
			大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
問4 資料・情報の入手方法	オーテピア、市町村立図書館の両方を利用している	N=34	28	6	0	0	0
			82.4	17.6	0.0	0.0	0.0
	オーテピアは利用しているが、市町村立図書館は利用していない	N=19	14	5	0	0	0
			73.7	26.3	0.0	0.0	0.0
	市町村立図書館は利用しているが、オーテピアは利用していない	N=16	11	5	0	0	0
			68.8	31.3	0.0	0.0	0.0
	図書館を利用している	N=69	53	16	0	0	0
			76.8	23.2	0.0	0.0	0.0
	図書館は利用していない	N=29	18	9	2	0	0
			62.1	31.0	6.9	0.0	0.0

※図書館を利用している回答者と図書館は利用していない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所(ここでいう「図書館」には、「自校の学校図書館」を含まない)

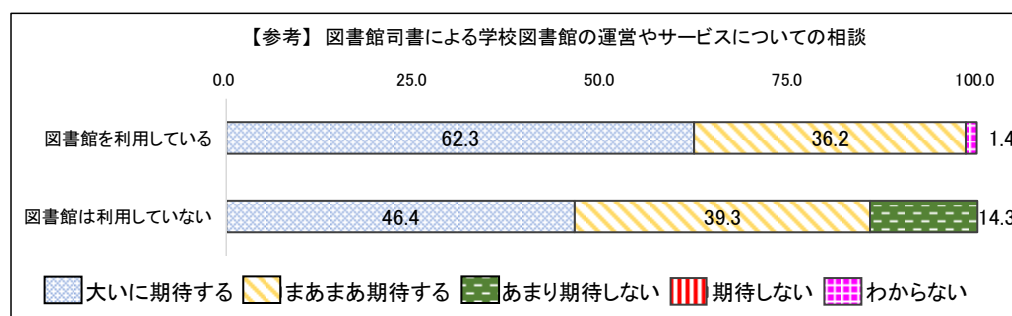


ブックリスト(テーマや対象別に作成する本のリスト)について「大いに期待する」と回答した割合は、図書館を利用している回答者のほうが 14.7 ポイント多くなっている。

③図書館司書による学校図書館の運営やサービスについての相談

			問6 サービスへの期待				
			大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
問4 資料・情報の 入手方法	オーテピア、市町村立図書館の両方を利用している	N=34	23	11	0	0	0
			67.6	32.4	0.0	0.0	0.0
	オーテピアは利用しているが、市町村立図書館は利用していない	N=19	13	5	0	0	1
			68.4	26.3	0.0	0.0	5.3
	市町村立図書館は利用しているが、オーテピアは利用していない	N=16	7	9	0	0	0
			43.8	56.3	0.0	0.0	0.0
	図書館を利用している	N=69	43	25	0	0	1
			62.3	36.2	0.0	0.0	1.4
	図書館は利用していない	N=28	13	11	4	0	0
			46.4	39.3	14.3	0.0	0.0

※図書館を利用している回答者と図書館は利用していない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所に色付け(ここでいう「図書館」には、「自校の学校図書館」を含まない)

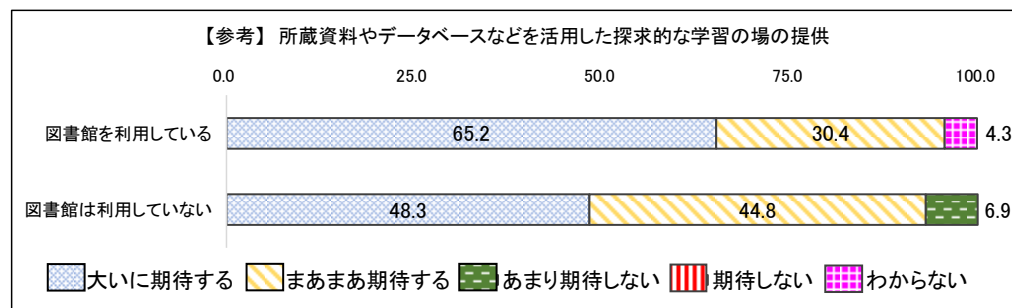


図書館司書による学校図書館の運営やサービスについての相談について「大いに期待する」と回答した割合は、図書館を利用している回答者のほうが 15.9 ポイント多くなっている。

④所蔵資料やデータベースなどを活用した探求的な学習の場の提供

			問6 サービスへの期待				
			大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
問4 資料・情報の入手方法	オーテピア、市町村立図書館の両方を利用している	N=33	20	13	0	0	0
			60.6	39.4	0.0	0.0	0.0
	オーテピアは利用しているが、市町村立図書館は利用していない	N=20	15	5	0	0	0
			75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	市町村立図書館は利用しているが、オーテピアは利用していない	N=16	10	3	0	0	3
			62.5	18.8	0.0	0.0	18.8
	図書館を利用している	N=69	45	21	0	0	3
			65.2	30.4	0.0	0.0	4.3
	図書館は利用していない	N=29	14	13	2	0	0
			48.3	44.8	6.9	0.0	0.0

※図書館を利用している回答者と図書館は利用していない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所の色付け(ここでいう「図書館」には、「自校の学校図書館」を含まない)

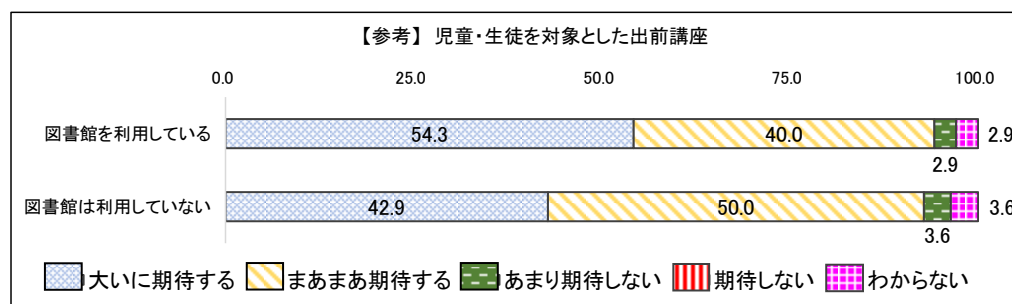


所蔵資料やデータベースなどを活用した探求的な学習の場の提供について「大いに期待する」と回答した割合は、図書館を利用している回答者のほうが 16.9 ポイント多くなっている。

⑤児童・生徒を対象とした出前講座

			問6 サービスへの期待				
			大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
問4 資料・情報の 入手方法	オーディオ、市町村立図書館の両方を利用している	N=34	20	14	0	0	0
			58.8	41.2	0.0	0.0	0.0
	オーディオは利用しているが、市町村立図書館は利用していない	N=20	11	8	1	0	0
			55.0	40.0	5.0	0.0	0.0
	市町村立図書館は利用しているが、オーディオは利用していない	N=16	7	6	1	0	2
			43.8	37.5	6.3	0.0	12.5
	図書館を利用している	N=70	38	28	2	0	2
			54.3	40.0	2.9	0.0	2.9
	図書館は利用していない	N=28	12	14	1	0	1
			42.9	50.0	3.6	0.0	3.6

※図書館を利用している回答者と図書館は利用していない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所に色付け(ここでいう「図書館」には、「自校の学校図書館」を含まない)

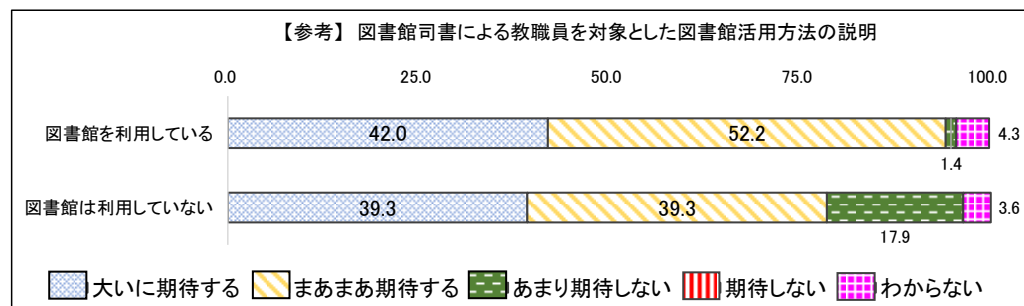


児童・生徒を対象とした出前講座について「大いに期待する」と回答した割合は、図書館を利用している回答者のほうが 11.4 ポイント多くなっている。

⑥図書館司書による教職員を対象とした図書館活用方法の説明

			問6 サービスへの期待				
			大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
問4 資料・情報 の入手方法	オーテピア、市町村立図書館の両方を利用している	N=33	17	16	0	0	0
			51.5	48.5	0.0	0.0	0.0
	オーテピアは利用しているが、市町村立図書館は利用していない	N=20	6	13	0	0	1
			30.0	65.0	0.0	0.0	5.0
	市町村立図書館は利用しているが、オーテピアは利用していない	N=16	6	7	1	0	2
			37.5	43.8	6.3	0.0	12.5
	図書館を利用している	N=69	29	36	1	0	3
			42.0	52.2	1.4	0.0	4.3
	図書館は利用していない	N=28	11	11	5	0	1
			39.3	39.3	17.9	0.0	3.6

※図書館を利用している回答者と図書館は利用していない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所の色付け(ここでいう「図書館」には、「自校の学校図書館」を含まない)

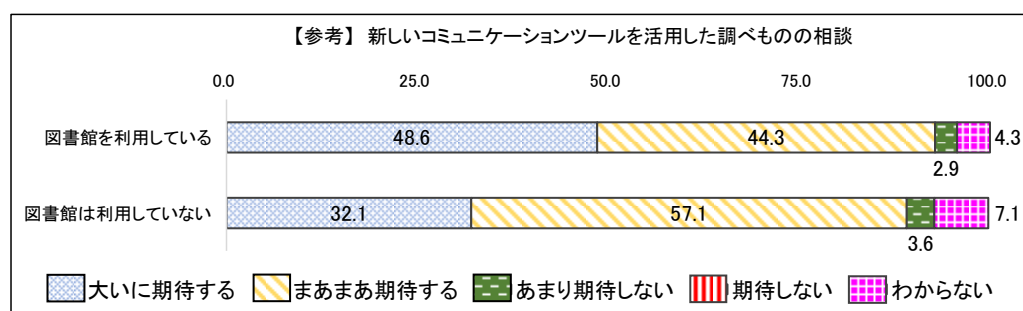


図書館司書による教職員を対象とした図書館活用方法の説明について「大いに期待する」と回答した割合は、図書館を利用している回答者のほうが 2.7 ポイント多くなっている。

⑦新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談

			問6 サービスへの期待				
			大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
問4 資料・情報の 入手方法	オーデビア、市町村立図書館の両方を利用している	N=34	19	15	0	0	0
			55.9	44.1	0.0	0.0	0.0
	オーデビアは利用しているが、市町村立図書館は利用していない	N=20	8	9	1	0	2
			40.0	45.0	5.0	0.0	10.0
	市町村立図書館は利用しているが、オーデビアは利用していない	N=16	7	7	1	0	1
			43.8	43.8	6.3	0.0	6.3
	図書館を利用している	N=70	34	31	2	0	3
			48.6	44.3	2.9	0.0	4.3
	図書館は利用していない	N=28	9	16	1	0	2
			32.1	57.1	3.6	0.0	7.1

※図書館を利用している回答者と図書館は利用していない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所に色付け(ここでいう「図書館」には、「自校の学校図書館」を含まない)

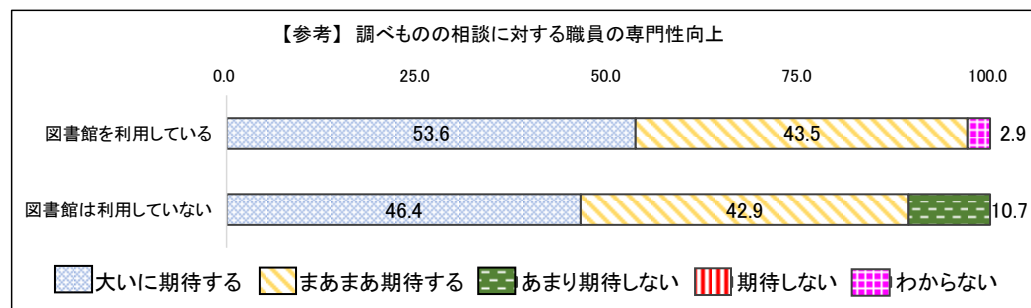


新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談について「大いに期待する」と回答した割合は、図書館を利用している回答者のほうが16.5ポイント多くなっている。

⑧調べものの相談に対する職員の専門性向上

			問6 サービスへの期待				
			大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
問4 資料・情報の入手方法	オーテピア、市町村立図書館の両方を利用している	N=33	21	12	0	0	0
			63.6	36.4	0.0	0.0	0.0
	オーテピアは利用しているが、市町村立図書館は利用していない	N=20	8	11	0	0	1
			40.0	55.0	0.0	0.0	5.0
	市町村立図書館は利用しているが、オーテピアは利用していない	N=16	8	7	0	0	1
			50.0	43.8	0.0	0.0	6.3
	図書館を利用している	N=69	37	30	0	0	2
			53.6	43.5	0.0	0.0	2.9
	図書館は利用していない	N=28	13	12	3	0	0
			46.4	42.9	10.7	0.0	0.0

※図書館を利用している回答者と図書館は利用していない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所の色付け(ここでいう「図書館」には、「自校の学校図書館」を含まない)



調べものの相談に対応する職員の専門性向上について「大いに期待する」と回答した割合は、図書館を利用している回答者のほうが 7.2 ポイント多くなっている。

(参考) サービス期待度の平均点

	本や雑誌、新聞の品ぞろえ	ブックリストの充実	図書館司書による学校図書との相談	所蔵資料やデータベースなどの活用した探求的な学習の場の提供	児童・生徒を対象とした出前講座	図書館司書による教職員を対象とした図書館活用方法の説明	新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談	調べものの相談に対する職員の専門性向上	全体平均
図書館を利用している	3.96	3.77	3.63	3.68	3.53	3.42	3.48	3.55	3.63
図書館は利用していない	3.66	3.55	3.32	3.41	3.41	3.22	3.31	3.36	3.40

※平均点は、大いに期待する＝4点、まあまあ期待する＝3点、あまり期待しない＝2点、期待しない＝1点として算出。点数が高いほど期待度が高いという結果であり、満点は 4.00 となる。

資料・情報の入手方法別に、点数化したサービスの期待度をみると、図書館を利用している回答者、図書館は利用していない回答者ともに、「本や雑誌、新聞の品ぞろえ」が最も高く、「図書館司書による教職員を対象とした図書館活用方法の説明」が最も低くなっている。

また、すべてのサービスで図書館を利用している回答者のほうが高くなっており、点数の差は「図書館司書による学校図書館の運営やサービスについての相談」が 0.31 ポイントで最も多く、次いで「本や雑誌、新聞の品ぞろえ」が 0.30 ポイント、「所蔵資料やデータベースなどを活用した探求的な学習の場の提供」が 0.27 ポイントと続いている。

3.10 クロス集計【問5】×【問6】

【問5】情報資源の活用 × 【問6】サービスへの期待

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

①本や雑誌、新聞の品ぞろえ

			問6 サービスへの期待				
			大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
全体		N=97	84	11	1	0	1
			86.6	11.3	1.0	0.0	1.0
問5 情報資源の活用	児童・生徒の読書活動	N=81	70	10	0	0	1
			86.4	12.3	0.0	0.0	1.2
	児童・生徒の探求的な学習	N=87	77	9	0	0	1
			88.5	10.3	0.0	0.0	1.1
	児童・生徒の情報活用能力の育成	N=77	67	9	0	0	1
			87.0	11.7	0.0	0.0	1.3
	学校図書館の資料を選定する参考	N=59	52	7	0	0	0
			88.1	11.9	0.0	0.0	0.0
	教職員による授業づくりやその他の教育活動	N=64	55	8	1	0	0
			85.9	12.5	1.6	0.0	0.0

※全体と比べて5ポイント以上の差がある箇所に色付け  =全体より多い  =全体より少ない

本や雑誌、新聞の品ぞろえについて「大いに期待する」と回答した割合は、「児童・生徒の探求的な学習」に活用できると思う回答者が88.5%で最も多くなっている。

全体との比較では、いずれの項目でも大きな差は見られない。

②ブックリスト(テーマや対象別に作成する本のリスト)の充実

		問6 サービスへの期待				
		大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
全体 N=98		71	25	2	0	0
		72.4	25.5	2.0	0.0	0.0
問5 情報源の活用	児童・生徒の読書活動 N=82	59	22	1	0	0
		72.0	26.8	1.2	0.0	0.0
	児童・生徒の探求的な学習 N=89	66	23	0	0	0
		74.2	25.8	0.0	0.0	0.0
	児童・生徒の情報活用能力の育成 N=78	56	22	0	0	0
		71.8	28.2	0.0	0.0	0.0
	学校図書館の資料を選定する参考 N=59	45	14	0	0	0
		76.3	23.7	0.0	0.0	0.0
	教職員による授業づくりやその他の教育活動 N=65	49	14	2	0	0
		75.4	21.5	3.1	0.0	0.0

※全体と比べて5ポイント以上の差がある箇所に色付け =全体より多い =全体より少ない

ブックリスト(テーマや対象別に作成する本のリスト)の充実について「大いに期待する」と回答した割合は、「学校図書館の資料を選定する参考」に活用できると思う回答者が 76.3%で最も多くなっている。

全体との比較では、いずれの項目でも大きな差は見られない。

③図書館司書による学校図書館の運営やサービスについての相談

			問6 サービスへの期待				
			大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
全体		N=97	56	36	4	0	1
			57.7	37.1	4.1	0.0	1.0
問5 情報源の活用	児童・生徒の読書活動	N=81	46	31	3	0	1
			56.8	38.3	3.7	0.0	1.2
	児童・生徒の探求的な学習	N=88	51	34	2	0	1
			58.0	38.6	2.3	0.0	1.1
	児童・生徒の情報活用能力の育成	N=77	44	30	2	0	1
			57.1	39.0	2.6	0.0	1.3
	学校図書館の資料を選定する参考	N=58	38	18	2	0	0
			65.5	31.0	3.4	0.0	0.0
	教職員による授業づくりやその他の教育活動	N=64	40	20	4	0	0
			62.5	31.3	6.3	0.0	0.0

※全体と比べて5ポイント以上の差がある箇所に色付け  =全体より多い  =全体より少ない

図書館司書による学校図書館の運営やサービスについての相談について「大いに期待する」と回答した割合は、「学校図書館の資料を選定する参考」に活用できると思う回答者が65.5%で最も多くなっている。

全体との比較では、「大いに期待する」と「学校図書館の資料を選定する参考」の組み合わせが 7.8 ポイント多くなっており、一方で「まあまあ期待する」と「学校図書館の資料を選定する参考」の組み合わせが 6.1 ポイント、「まあまあ期待する」と「教職員による授業づくりやその他の教育活動」の組み合わせが 5.8 ポイント少なくなっている。

④所蔵資料やデータベースなどを活用した探求的な学習の場の提供

		問6 サービスへの期待				
		大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
全体 N=98		59	34	2	0	3
		60.2	34.7	2.0	0.0	3.1
問5 情報源の活用	児童・生徒の読書活動 N=82	48	30	1	0	3
		58.5	36.6	1.2	0.0	3.7
	児童・生徒の探求的な学習 N=88	55	30	0	0	3
		62.5	34.1	0.0	0.0	3.4
	児童・生徒の情報活用能力の育成 N=77	46	29	0	0	2
		59.7	37.7	0.0	0.0	2.6
	学校図書館の資料を選定する参考 N=59	39	20	0	0	0
		66.1	33.9	0.0	0.0	0.0
	教職員による授業づくりやその他の教育活動 N=65	44	18	2	0	1
		67.7	27.7	3.1	0.0	1.5

※全体と比べて5ポイント以上の差がある箇所に色付け =全体より多い =全体より少ない

所蔵資料やデータベースなどを活用した探求的な学習の場の提供について「大いに期待する」と回答した割合は、「教職員による授業づくりやその他の教育活動」に活用できると思う回答者が67.7%で最も多くなっている。

全体との比較では、「大いに期待する」と「教職員による授業づくりやその他の教育活動」の組み合わせが7.5ポイント、「大いに期待する」と「学校図書館の資料を選定する参考」の組み合わせが5.9ポイント多くなっており、一方で「まあまあ期待する」と「教職員による授業づくりやその他の教育活動」の組み合わせが7.0ポイント少なくなっている。

⑤児童・生徒を対象とした出前講座

		問6 サービスへの期待				
		大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
全体 N=98		50	42	3	0	3
		51.0	42.9	3.1	0.0	3.1
問5 情報源の活用	児童・生徒の読書活動 N=82	40	36	3	0	3
		48.8	43.9	3.7	0.0	3.7
	児童・生徒の探求的な学習 N=88	46	36	3	0	3
		52.3	40.9	3.4	0.0	3.4
	児童・生徒の情報活用能力の育成 N=77	38	33	3	0	3
		49.4	42.9	3.9	0.0	3.9
	学校図書館の資料を選定する参考 N=59	33	23	2	0	1
		55.9	39.0	3.4	0.0	1.7
	教職員による授業づくりやその他の教育活動 N=65	38	25	2	0	0
		58.5	38.5	3.1	0.0	0.0

※全体と比べて5ポイント以上の差がある箇所に色付け  =全体より多い  =全体より少ない

児童・生徒を対象とした出前講座について「大いに期待する」と回答した割合は、「教職員による授業づくりやその他の教育活動」に活用できると思う回答者が 58.5%で最も多くなっている。

全体との比較では、「大いに期待する」と「教職員による授業づくりやその他の教育活動」の組み合わせが 7.5 ポイント多くなっている。

⑥図書館司書による教職員を対象とした図書館活用方法の説明

		問6 サービスへの期待				
		大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
全体 N=97		40	47	6	0	4
		41.2	48.5	6.2	0.0	4.1
問5 情報源の活用	児童・生徒の読書活動 N=81	32	40	5	0	4
		39.5	49.4	6.2	0.0	4.9
	児童・生徒の探求的な学習 N=87	37	42	4	0	4
		42.5	48.3	4.6	0.0	4.6
	児童・生徒の情報活用能力の育成 N=76	30	39	4	0	3
		39.5	51.3	5.3	0.0	3.9
	学校図書館の資料を選定する参考 N=58	28	26	3	0	1
		48.3	44.8	5.2	0.0	1.7
	教職員による授業づくりやその他の教育活動 N=64	32	27	4	0	1
		50.0	42.2	6.3	0.0	1.6

※全体と比べて5ポイント以上の差がある箇所に色付け =全体より多い =全体より少ない

図書館司書による教職員を対象とした図書館活用方法の説明について「大いに期待する」と回答した割合は、「教職員による授業づくりやその他の教育活動」に活用できると思う回答者が50.0%で最も多くなっている。

全体との比較では、「まあまあ期待する」と「教職員による授業づくりやその他の教育活動」の組み合わせが6.3ポイント少なくなっている。

⑦新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談

			問6 サービスへの期待				
			大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
全体 N=98			43	47	3	0	5
			43.9	48.0	3.1	0.0	5.1
問5 情報源の活用	児童・生徒の読書活動 N=82		34	42	1	0	5
			41.5	51.2	1.2	0.0	6.1
	児童・生徒の探求的な学習 N=88		41	40	2	0	5
			46.6	45.5	2.3	0.0	5.7
	児童・生徒の情報活用能力の育成 N=77		33	38	2	0	4
			42.9	49.4	2.6	0.0	5.2
	学校図書館の資料を選定する参考 N=59		30	26	0	0	3
			50.8	44.1	0.0	0.0	5.1
	教職員による授業づくりやその他の教育活動 N=65		36	26	1	0	2
			55.4	40.0	1.5	0.0	3.1

※全体と比べて5ポイント以上の差がある箇所の色付け  =全体より多い  =全体より少ない

新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談について「大いに期待する」と回答した割合は、「教職員による授業づくりやその他の教育活動」に活用できると思う回答者が55.4%で最も多くなっている。

全体との比較では、「大いに期待する」と「教職員による授業づくりやその他の教育活動」の組み合わせが11.5ポイント、「大いに期待する」と「学校図書館の資料を選定する参考」の組み合わせが6.9ポイント多くなっており、「まあまあ期待する」と「教職員による授業づくりやその他の教育活動」の組み合わせが8.0ポイント少なくなっている。

⑧調べものの相談に対する職員の専門性向上

			問6 サービスへの期待				
			大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
全体		N=97	50	42	3	0	2
			51.5	43.3	3.1	0.0	2.1
問5 情報源の活用	児童・生徒の読書活動	N=81	42	35	2	0	2
			51.9	43.2	2.5	0.0	2.5
	児童・生徒の探求的な学習	N=87	47	36	2	0	2
			54.0	41.4	2.3	0.0	2.3
	児童・生徒の情報活用能力の育成	N=76	40	33	2	0	1
			52.6	43.4	2.6	0.0	1.3
	学校図書館の資料を選定する参考	N=58	34	22	2	0	0
			58.6	37.9	3.4	0.0	0.0
	教職員による授業づくりやその他の教育活動	N=64	39	22	2	0	1
			60.9	34.4	3.1	0.0	1.6

※全体と比べて5ポイント以上の差がある箇所に色付け =全体より多い =全体より少ない

調べものの相談に対応する職員の専門性向上について「大いに期待する」と回答した割合は、「教職員による授業づくりやその他の教育活動」に活用できると思う回答者が 60.9%で最も多くなっている。

全体との比較では、「大いに期待する」と「教職員による授業づくりやその他の教育活動」の組み合わせが 9.4 ポイント、「大いに期待する」と「学校図書館の資料を選定する参考」の組み合わせが 7.1 ポイント多くなっており、「まあまあ期待する」と「教職員による授業づくりやその他の教育活動」の組み合わせが 8.9 ポイント、「まあまあ期待する」と「学校図書館の資料を選定する参考」の組み合わせが 5.4 ポイント少なくなっている。

(参考) サービス期待度の平均点

	本や雑誌、新聞の品ぞろえ	ブックリストの充実	図書館司書による学校の図書運営やサービスについての相談	所蔵資料やデータベースなどの活用した探求的な学習の場の提供	児童・生徒を対象とした出前講座	図書館司書による教職員を対象とした図書活用方法の説明	新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談	調べものの相談に対する専門性向上	全体平均
児童・生徒の読書活動	3.88	3.71	3.54	3.59	3.47	3.35	3.43	3.51	3.56
児童・生徒の探求的な学習	3.90	3.74	3.56	3.65	3.51	3.40	3.47	3.53	3.60
児童・生徒の情報活用能力の育成	3.88	3.72	3.55	3.61	3.47	3.36	3.42	3.51	3.57
学校図書館の資料を選定する参考	3.88	3.76	3.62	3.66	3.53	3.44	3.54	3.55	3.63
教職員による授業づくりやその他の教育活動	3.84	3.72	3.56	3.66	3.55	3.44	3.56	3.59	3.62

※平均点は、大いに期待する＝4点、まあまあ期待する＝3点、あまり期待しない＝2点、期待しない＝1点として算出。点数が高いほど期待度が高いという結果であり、満点は4.00点となる。

※サービス別に割合が最も多くなっている箇所に色付け

情報源の活用別に、点数化したサービスの期待度をみると、「児童・生徒の探求的な学習」に活用できると思う回答者では「本や雑誌、新聞の品ぞろえ」の割合が、「学校図書館の資料を選定する参考」に活用できると思う回答者では「ブックリストの充実」や「図書館司書による学校図書館の運営やサービスについての相談」など4つのサービスが、「教職員による授業づくりやその他の教育活動」に活用できると思う回答者では「児童・生徒を対象とした出前講座」や「新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談」など5つのサービスが、同率も含めてそれぞれ最も多くなっている。

4 調査結果【バリアフリーサービス】

4.1 調査結果の概要

オーテピア高知図書館・高知声と点字の図書館への来館状況(P57-61)をみると、オーテピア高知図書館、高知声と点字の図書館ともに、「来館したことがない」が半数以上を占めている。

バリアフリーサービスの認知度と利用度(P62-65)をみると、「知らない」が69.3%以上で最も多くなっている。

バリアフリーサービスの満足度(66-88)をみると、満足(大いに・だいたい)していると回答した割合は、「利用方法の案内のわかりやすさ」が57.2%で最も多く、次いで、「イベントなどの情報発信」が50.0%、「点字図書の品ぞろえ」が48.8%と続いている。一方で、不満(大いに・やや)であると回答した割合は「利用方法の案内のわかりやすさ」が16.7%で最も多く、次いで、「イベントなどの情報発信」が13.1%、「録音図書の品ぞろえ」が10.6%と続いている。

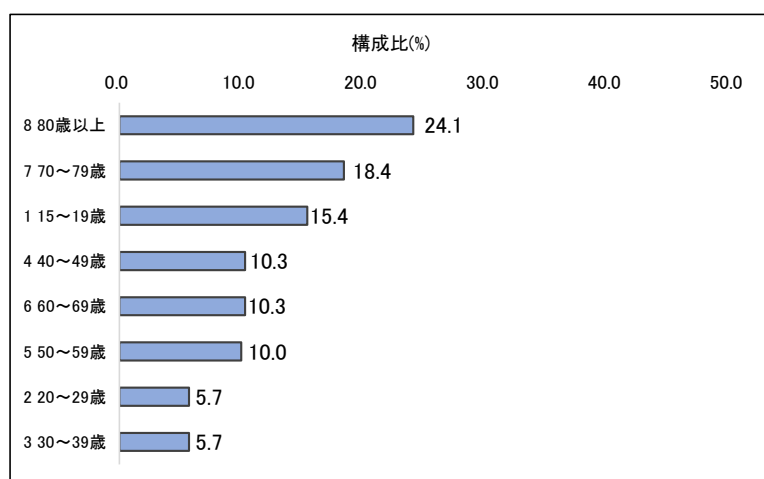
バリアフリーサービスを利用しない理由(P89-92)をみると、「図書館に行くことが難しい」が28.1%で最も多く、次いで、「図書館を利用する必要がない」が14.9%、「その他」が13.2%と続いている。その他の理由は、10.0%未満となっている。

情報の入手方法(P93-96)をみると、「テレビ」が70.8%で最も多く、次いで、「家族・知人」が62.7%、「新聞・雑誌・本の購入」が40.0%と続いている。その他の入手方法は、40.0%未満となっている。

4.2 【問 1】 年齢

あなたの年齢を教えてください。【○は1つだけ】

	回答票数	構成比(%)
	N=610	100.0
1 15～19歳	94	15.4
2 20～29歳	35	5.7
3 30～39歳	35	5.7
4 40～49歳	63	10.3
5 50～59歳	61	10.0
6 60～69歳	63	10.3
7 70～79歳	112	18.4
8 80歳以上	147	24.1

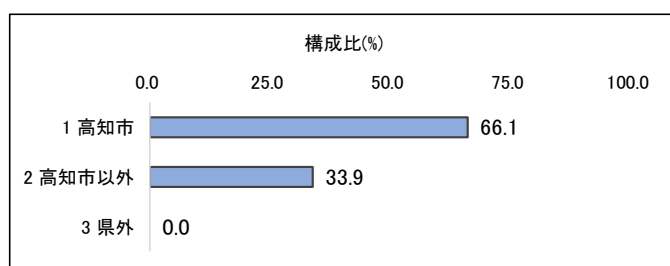


年齢について尋ねたところ、「80 歳以上」が 24.1%で最も多く、次いで、「70～79 歳」が 18.4%、「15～19 歳」が 15.4%と続いている。

4.3 【問 2】居住地

あなたのお住まいはどちらですか。【〇は1つだけ】

	回答票数	構成比(%)
	N=607	100.0
1 高知市	401	66.1
2 高知市以外	206	33.9
3 県外	0	0.0



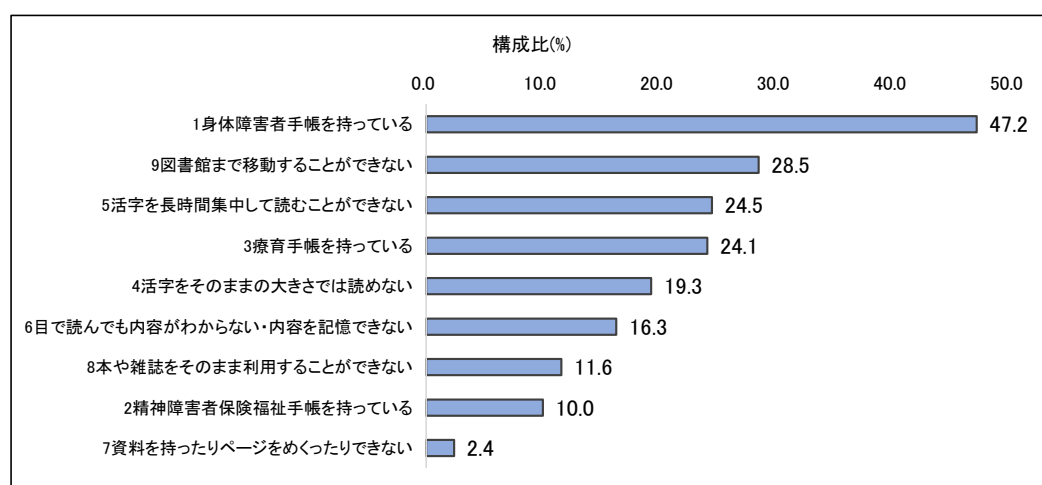
居住地について尋ねたところ、「高知市」が 66.1%で最も多く、次いで、「高知市以外」が 33.9%となっている。

4.4 【問 3】 障害の様態

該当する場合、○を付けてください。級や区分はわかる範囲で構いません。

【該当する項目に○・該当する項目の級、区分の記載】

	回答票数	構成比(%)
	N=502	100.0
1 身体障害者手帳を持っている	237	47.2
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている	50	10.0
3 療育手帳を持っている	121	24.1
4 活字をそのままの大きさでは読めない	97	19.3
5 活字を長時間集中して読むことができない	123	24.5
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない	82	16.3
7 身体のみひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない	12	2.4
8 本や雑誌をそのまま利用することができない	58	11.6
9 図書館まで移動することができない	143	28.5

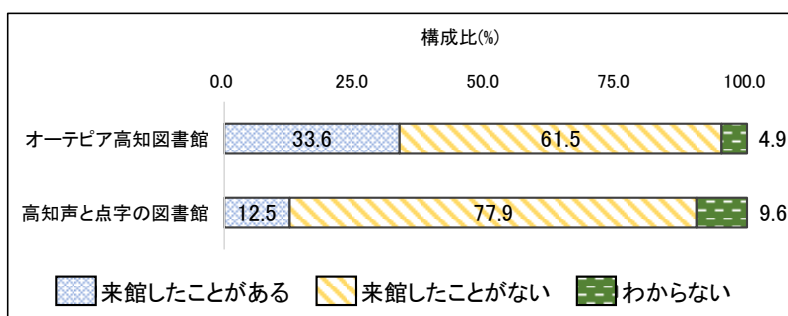


障害の様態について尋ねたところ、「身体障害者手帳を持っている」が 47.2%で最も多く、次いで、「図書館まで移動することができない」が 28.5%、「活字を長時間集中して読むことができない」が 24.5%と続いている。

4.5 【問 4】 オーテピア高知図書館・高知声と点字の図書館への来館状況

オーテピア高知図書館または高知声と点字の図書館に来館したことはありますか。
【○はそれぞれに1つだけ】

		来館したことがある	来館したことがない	わからない
オーテピア高知図書館	N=595	200	366	29
高知声と点字の図書館	N=542	68	422	52



オーテピア高知図書館または高知声と点字の図書館に来館したことがあるかを尋ねたところ、「来館したことがある」と回答した割合は、オーテピア高知図書館が33.6%、高知声と点字の図書館が12.5%となっている。

オーテピア高知図書館への来館状況（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		が来館した こと	が来館し たこと	わ か ら な い
1 15～19歳	N=94	51	37	6
		54.3	39.4	6.4
2 20～29歳	N=34	10	22	2
		29.4	64.7	5.9
3 30～39歳	N=35	18	16	1
		51.4	45.7	2.9
4 40～49歳	N=62	20	38	4
		32.3	61.3	6.5
5 50～59歳	N=60	23	35	2
		38.3	58.3	3.3
6 60～69歳	N=59	30	29	0
		50.8	49.2	0.0
7 70～79歳	N=107	26	78	3
		24.3	72.9	2.8
8 80歳以上	N=144	22	111	11
		15.3	77.1	7.6

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、15～19 歳、30～39 歳、60～69 歳では、「来館したことがある」と回答した割合が最も多く、その他の年齢では、「来館したことがない」が最も多くなっている。

「来館したことがある」は 15～19 歳が 54.3%で、「来館したことがない」は 80 歳以上が 77.1%で最も多くなっている。

オーテピア高知図書館への来館状況（居住地別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		が来館した こと	が来館し たこと	わ か ら な い
1 高知市	N=390	141	236	13
		36.2	60.5	3.3
2 高知市以外	N=203	58	129	16
		28.6	63.5	7.9
3 県外	N=0	0	0	0
		—	—	—

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市、高知市以外ともに、「来館したことがない」と回答した割合が最も多くなっている。

オーテピア高知図書館への来館状況（障害の様態別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		が来館した こと	が来館し たこと	わ か ら な い
1 身体障害者手帳を持っている N=226		86	131	9
		38.1	58.0	4.0
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている N=50		22	27	1
		44.0	54.0	2.0
3 療育手帳を持っている N=121		42	73	6
		34.7	60.3	5.0
4 活字をそのままの大きさでは読めない N=96		27	66	3
		28.1	68.8	3.1
5 活字を長時間集中して読むことができない N=121		29	81	11
		24.0	66.9	9.1
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない N=81		20	55	6
		24.7	67.9	7.4
7 身体のみひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない N=11		7	4	0
		63.6	36.4	0.0
8 本や雑誌をそのまま利用することができない N=56		22	32	2
		39.3	57.1	3.6
9 図書館まで移動することができない N=141		18	112	11
		12.8	79.4	7.8

※属性別に最も多い割合に色付け

障害の様態別にみると、身体のみひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない回答者では、「来館したことがある」と回答した割合が最も多く、その他の障害の様態では、「来館したことがない」が最も多くなっている。

「来館したことがある」は身体のみひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない回答者が 63.6%で、「来館したことがない」は図書館まで移動することができない回答者が 79.4%で、それぞれ最も多くなっている。

高知声と点字の図書館への来館状況（年齢別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		が来館した こと	が来館し たこと	わ か ら な い
1 15～19歳	N=90	14	59	17
		15.6	65.6	18.9
2 20～29歳	N=34	1	28	5
		2.9	82.4	14.7
3 30～39歳	N=28	3	20	5
		10.7	71.4	17.9
4 40～49歳	N=60	6	49	5
		10.0	81.7	8.3
5 50～59歳	N=59	12	42	5
		20.3	71.2	8.5
6 60～69歳	N=52	9	43	0
		17.3	82.7	0.0
7 70～79歳	N=96	15	77	4
		15.6	80.2	4.2
8 80歳以上	N=123	8	104	11
		6.5	84.6	8.9

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で、「来館したことがない」と回答した割合が多くなっている。
「来館したことがある」は 50～59 歳が 20.3%で、「来館したことがない」は 80 歳以上が 84.6%で最も多くなっている。

高知声と点字の図書館への来館状況（居住地別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		が来館した こと	が来館し たこと	わ か ら な い
1 高知市	N=345	49	269	27
		14.2	78.0	7.8
2 高知市以外	N=195	19	152	24
		9.7	77.9	12.3
3 県外	N=0	0	0	0
		—	—	—

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市、高知市以外ともに、「来館したことがない」と回答した割合が最も多くなっている。

高知声と点字の図書館への来館状況（障害の様態別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		が来館した こと	が来館した こと	わからない
1 身体障害者手帳を持っている N=211		48	148	15
		22.7	70.1	7.1
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている N=42		5	31	6
		11.9	73.8	14.3
3 療育手帳を持っている N=118		8	96	14
		6.8	81.4	11.9
4 活字をそのままの大きさでは読めない N=88		17	67	4
		19.3	76.1	4.5
5 活字を長時間集中して読むことができない N=112		16	85	11
		14.3	75.9	9.8
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない N=73		9	58	6
		12.3	79.5	8.2
7 身体のみひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない N=11		3	7	1
		27.3	63.6	9.1
8 本や雑誌をそのまま利用することができない N=53		21	30	2
		39.6	56.6	3.8
9 図書館まで移動することができない N=130		9	110	11
		6.9	84.6	8.5

※属性別に最も多い割合に色付け

障害の様態別みると、すべての障害の様態で、「来館したことがない」と回答した割合が最も多くなっている。

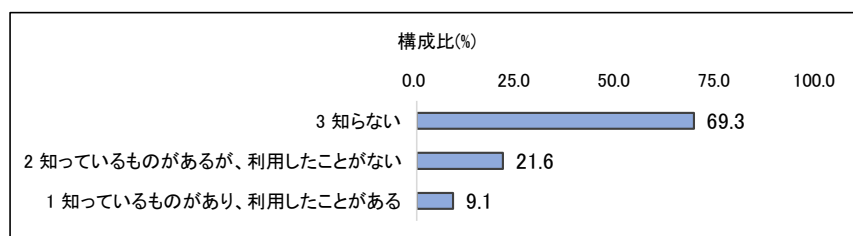
「来館したことがある」は本や雑誌のそのまま利用することができない回答者が 39.6%で、「来館したことがない」は図書館まで移動することができない回答者が 84.6%で、それぞれ最も多くなっている。

4.6 【問 5】 バリアフリーサービスの認知度と利用度

オーテピア図書館と高知声と点字の図書館が提供しているバリアフリーサービスで知っているものがありますか。また、利用したことはありますか。※サービスの内容は、ピンク色のチラシ「バリアフリーサービス」をご覧ください。

【〇は1つだけ】

	回答票数	構成比(%)
	N=580	100.0
1 知っているものがあり、利用したことがある	53	9.1
2 知っているものがあるが、利用したことがない	125	21.6
3 知らない	402	69.3



オーテピア図書館と、高知声と点字の図書館のバリアフリーサービスの認知度、利用の有無について尋ねたところ、「知らない」が 69.3%で最も多く、次いで、「知っているものがあるが、利用したことがない」が 21.6%、「知っているものがあり、利用したことがある」が 9.1%となっている。

バリアフリーサービスの認知度と利用度（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		利 知 用 知 っ っ て て し し た た い い こ こ と と が が あ あ る る 、	が 知 、 っ 利 て 用 い し る た も の が あ あ る る 、	知 ら な い
1 15～19歳	N=90	5	8	77
		5.6	8.9	85.6
2 20～29歳	N=32	0	8	24
		0.0	25.0	75.0
3 30～39歳	N=35	2	11	22
		5.7	31.4	62.9
4 40～49歳	N=59	5	12	42
		8.5	20.3	71.2
5 50～59歳	N=59	7	17	35
		11.9	28.8	59.3
6 60～69歳	N=60	11	21	28
		18.3	35.0	46.7
7 70～79歳	N=105	15	31	59
		14.3	29.5	56.2
8 80歳以上	N=140	8	17	115
		5.7	12.1	82.1

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で、「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っているものがあり、利用したことがある」は 60～69 歳が 18.3%で、「知っているものがあるが、利用したことがない」は 60～69 歳が 35.0%で、「知らない」は 15～19 歳が 85.6%で、それぞれ最も多くなっている。

バリアフリーサービスの認知度と利用度（居住地別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		利用している ことがある 、	知 、 利用 した こと が あ る 、	知 ら な い
1 高知市	N=381	37	94	250
		9.7	24.7	65.6
2 高知市以外	N=197	16	30	151
		8.1	15.2	76.6
3 県外	N=0	0	0	0
		—	—	—

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市、高知市以外ともに、「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

バリアフリーサービスの認知度と利用度（障害の様態別）

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		利 用 し て い る こ と が あ る 、	が 知 っ て 利 用 し た も の が あ る い	知 ら な い
1 身体障害者手帳を持っている	N=222	41	65	116
		18.5	29.3	52.3
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている	N=46	3	10	33
		6.5	21.7	71.7
3 療育手帳を持っている	N=119	1	13	105
		0.8	10.9	88.2
4 活字をそのままの大きさでは読めない	N=95	15	17	63
		15.8	17.9	66.3
5 活字を長時間集中して読むことができない	N=119	8	19	92
		6.7	16.0	77.3
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない	N=81	6	10	65
		7.4	12.3	80.2
7 身体のまひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない	N=11	2	4	5
		18.2	36.4	45.5
8 本や雑誌をそのまま利用することができない	N=58	14	10	34
		24.1	17.2	58.6
9 図書館まで移動することができない	N=141	5	22	114
		3.5	15.6	80.9

※属性別に最も多い割合に色付け

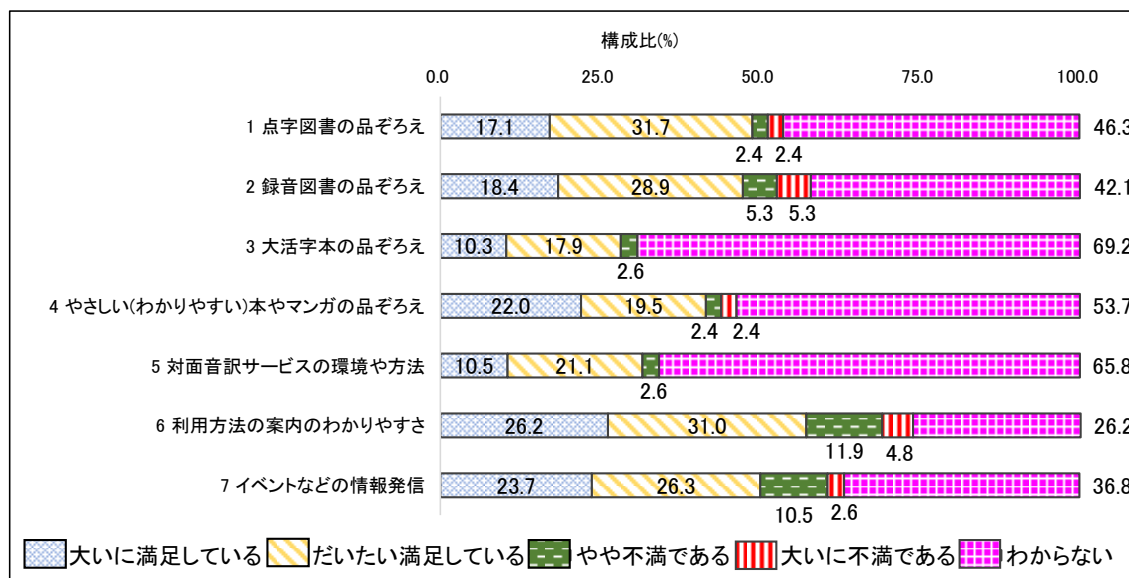
障害の様態別にみると、すべての障害の様態で、「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っているものがあり、利用したことがある」は本や雑誌をそのまま利用することができない回答者が 24.1%で、「知っているものがあるが、利用したことがない」は身体のまひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない回答者が 36.4%で、「知らない」は療育手帳を持っている回答者が 88.2%で、それぞれ最も多くなっている。

4.7 【問 6】 バリアフリーサービスの満足度

問5で「利用したことがある」と回答した方におたずねします。オーテピア図書館と高知声と点字の図書館を利用して、どのようにお感じになりましたか。(①～⑦のそれぞれ該当する枠に○をつけてください)【該当する項目にいずれか○を1つだけ】

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	分からない
1 点字図書の品ぞろえ	N=41	7	13	1	1	19
2 録音図書の品ぞろえ	N=38	7	11	2	2	16
3 大活字本の品ぞろえ	N=39	4	7	1	0	27
4 やさしい(わかりやすい)本やマンガの品ぞろえ	N=41	9	8	1	1	22
5 対面音訳サービスの環境や方法	N=38	4	8	1	0	25
6 利用方法の案内のわかりやすさ	N=42	11	13	5	2	11
7 イベントなどの情報発信	N=38	9	10	4	1	14



バリアフリーサービスの満足度を尋ねたところ、大いに満足していると回答した割合は「利用方法の案内のわかりやすさ」が 26.2%で最も多く、次いで、「イベントなどの情報発信」が 23.7%、「やさしい(わかりやすい)本やマンガの品ぞろえ」が 22.0%と続いている。だいたい満足していると回答した割合は、「点字図書の品ぞろえ」が 31.7%で最も多く、次いで、「利用方法の案内のわかりやすさ」が 31.0%、「録音図書の品ぞろえ」が 28.9%と続いている。やや不満であると回答した割合は、「利用方法の案内のわかりやすさ」が 11.9%で最も多く、次いで、「イベントなどの情報発信」が 10.5%、「録音図書の品ぞろえ」が 5.3%と続いている。大いに不満であると回答した割合は、「録音図書の品ぞろえ」が 5.3%と最も多く、次いで、「利用方法の案内のわかりやすさ」が 4.8%、「イベントなどの情報発信」が 2.6%と続いている。

①点字図書の品ぞろえ（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 15～19歳	N=5	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
2 20～29歳	N=0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
3 30～39歳	N=1	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4 40～49歳	N=5	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
5 50～59歳	N=4	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0
6 60～69歳	N=9	2 22.2	3 33.3	0 0.0	0 0.0	4 44.4
7 70～79歳	N=10	2 20.0	2 20.0	1 10.0	0 0.0	5 50.0
8 80歳以上	N=7	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	4 57.1

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、15～19歳では、「大いに満足している」と回答した割合が最も多く、40～49歳では、「だいたい満足している」と回答した割合が最も多く、その他の年齢では、「わからない」が最も多くなっている。

「大いに満足している」は15～19歳が40.0%で、「だいたい満足している」は40～49歳が40.0%で、「やや不満である」は70～79歳が10.0%で、「わからない」は80歳以上が57.1%で、それぞれ最も多くなっている。

※有効回答票数が5票未満の項目は省略

①点字図書の品ぞろえ（居住地別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 高知市	N=28	4	8	1	1	14
		14.3	28.6	3.6	3.6	50.0
2 高知市以外	N=13	3	5	0	0	5
		23.1	38.5	0.0	0.0	38.5
3 県外	N=0	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市では、「わからない」と回答した割合が最も多く、高知市以外では、「だいたい満足している」、「わからない」と回答した割合が最も多くなっている。

①点字図書の品ぞろえ（障害の様態別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 身体障害者手帳を持っている	N=35	6 17.1	13 37.1	1 2.9	1 2.9	14 40.0
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている	N=1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3 療育手帳を持っている	N=1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
4 活字をそのままの大きさでは読めない	N=11	1 9.1	4 36.4	1 9.1	0 0.0	5 45.5
5 活字を長時間集中して読むことができない	N=6	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	2 33.3
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない	N=4	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
7 身体のまひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない	N=2	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
8 本や雑誌をそのまま利用することができない	N=13	3 23.1	5 38.5	1 7.7	0 0.0	4 30.8
9 図書館まで移動することができない	N=5	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0

※属性別に最も多い割合に色付け

障害の様態別に(大いに・だいたい)満足していると回答した割合をみると、最も該当者の多い、身体障害者手帳を持っている回答者は 54.2%、次いで該当者の多い、本や雑誌をそのまま利用することができない回答者は 61.6%、活字をそのままの大きさでは読めない回答者は 45.5%などとなっている。

②録音図書の品ぞろえ（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 15～19歳	N=5	0	3	0	0	2
		0.0	60.0	0.0	0.0	40.0
2 20～29歳	N=0	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—
3 30～39歳	N=1	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
4 40～49歳	N=5	1	2	0	1	1
		20.0	40.0	0.0	20.0	20.0
5 50～59歳	N=4	0	1	0	1	2
		0.0	25.0	0.0	25.0	50.0
6 60～69歳	N=8	1	1	1	0	5
		12.5	12.5	12.5	0.0	62.5
7 70～79歳	N=9	2	3	1	0	3
		22.2	33.3	11.1	0.0	33.3
8 80歳以上	N=6	3	1	0	0	2
		50.0	16.7	0.0	0.0	33.3

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、80 歳以上では、「大いに満足している」と回答した割合が最も多く、15～19 歳、40～49 歳、70～79 歳では、「だいたい満足している」と回答した割合が最も多く、その他の年齢では、「わからない」が最も多くなっている。

「大いに満足している」は 80 歳以上が 50.0%で、「だいたい満足している」は 15～19 歳が 60.0%で、「やや不満である」は 60～69 歳が 12.5%で、「大いに不満である」は 40～49 歳が 20.0%で、「わからない」は 60～69 歳以上が 62.5%で、それぞれ最も多くなっている。

※有効回答票数が 5 票未満の項目は省略

②録音図書の品ぞろえ（居住地別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 高知市	N=25	6	6	1	1	11
		24.0	24.0	4.0	4.0	44.0
2 高知市以外	N=13	1	5	1	1	5
		7.7	38.5	7.7	7.7	38.5
3 県外	N=0	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市では、「わからない」と回答した割合が最も多く、高知市以外では、「だいたい満足している」、「わからない」が最も多くなっている。

②録音図書の品ぞろえ（障害の様態別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 身体障害者手帳を持っている	N=32	7 21.9	10 31.3	2 6.3	2 6.3	11 34.4
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている	N=1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3 療育手帳を持っている	N=1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
4 活字をそのままの大きさでは読めない	N=10	0 0.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	5 50.0
5 活字を長時間集中して読むことができない	N=5	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない	N=3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	2 66.7
7 身体のまひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない	N=1	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
8 本や雑誌をそのまま利用することができない	N=12	1 8.3	5 41.7	1 8.3	0 0.0	5 41.7
9 図書館まで移動することができない	N=4	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0

※属性別に最も多い割合に色付け

障害の様態別に(大いに・だいたい)満足していると回答した割合をみると、最も該当者の多い、身体障害者手帳を持っている回答者は 53.2%、次いで該当者の多い、本や雑誌をそのまま利用することができない回答者は 50.0%、活字をそのままの大きさでは読めない回答者は 40.0%などとなっている。

③大活字本の品ぞろえ（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 15～19歳	N=5	1	1	0	0	3
		20.0	20.0	0.0	0.0	60.0
2 20～29歳	N=0	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—
3 30～39歳	N=1	0	1	0	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
4 40～49歳	N=5	1	1	0	0	3
		20.0	20.0	0.0	0.0	60.0
5 50～59歳	N=3	1	1	0	0	1
		33.3	33.3	0.0	0.0	33.3
6 60～69歳	N=8	1	0	0	0	7
		12.5	0.0	0.0	0.0	87.5
7 70～79歳	N=11	0	2	1	0	8
		0.0	18.2	9.1	0.0	72.7
8 80歳以上	N=6	0	1	0	0	5
		0.0	16.7	0.0	0.0	83.3

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で、「わからない」と回答した割合が最も多くなっている。

「大いに満足している」、「だいたい満足している」は15～19歳、40～49歳が20.0%で、「やや不満である」は70～79歳が9.1%で、「わからない」は60～69歳以上が87.5%で、それぞれ最も多くなっている。

※有効回答票数が5票未満の項目は省略

③大活字本の品ぞろえ（居住地別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 高知市	N=26	3	3	1	0	19
		11.5	11.5	3.8	0.0	73.1
2 高知市以外	N=13	1	4	0	0	8
		7.7	30.8	0.0	0.0	61.5
3 県外	N=0	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市、高知市以外ともに、「わからない」と回答した割合が最も多くなっている。

③大活字本の品ぞろえ（障害の様態別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 身体障害者手帳を持っている	N=32	2 6.3	4 12.5	0 0.0	0 0.0	26 81.3
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている	N=1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3 療育手帳を持っている	N=1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4 活字をそのままの大きさでは読めない	N=13	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0	10 76.9
5 活字を長時間集中して読むことができない	N=7	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	6 85.7
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない	N=5	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0
7 身体のまひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない	N=2	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
8 本や雑誌をそのまま利用することができない	N=13	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	12 92.3
9 図書館まで移動することができない	N=5	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	4 80.0

※属性別に最も多い割合に色付け

障害の様態別に(大いに・だいたい)満足していると回答した割合をみると、最も該当者の多い、身体障害者手帳を持っている回答者は 18.8%、次いで該当者の多い、活字をそのままの大きさでは読めない回答者は 15.4%、本や雑誌をそのまま利用することができない回答者は 7.7%などとなっている。

④やさしい(わかりやすい)本やマンガの品ぞろえ(年齢別)

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 15～19歳	N=5	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
2 20～29歳	N=0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
3 30～39歳	N=1	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4 40～49歳	N=5	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0
5 50～59歳	N=5	1 20.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0
6 60～69歳	N=9	2 22.2	2 22.2	1 11.1	0 0.0	4 44.4
7 70～79歳	N=10	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	9 90.0
8 80歳以上	N=6	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	4 66.7

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、15～19歳では、「大いに満足している」と回答した割合が最も多く、50～59歳では、「だいたい満足している」が最も多く、その他の年齢では、「わからない」が最も多くなっている。

「大いに満足している」は15～19歳が80.0%で、「だいたい満足している」は50～59歳が40.0%で、「やや不満である」は60～69歳が11.1%で、「大いに不満である」は50～59歳が20.0%で、「わからない」は70～79歳が90.0%で、それぞれ最も多くなっている。

※有効回答票数が5票未満の項目は省略

④やさしい(わかりやすい)本やマンガの品ぞろえ（居住地別）

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 高知市	N=27	4	5	1	1	16
		14.8	18.5	3.7	3.7	59.3
2 高知市以外	N=14	5	3	0	0	6
		35.7	21.4	0.0	0.0	42.9
3 県外	N=0	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市、高知市以外ともに、「わからない」と回答した割合が最も多くなっている。

④やさしい(わかりやすい)本やマンガの品ぞろえ(障害の様態別)

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 身体障害者手帳を持っている	N=32	5 15.6	4 12.5	1 3.1	1 3.1	21 65.6
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている	N=3	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3 療育手帳を持っている	N=1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4 活字をそのままの大きさでは読めない	N=12	0 0.0	2 16.7	0 0.0	0 0.0	10 83.3
5 活字を長時間集中して読むことができない	N=6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない	N=5	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0
7 身体のまひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない	N=1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
8 本や雑誌をそのまま利用することができない	N=12	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	11 91.7
9 図書館まで移動することができない	N=4	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0

※属性別に最も多い割合に色付け

障害の様態別に(大いに・だいたい)満足していると回答した割合をみると、最も該当者の多い、身体障害者手帳を持っている回答者は 28.1%、次いで該当者の多い、活字をそのままの大きさでは読めない回答者は 16.7%、本や雑誌をそのまま利用することができない回答者は 8.3%などとなっている。

⑤対面音訳サービスの環境や方法（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 15～19歳	N=5	0	1	0	0	4
		0.0	20.0	0.0	0.0	80.0
2 20～29歳	N=0	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—
3 30～39歳	N=1	0	1	0	0	0
		0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
4 40～49歳	N=5	2	1	0	0	2
		40.0	20.0	0.0	0.0	40.0
5 50～59歳	N=3	0	0	1	0	2
		0.0	0.0	33.3	0.0	66.7
6 60～69歳	N=9	1	2	0	0	6
		11.1	22.2	0.0	0.0	66.7
7 70～79歳	N=9	0	2	0	0	7
		0.0	22.2	0.0	0.0	77.8
8 80歳以上	N=6	1	1	0	0	4
		16.7	16.7	0.0	0.0	66.7

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、40～49 歳では、「大いに満足している」と回答した割合が最も多く、その他の年齢では、「わからない」が最も多くなっている。

「大いに満足している」は 40～49 歳が 40.0%で、「だいたい満足している」は 60～69 歳、70～79 歳が 22.2%で、「わからない」は 15～19 歳が 80%で、それぞれ最も多くなっている。

※有効回答票数が 5 票未満の項目は省略

⑤対面音訳サービスの環境や方法（居住地別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 高知市	N=24	3	4	0	0	17
		12.5	16.7	0.0	0.0	70.8
2 高知市以外	N=14	1	4	1	0	8
		7.1	28.6	7.1	0.0	57.1
3 県外	N=0	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市、高知市以外ともに、「わからない」と回答した割合が最も多くなっている。

⑤対面音訳サービスの環境や方法（障害の様態別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 身体障害者手帳を持っている	N=31	3	7	1	0	20
		9.7	22.6	3.2	0.0	64.5
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている	N=2	2	0	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 療育手帳を持っている	N=1	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
4 活字をそのままの大きさでは読めない	N=11	1	1	1	0	8
		9.1	9.1	9.1	0.0	72.7
5 活字を長時間集中して読むことができない	N=6	1	1	0	0	4
		16.7	16.7	0.0	0.0	66.7
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない	N=4	2	0	0	0	2
		50.0	0.0	0.0	0.0	50.0
7 身体のまひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない	N=1	0	0	0	0	1
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8 本や雑誌をそのまま利用することができない	N=12	1	1	1	0	9
		8.3	8.3	8.3	0.0	75.0
9 図書館まで移動することができない	N=4	0	0	0	0	4
		0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

※属性別に最も多い割合に色付け

障害の様態別に(大いに・だいたい)満足していると回答した割合をみると、最も該当者の多い、身体障害者手帳を持っている回答者は 32.3%、次いで該当者の多い、本や雑誌をそのまま利用することができない回答者は 16.6%、活字をそのままの大きさでは読めない回答者は 18.2%などとなっている。

⑥利用方法の案内のわかりやすさ（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 15～19歳	N=5	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
2 20～29歳	N=0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
3 30～39歳	N=2	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4 40～49歳	N=5	2 40.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0
5 50～59歳	N=4	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0
6 60～69歳	N=9	1 11.1	4 44.4	2 22.2	1 11.1	1 11.1
7 70～79歳	N=10	2 20.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	4 40.0
8 80歳以上	N=7	2 28.6	3 42.9	1 14.3	0 0.0	1 14.3

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、15～19歳、40～49歳では、「大いに満足している」と回答した割合が最も多く、60～69歳、80歳以上では、「だいたい満足している」が最も多く、その他の年齢では、「わからない」が最も多くなっている。

「大いに満足している」は15～19歳が60.0%で、「だいたい満足している」は60～69歳が44.4%で、「やや不満である」は60～69歳が22.2%で、「大いに不満である」は60～69歳が11.1%で、「わからない」は40～49歳、70～79歳が40.0%で、それぞれ最も多くなっている。

※有効回答票数が5票未満の項目は省略

⑥利用方法の案内のわかりやすさ（居住地別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 高知市	N=28	7	8	5	1	7
		25.0	28.6	17.9	3.6	25.0
2 高知市以外	N=14	4	5	0	1	4
		28.6	35.7	0.0	7.1	28.6
3 県外	N=0	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市、高知市以外ともに、「だいたい満足している」と回答した割合が最も多くなっている。

⑥利用方法の案内のわかりやすさ（障害の様態別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 身体障害者手帳を持っている	N=35	8 22.9	12 34.3	3 8.6	2 5.7	10 28.6
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている	N=1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3 療育手帳を持っている	N=1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
4 活字をそのままの大きさでは読めない	N=11	3 27.3	3 27.3	2 18.2	0 0.0	3 27.3
5 活字を長時間集中して読むことができない	N=6	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない	N=4	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7 身体のまひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない	N=2	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
8 本や雑誌をそのまま利用することができない	N=12	3 25.0	3 25.0	1 8.3	0 0.0	5 41.7
9 図書館まで移動することができない	N=5	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0

※属性別に最も多い割合に色付け

障害の様態別に(大いに・だいたい)満足していると回答した割合をみると、最も該当者の多い、身体障害者手帳を持っている回答者は 57.2%、次いで該当者の多い、本や雑誌をそのまま利用することができない回答者は 50.0%、活字をそのままの大きさでは読めない回答者は 54.6%などとなっている。

⑦イベントなどの情報発信（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 15～19歳	N=5	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
2 20～29歳	N=0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
3 30～39歳	N=1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
4 40～49歳	N=5	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
5 50～59歳	N=4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	3 75.0
6 60～69歳	N=9	1 11.1	3 33.3	3 33.3	0 0.0	2 22.2
7 70～79歳	N=8	2 25.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	3 37.5
8 80歳以上	N=6	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	2 33.3

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、15～19歳、40～49歳では、「大いに満足している」と回答した割合が最も多く、70～79歳、80歳以上では、「だいたい満足している」が最も多く、60～69歳では、「だいたい満足している」と「やや不満である」が最も多く、その他の年齢では、「わからない」が最も多くなっている。

「大いに満足している」は15～19歳、40～49歳が40.0%で、「だいたい満足している」は70～79歳が37.5%で、「やや不満である」は60～69歳が33.3%で、「わからない」は、15～19歳、40～49歳が40.0%で、それぞれ最も多くなっている。

※有効回答票数が5票未満の項目は省略

⑦イベントなどの情報発信（居住地別）[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 高知市	N=24	4	7	3	1	9
		16.7	29.2	12.5	4.2	37.5
2 高知市以外	N=14	5	3	1	0	5
		35.7	21.4	7.1	0.0	35.7
3 県外	N=0	0	0	0	0	0
		—	—	—	—	—

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市では、「わからない」と回答した割合が最も多く、高知市以外では、「大いに満足している」、「わからない」が最も多くなっている。

⑦イベントなどの情報発信（障害の様態別）[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		大いに満足している	だいたい満足している	やや不満である	大いに不満である	わからない
1 身体障害者手帳を持っている	N=32	8 25.0	10 31.3	4 12.5	1 3.1	9 28.1
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている	N=1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3 療育手帳を持っている	N=1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
4 活字をそのままの大きさでは読めない	N=10	2 20.0	3 30.0	0 0.0	0 0.0	5 50.0
5 活字を長時間集中して読むことができない	N=5	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない	N=3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3
7 身体のまひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない	N=1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
8 本や雑誌をそのまま利用することができない	N=11	2 18.2	4 36.4	0 0.0	0 0.0	5 45.5
9 図書館まで移動することができない	N=4	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0

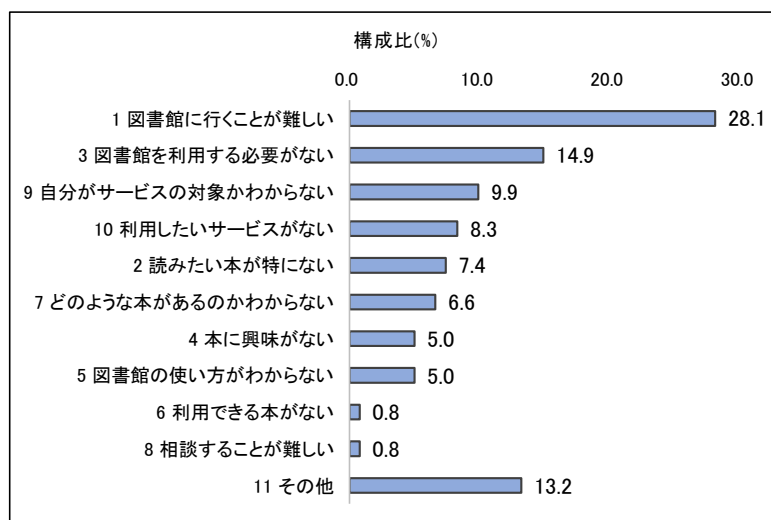
※属性別に最も多い割合に色付け

障害の様態別に(大いに・だいたい)満足していると回答した割合をみると、最も該当者の多い、身体障害者手帳を持っている回答者は 56.3%、次いで該当者の多い、本や雑誌をそのまま利用することができない回答者は 54.6%、活字をそのままの大きさでは読めない回答者は 50.0%などとなっている。

4.8 【問 7】 バリアフリーサービスを利用しない理由

問5で「知っているが利用したことがない」と回答した方におたずねします。バリアフリーサービスを利用しない最大の理由を教えてください。【○は1つだけ】

	回答票数	構成比(%)
	N=121	100.0
1 図書館に行くことが難しい	34	28.1
2 読みたい本が特にな	9	7.4
3 図書館を利用する必要がない	18	14.9
4 本に興味がない	6	5.0
5 図書館の使い方がわからない	6	5.0
6 利用できる本がない	1	0.8
7 どのような本があるかわからない	8	6.6
8 相談することが難しい	1	0.8
9 自分がサービスの対象かわからない	12	9.9
10 利用したいサービスがない	10	8.3
11 その他	16	13.2



問5で「知っているものがあるが、利用したことがない」と回答した方に、バリアフリーサービスを利用しない最大の理由を尋ねたところ、「図書館に行くことが難しい」が 28.1%で最も多く、次いで、「図書館を利用する必要がない」が 14.9%、「その他」が 13.2%と続いている。

バリアフリーサービスを利用しない理由（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		図書館に行くことが難しい	読みたい本が特にない	図書館を利用する必要がない	本に興味がない	図書館の使い方がわからない	利用できる本がない	どのような本があるのかわからない	相談することが難しい	自分がサービスの対象かわからない	利用したいサービスがない	その他
1 15～19歳	N=8	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	3 37.5	1 12.5
2 20～29歳	N=8	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0
3 30～39歳	N=11	0 0.0	1 9.1	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	3 27.3	1 9.1	3 27.3
4 40～49歳	N=12	1 8.3	2 16.7	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	3 25.0	2 16.7
5 50～59歳	N=17	8 47.1	1 5.9	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.8	0 0.0	2 11.8	1 5.9	2 11.8
6 60～69歳	N=19	4 21.1	2 10.5	3 15.8	3 15.8	0 0.0	0 0.0	2 10.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 26.3
7 70～79歳	N=29	11 37.9	2 6.9	3 10.3	1 3.4	3 10.3	1 3.4	0 0.0	1 3.4	4 13.8	1 3.4	2 6.9
8 80歳以上	N=17	8 47.1	0 0.0	5 29.4	0 0.0	3 17.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、50～59 歳、70～79 歳、80 歳以上では、「図書館に行くことが難しい」と回答した割合が最も多く、20～29 歳では、「図書館に行くことが難しい」と「どのような本があるのかわからない」が最も多く、30～39 歳では、「自分がサービスの対象かわからない」と「その他」が最も多く、15～19 歳、40～49 歳では、「利用したいサービスがない」が最も多く、60～69 歳では、「その他」が最も多くなっている。

「図書館に行くことが難しい」は 50～59 歳、80 歳以上が 47.1%で、「図書館を利用する必要がない」は 80 歳以上が 29.4%で、「自分がサービスの対象かわからない」は 30～39 歳が 27.3%で、「利用したいサービスがない」は 15～19 歳が 37.5%で、「その他」は 30～39 歳が 27.3%で、それぞれ最も多くなっている。

バリアフリーサービスを利用しない理由（居住地別）[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		図書館に行くことが難しい	読みたい本が特にな	図書館を利用する必要がない	本に興味がない	図書館の使い方がわからない	利用できる本がない	どのような本があるのかわからない	相談することが難しい	自分がサービスの対象かわからない	利用したいサービスがない	その他
1 高知市	N=91	23	6	15	4	6	0	4	1	11	10	11
		25.3	6.6	16.5	4.4	6.6	0.0	4.4	1.1	12.1	11.0	12.1
2 高知市以外	N=29	10	3	3	2	0	1	4	0	1	0	5
		34.5	10.3	10.3	6.9	0.0	3.4	13.8	0.0	3.4	0.0	17.2
3 県外	N=0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市、高知市外ともに、「図書館に行くことが難しい」と回答した割合が最も多くなっている。

バリアフリーサービスを利用しない理由について(障害の様態別)

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		図書館に行くことが難しい	読みたい本が特にな	図書館を利用する必要がない	本に興味がない	図書館の使い方がわからない	利用できる本がない	どのような本があるのかわからない	相談することが難しい	自分がサービスの対象かわからない	利用したいサービスがない	その他
1 身体障害者手帳を持っている	N=63	18 28.6	3 4.8	9 14.3	3 4.8	5 7.9	1 1.6	2 3.2	1 1.6	9 14.3	4 6.3	8 12.7
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている	N=9	3 33.3	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	1 11.1	2 22.2
3 療育手帳を持っている	N=13	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	4 30.8	0 0.0	2 15.4	1 7.7	2 15.4
4 活字をそのままの大きさでは読めない	N=17	10 58.8	2 11.8	0 0.0	1 5.9	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9
5 活字を長時間集中して読むことができない	N=19	9 47.4	0 0.0	2 10.5	2 10.5	2 10.5	0 0.0	1 5.3	0 0.0	1 5.3	1 5.3	1 5.3
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない	N=10	4 40.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0
7 身体のまひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない	N=4	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
8 本や雑誌をそのまま利用することができない	N=10	6 60.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
9 図書館まで移動することができない	N=22	15 68.2	1 4.5	2 9.1	0 0.0	3 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0

※属性別に最も多い割合に色付け

障害の様態別にみると、療育手帳を持っている回答者では、「どのような本があるのかわからない」と回答した割合が最も多く、その他の障害の様態では、「図書館に行くことが難しい」が最も多くなっている。

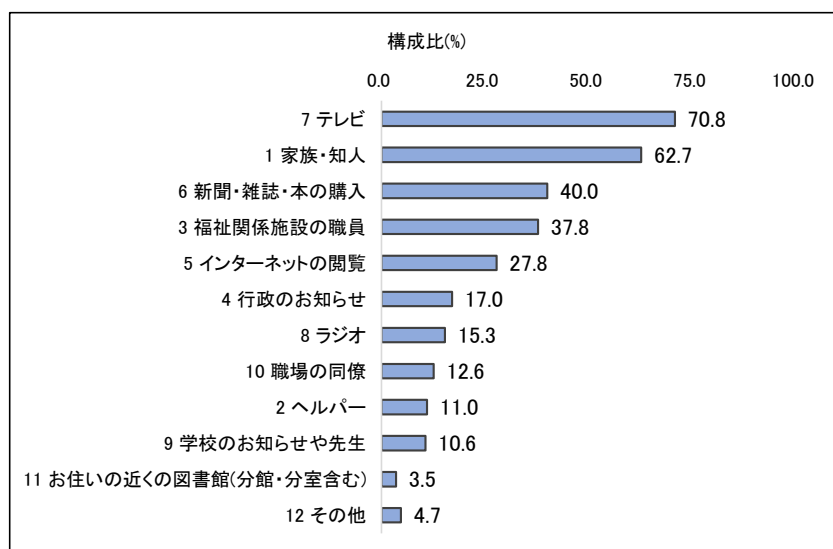
身体障害者手帳を持っている回答者は、「図書館に行くことが難しい」、「図書館を利用する必要がない」、「自分がサービスの対象かわからない」などの順で、それぞれ多くなっている。図書館まで移動することができない回答者は、「図書館に行くことが難しい」、「図書館の使い方がわからない」などの順で、それぞれ多くなっている。活字を長時間集中して読むことができない回答者は、「図書館に行くことが難しい」、「図書館を利用する必要がない」、「本に興味がない」、「図書館の使い方がわからない」などの順で、それぞれ多くなっている。

※有効回答票数が 5 票未満は省略

4.9 【問 8】 情報の入手方法

普段、暮らしや仕事に必要な情報をどこから得ていますか。【〇はいくつでも】

	回答票数	構成比(%)
	N=593	100.0
1 家族・知人	372	62.7
2 ヘルパー	65	11.0
3 福祉関係施設の職員	224	37.8
4 行政のお知らせ	101	17.0
5 インターネットの閲覧	165	27.8
6 新聞・雑誌・本の購入	237	40.0
7 テレビ	420	70.8
8 ラジオ	91	15.3
9 学校のお知らせや先生	63	10.6
10 職場の同僚	75	12.6
11 お住いの近くの図書館(分館・分室含む)	21	3.5
12 その他	28	4.7



暮らしや仕事に必要な情報をどこから入手しているかを尋ねたところ、「テレビ」が 70.8%で最も多く、次いで、「家族・知人」が 62.7%、「新聞・雑誌・本の購入」が 40.0%と続いている。

情報の入手方法（年齢別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		家族・知人	ヘルパー	福祉関係施設の職員	行政のお知らせ	インターネットの閲覧	新聞・雑誌・本の購入	テレビ	ラジオ	学校のお知らせや先生	職場の同僚	お住いの近くの図書館（分館・分室含む）	その他
1 15～19歳	N=94	66	1	10	1	52	24	61	4	58	1	2	1
		70.2	1.1	10.6	1.1	55.3	25.5	64.9	4.3	61.7	1.1	2.1	1.1
2 20～29歳	N=33	23	0	18	6	17	11	19	2	0	6	1	2
		69.7	0.0	54.5	18.2	51.5	33.3	57.6	6.1	0.0	18.2	3.0	6.1
3 30～39歳	N=35	26	2	18	8	18	12	25	2	0	18	0	4
		74.3	5.7	51.4	22.9	51.4	34.3	71.4	5.7	0.0	51.4	0.0	11.4
4 40～49歳	N=62	32	4	34	5	22	19	40	9	1	17	5	4
		51.6	6.5	54.8	8.1	35.5	30.6	64.5	14.5	1.6	27.4	8.1	6.5
5 50～59歳	N=59	32	5	27	12	12	19	41	11	2	12	1	2
		54.2	8.5	45.8	20.3	20.3	32.2	69.5	18.6	3.4	20.3	1.7	3.4
6 60～69歳	N=60	28	0	16	20	22	32	40	9	0	10	4	6
		46.7	0.0	26.7	33.3	36.7	53.3	66.7	15.0	0.0	16.7	6.7	10.0
7 70～79歳	N=109	68	22	32	25	19	56	84	23	1	6	6	5
		62.4	20.2	29.4	22.9	17.4	51.4	77.1	21.1	0.9	5.5	5.5	4.6
8 80歳以上	N=141	97	31	69	24	3	64	110	31	1	5	2	4
		68.8	22.0	48.9	17.0	2.1	45.4	78.0	22.0	0.7	3.5	1.4	2.8

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、15～19 歳、20～29 歳、30～39 歳では、「家族・知人」と回答した割合が最も多く、その他の年齢では、「テレビ」が最も多くなっている。

「テレビ」は 80 歳以上が 78.0%で、「家族・知人」は 30～39 歳が 74.3%で、「新聞・雑誌・本の購入」は 60～69 歳が 53.3%で、それぞれ最も多くなっている。

4 調査結果【バリアフリーサービス】

情報の入手方法（居住地別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		家族・知人	ヘルパー	福祉関係施設の職員	行政のお知らせ	インターネットの閲覧	新聞・雑誌・本の購入	テレビ	ラジオ	学校のお知らせや先生	職場の同僚	お住いの近くの図書館（分館・分室含む）	その他
1 高知市	N=386	243	55	142	80	94	164	273	67	33	52	16	19
		63.0	14.2	36.8	20.7	24.4	42.5	70.7	17.4	8.5	13.5	4.1	4.9
2 高知市以外	N=204	127	9	82	20	70	71	145	24	30	23	5	9
		62.3	4.4	40.2	9.8	34.3	34.8	71.1	11.8	14.7	11.3	2.5	4.4
3 県外	N=0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※属性別に最も多い割合に色付け

居住地別にみると、高知市、高知市以外ともに、「テレビ」と回答した割合が最も多くなっている。

情報の入手方法（障害の様態別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		家族・知人	ヘルパー	福祉関係施設の職員	行政のお知らせ	インターネットの閲覧	新聞・雑誌・本の購入	テレビ	ラジオ	学校のお知らせや先生	職場の同僚	お住いの近くの図書館（分館・分室含む）	その他
1 身体障害者手帳を持っている	N=227	133 58.6	27 11.9	80 35.2	51 22.5	74 32.6	97 42.7	162 71.4	45 19.8	18 7.9	28 12.3	9 4.0	15 6.6
2 精神障害者保険福祉手帳を持っている	N=50	24 48.0	3 6.0	21 42.0	10 20.0	16 32.0	20 40.0	33 66.0	4 8.0	4 8.0	11 22.0	3 6.0	3 6.0
3 療育手帳を持っている	N=119	77 64.7	3 2.5	50 42.0	5 4.2	33 27.7	32 26.9	80 67.2	5 4.2	34 28.6	13 10.9	3 2.5	4 3.4
4 活字をそのままの大きさでは読めない	N=96	65 67.7	21 21.9	52 54.2	26 27.1	15 15.6	28 29.2	64 66.7	21 21.9	1 1.0	18 18.8	5 5.2	4 4.2
5 活字を長時間集中して読むことができない	N=119	77 64.7	17 14.3	61 51.3	16 13.4	18 15.1	33 27.7	75 63.0	16 13.4	6 5.0	17 14.3	3 2.5	6 5.0
6 目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない	N=82	52 63.4	10 12.2	49 59.8	13 15.9	4 4.9	20 24.4	51 62.2	9 11.0	3 3.7	10 12.2	3 3.7	6 7.3
7 身体のまひなどにより、資料を持ったリページをめくったりできない	N=12	7 58.3	1 8.3	6 50.0	2 16.7	5 41.7	5 41.7	9 75.0	2 16.7	4 33.3	1 8.3	1 8.3	1 8.3
8 本や雑誌をそのまま利用することができない	N=56	32 57.1	15 26.8	31 55.4	13 23.2	9 16.1	6 10.7	27 48.2	13 23.2	3 5.4	10 17.9	3 5.4	3 5.4
9 図書館まで移動することができない	N=142	87 61.3	20 14.1	76 53.5	19 13.4	10 7.0	45 31.7	107 75.4	13 9.2	5 3.5	6 4.2	1 0.7	2 1.4

※属性別に最も多い割合に色付け

障害の様態別にみると、活字をそのままの大きさでは読めない回答者、活字を長時間集中して読むことができない回答者、目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない回答者、本や雑誌をそのまま利用することができない回答者では、「家族・知人」と回答した割合が最も多く、その他の障害の様態では、「テレビ」が最も多くなっている。

「テレビ」は図書館まで移動することができない回答者が 75.4%で、「家族・知人」は活字をそのままの大きさでは読めない回答者が 67.7%で、「新聞・雑誌・本の購入」は身体障害者手帳を持っている回答者が 42.7%で、それぞれ最も多くなっている。

4.10 クロス集計【問5】×【問2】×【問7】

【問5】バリアフリーサービスの認知度と利用度のうち「知っているが利用したことがない」
 ×【問2】居住地 ×【問7】バリアフリーサービスを利用しない理由
 [上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

			問7 バリアフリーサービスを利用しない理由										
			し 図 書 館 に 行 く こ と が 難 い	読 み た い 本 が 特 に ない	が 図 書 館 を 利 用 す る 必 要	本 に 興 味 が ない	ら 図 書 館 の 使 い 方 が わ か らない	利 用 で き る 本 が ない	ど の よ う な 本 が ある の か わ か ら ない	相 談 す る こ と が 難 しい	か わ か ら ない 自 分 が サ ー ビ ス の 対 象	な い 利 用 し た い サ ー ビ ス が	そ の 他
問 2 × 問 5 用 ビ バ 度 ス リ × 居 住 地 の 認 知 度 と サ リ	高知市	N=91	23	6	15	4	6	0	4	1	11	10	11
			25.3	6.6	16.5	4.4	6.6	0.0	4.4	1.1	12.1	11.0	12.1
	高知市以外	N=29	10	3	3	2	0	1	4	0	1	0	5
			34.5	10.3	10.3	6.9	0.0	3.4	13.8	0.0	3.4	0.0	17.2
	県外	N=0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※居住地別の比較で、5ポイント以上多くなっている箇所に色付け

バリアフリーサービスを知っているが利用したことがない回答者のうち、高知市の回答者、高知市以外の回答者ともに、「図書館に行くことが難しい」と回答した割合が最も多くなっている。

居住地別で比較すると、「利用したいサービスがない」、「自分がサービスの対象かわからない」などでは、高知市のほうが多くなっており、「どのような本があるのかわからない」、「図書館に行くことが難しい」などでは、高知市以外のほうが多くなっている。

4.11 クロス集計【問5】×【問3】×【問7】

【問5】 バリアフリーサービスの認知度・利用度のうち「知っているが利用したことがない」
 ×【問3】 障害の様態 ×【問7】 バリアフリーサービスを利用しない理由
 [上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		問7 バリアフリーサービスを利用しない理由										
		し 図 書 館 に 行 く こ と が 難 い	読 み た い 本 が 特 に な い	が 図 書 館 を 利 用 す る 必 要 な い	本 に 興 味 が な い	図 書 館 の 使 い 方 が わ か ら な い	利 用 で き る 本 が な い	か ど の よ う な 本 が あ る の か わ か ら な い	相 談 す る こ と が 難 い	自 分 が サ ー ビ ス の 対 象 か わ か ら な い	な い 利 用 し た い サ ー ビ ス が	そ の 他
問3 × 問5 バリアフリーサービスの認知度と利用度×障害の様態	身体障害者手帳を持っている N=63	18 28.6	3 4.8	9 14.3	3 4.8	5 7.9	1 1.6	2 3.2	1 1.6	9 14.3	4 6.3	8 12.7
	精神障害者保険福祉手帳を持っている N=9	3 33.3	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	1 11.1	2 22.2
	療育手帳を持っている N=13	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0	4 30.8	0 0.0	2 15.4	1 7.7	2 15.4
	活字をそのままの大きさでは読めない N=17	10 58.8	2 11.8	0 0.0	1 5.9	2 11.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	1 5.9
	活字を長時間集中して読むことができない N=19	9 47.4	0 0.0	2 10.5	2 10.5	2 10.5	0 0.0	1 5.3	0 0.0	1 5.3	1 5.3	1 5.3
	目で読んでも内容がわからない・内容を記憶できない N=10	4 40.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0
	身体のまひなどにより、資料を持ったりページをめくったりできない N=4	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0
	本や雑誌をそのまま利用することができない N=10	6 60.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0
	図書館まで移動することができない N=22	15 68.2	1 4.5	2 9.1	0 0.0	3 13.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.5	0 0.0

※属性別に最も多い割合に色付け

バリアフリーサービスを知っているが利用したことがない回答者のうち、療育手帳を持っている回答者では、利用しない理由を「どのような本があるのかわからない」と回答した割合が最も多く、その他の障害の様態では、「図書館に行くことが難しい」が最も多くなっている。

身体障害者手帳を持っている回答者は、「図書館に行くことが難しい」、「図書館を利用する必要がない」、「自分がサービスの対象かわからない」などの順で、それぞれ多くなっている。図書館まで移動することができない回答者は、「図書館に行くことが難しい」、「図書館の使い方がわからない」などの順で、それぞれ多くなっている。活字を長時間集中して読むことができない回答者は、「図書館に行くことが難しい」、「図書館を利用する必要がない」、「本に興味がない」、「図書館の使い方がわからない」などの順で、それぞれ多くなっている。

※有効回答票数が5票未満は省略

4.12 クロス集計【問5】×【問8】

【問5】バリアフリーサービスの認知度・利用度 × 【問8】情報の入手方法

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		問8 情報の入手方法											
		家族・知人	ヘルパー	福祉関係施設の職員	行政のお知らせ	インターネットの閲覧	新聞・雑誌・本の購入	テレビ	ラジオ	学校のお知らせや先生	職場の同僚	お住いの近くの図書館（分館・分室含む）	その他
問5 のバ リ ア フ リ ー サ ー ビ ス	知っているものがあり、利用したことがある N=53	33	8	16	11	19	19	22	18	5	12	9	2
		62.3	15.1	30.2	20.8	35.8	35.8	41.5	34.0	9.4	22.6	17.0	3.8
	知っているものがあるが、利用したことがない N=125	63	7	35	33	44	49	88	18	6	12	2	9
		50.4	5.6	28.0	26.4	35.2	39.2	70.4	14.4	4.8	9.6	1.6	7.2
	知らない N=402	260	48	166	55	96	153	288	49	49	48	9	15
		64.7	11.9	41.3	13.7	23.9	38.1	71.6	12.2	12.2	11.9	2.2	3.7

※情報の入手方法別に最も多い割合に色付け

バリアフリーサービスを知っているものがあり、利用したことがある回答者では、「家族・知人」と回答した割合が最も多く、知っているものがあるが、利用したことがない回答者、知らない回答者では、「テレビ」が最も多くなっている。

情報の入手方法別に比較すると、「ヘルパー」、「インターネットの閲覧」などでは、知っているものがあり、利用したことがある回答者が、「行政のお知らせ」、「新聞・雑誌・本の購入」などでは、知っているものがあるが、利用したことがない回答者が、「家族・知人」、「福祉関係施設の職員」などでは、知らない回答者が多くなっている。

5 調査結果【行政職員】

5.1 調査結果の概要

サービスや取り組みの認知度と利用度(P110-172)をみると、認知度については、「貸し施設」が80.9%で最も多く、次いで、「調べものの案内(レファレンスサービス)」が55.3%、「チラシやパンフレットの館内配置」が51.4%と続いた。一方で、「ブックリストの作成・提供」は17.3%で最も少なくなっている。

また、利用度については、「貸し施設」は認知している回答者の34.8%が利用したことがあると回答し、次いで、「チラシやパンフレットの館内配置」が25.3%、「連携展示の実施」が21.9%と続き、その他のサービスは20%未満となっている。

情報の入手方法(P173-177)をみると、「インターネットの閲覧」が98.6%で最も多く、次いで、「個人で書籍・新聞・雑誌を購入」が49.9%、「所属で業務用の書籍・新聞・雑誌を購入」が31.1%と続いている。また、「オーテピア高知図書館の利用」は18.2%、「近隣の市町村立図書館(分館・分室を含む)の利用」は6.3%となっている。

図書館活用の役立ち(P178-182)をみると、図書館活用が業務に役立つと回答した割合が72.7%と半数以上を占めており、一方で、役立つと思わないと回答した割合は15.8%となっている。

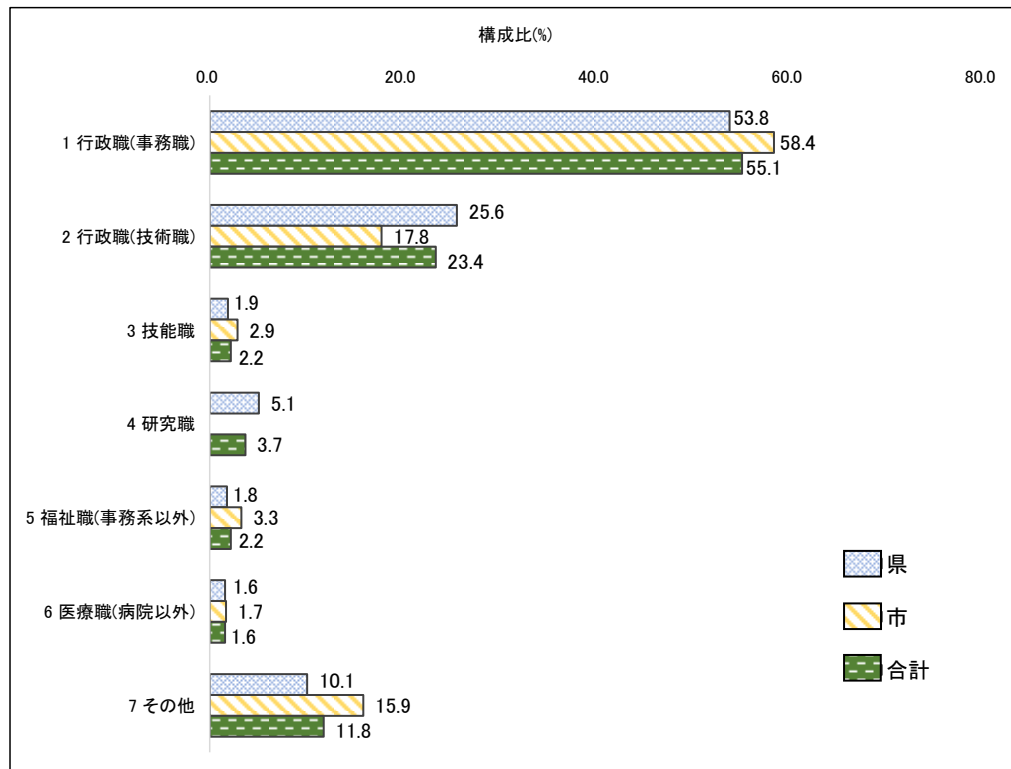
図書館活用は役立たないと思う理由(P183-187)をみると、「図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる」が37.6%で最も多く、次いで、「図書館を利用して、必要な資料・情報を探す時間がない」が16.9%と続き、その他の理由は15%未満となっている。

サービスの期待(P188-192)をみると、「本や雑誌の品ぞろえ」が64.4%と半数以上を占めており、その他のサービスは30%未満となっている。

5.2 【問 1】 職種

あなたの職種を教えてください。【○は1つだけ】 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
1 行政職(事務職)	663	53.8	282	58.4	945	55.1
2 行政職(技術職)	316	25.6	86	17.8	402	23.4
3 技能職	23	1.9	14	2.9	37	2.2
4 研究職	63	5.1	0	0.0	63	3.7
5 福祉職(事務系以外)	22	1.8	16	3.3	38	2.2
6 医療職(病院以外)	20	1.6	8	1.7	28	1.6
7 その他	125	10.1	77	15.9	202	11.8

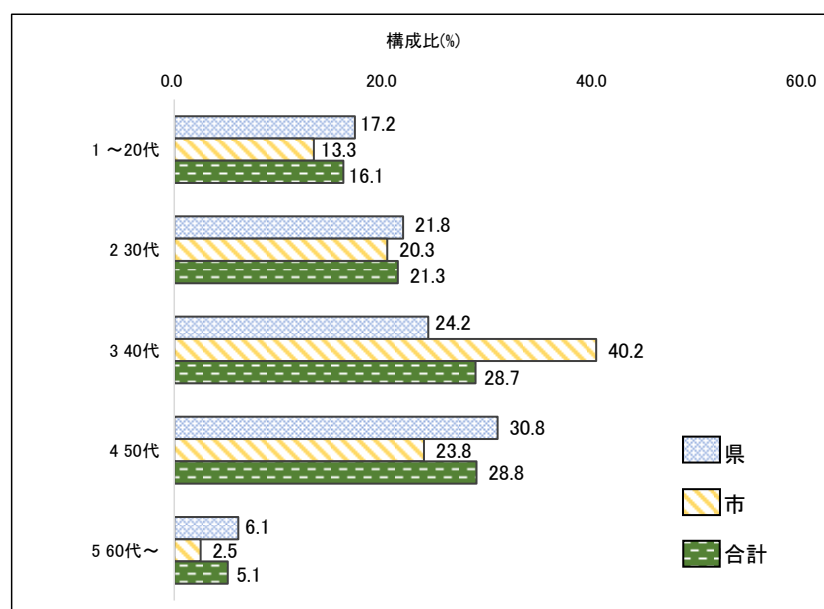


回答者の職種を尋ねたところ、「行政職(事務職)」が 55.1%で最も多く、次いで、「行政職(技術職)」が 23.4%、「その他」が 11.8%と続いている。

5.3 【問 2】 年齢

あなたの年齢を教えてください。【○は1つだけ】 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
1 ～20代	212	17.2	64	13.3	276	16.1
2 30代	268	21.8	98	20.3	366	21.3
3 40代	298	24.2	194	40.2	492	28.7
4 50代	379	30.8	115	23.8	494	28.8
5 60代～	75	6.1	12	2.5	87	5.1



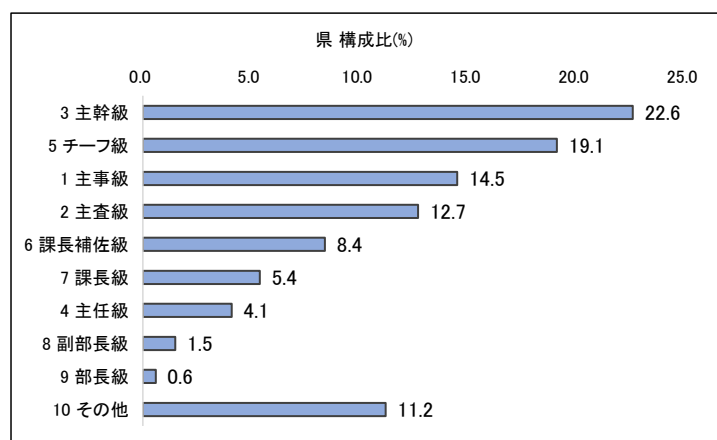
回答者の年齢について尋ねたところ、「50 代」が 28.8%と最も多く、次いで、「40 代」が 28.7%、「30 代」が 21.3%と続いている。

5.4 【問 3】 職位

あなたの職位を教えてください。専門員は「主幹級」を選んでください。会計年度任用職員等は「その他」を選んでください。【○は1つだけ】 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

(県)

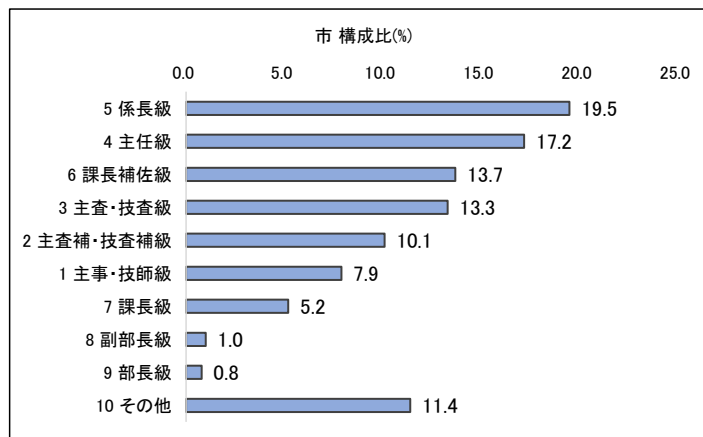
	県 N=1,232	
1 主事級	179	14.5
2 主査級	156	12.7
3 主幹級	278	22.6
4 主任級	50	4.1
5 チーフ級	235	19.1
6 課長補佐級	104	8.4
7 課長級	66	5.4
8 副部長級	19	1.5
9 部長級	7	0.6
10 その他	138	11.2



回答者(県)の職位について尋ねたところ、「主幹級」が 22.6%と最も多く、次いで、「チーフ級」が 19.1%、「主事級」が 14.5%と続いている。

(市)

	市 N=483	
1 主事・技師級	38	7.9
2 主査補・技査補級	49	10.1
3 主査・技査級	64	13.3
4 主任級	83	17.2
5 係長級	94	19.5
6 課長補佐級	66	13.7
7 課長級	25	5.2
8 副部長級	5	1.0
9 部長級	4	0.8
10 その他	55	11.4



回答者(市)の職位について尋ねたところ、「係長級」が 19.5%と最も多く、次いで、「主任級」が 17.2%、「課長補佐級」が 13.7%と続いている。

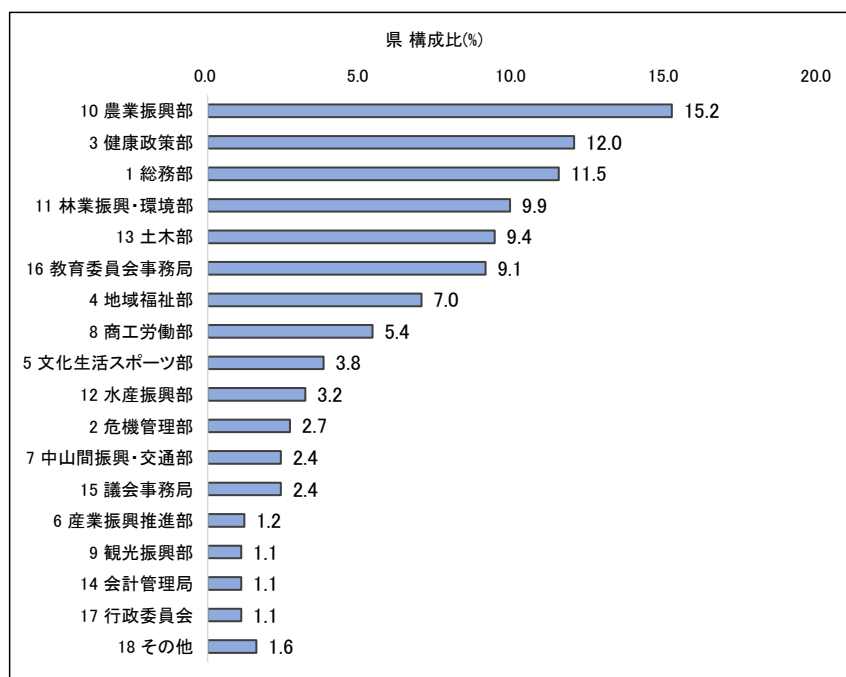
5.5 【問 4】勤務先の部局名

現在の勤務先(所属)の部局名を教えてください。【○は1つだけ】

[左:票数(票) 右:構成比(%)]

(県)

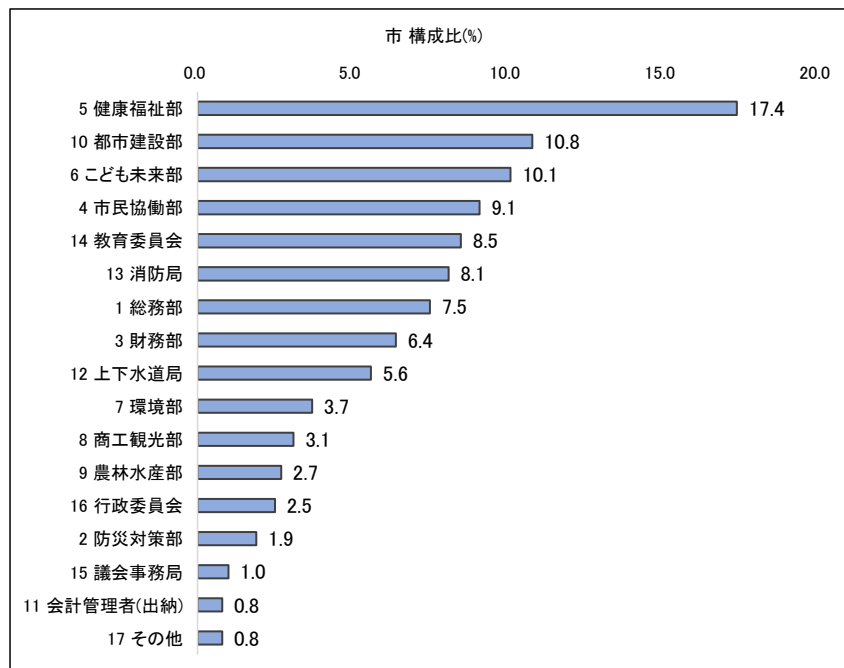
	県 N=1,232	
1 総務部	142	11.5
2 危機管理部	33	2.7
3 健康政策部	148	12.0
4 地域福祉部	86	7.0
5 文化生活スポーツ部	47	3.8
6 産業振興推進部	15	1.2
7 中山間振興・交通部	29	2.4
8 商工労働部	67	5.4
9 観光振興部	13	1.1
10 農業振興部	187	15.2
11 林業振興・環境部	122	9.9
12 水産振興部	40	3.2
13 土木部	116	9.4
14 会計管理局	13	1.1
15 議会事務局	29	2.4
16 教育委員会事務局	112	9.1
17 行政委員会	13	1.1
18 その他	20	1.6



回答者(県)の勤務先(所属)の部局名を尋ねたところ、「農業振興部」が 15.2%と最も多く、次いで、「健康政策部」が 12.0%、「総務部」が 11.5%と続いている。

(市)

	市 N=483	
1 総務部	36	7.5
2 防災対策部	9	1.9
3 財務部	31	6.4
4 市民協働部	44	9.1
5 健康福祉部	84	17.4
6 こども未来部	49	10.1
7 環境部	18	3.7
8 商工観光部	15	3.1
9 農林水産部	13	2.7
10 都市建設部	52	10.8
11 会計管理者(出納)	4	0.8
12 上下水道局	27	5.6
13 消防局	39	8.1
14 教育委員会	41	8.5
15 議会事務局	5	1.0
16 行政委員会	12	2.5
17 その他	4	0.8

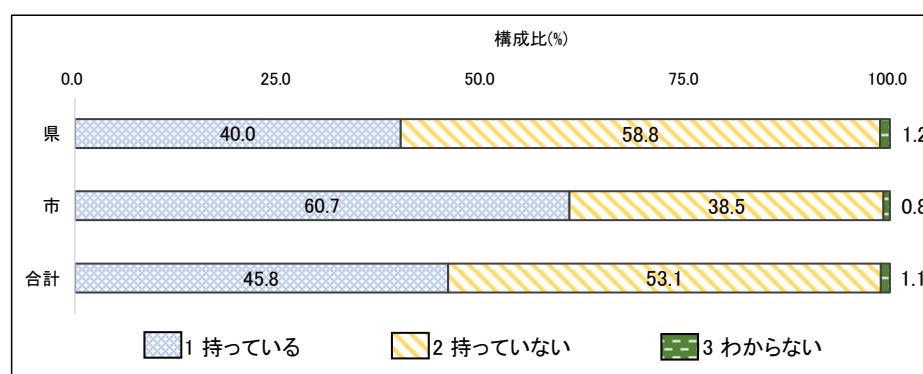


回答者(市)の勤務先(所属)の部局名を尋ねたところ、「健康福祉部」が 17.4%と最も多く、次いで、「都市建設部」が 10.8%、「こども未来部」が 10.1%と続いている。

5.6 【問 5】 共通利用カードの有無

あなたは、オーテピア高知図書館・高知市民図書館分室の共通利用カードを持っていますか。
【○は1つだけ】 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
1 持っている	493	40.0	293	60.7	786	45.8
2 持っていない	724	58.8	186	38.5	910	53.1
3 わからない	15	1.2	4	0.8	19	1.1



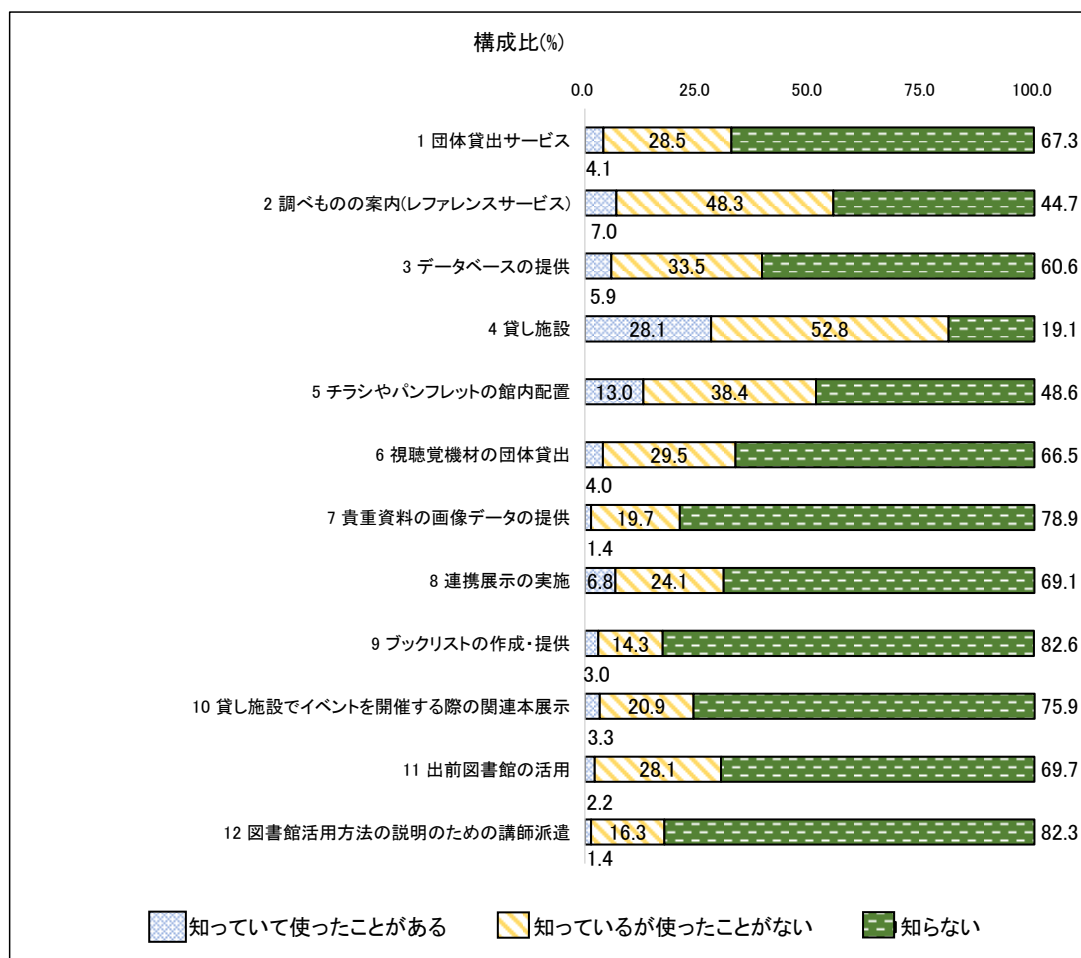
オーテピア高知図書館・高知市民図書館分館室の共通利用カードの有無について尋ねたところ、「持っている」が 45.8%、「持っていない」が 53.1%、「わからない」が 1.1%となっている。

5.7 【問 6】 サービスや取り組みの認知度と利用度

オーテピア高知図書館が「行政支援サービス」として提供している以下のサービスや取組を知っていますか。また、現在の所属の業務に関連して、これらのサービスを利用したり、連携した取組をしたことはありますか。【①～⑫のそれぞれ該当する枠に○】

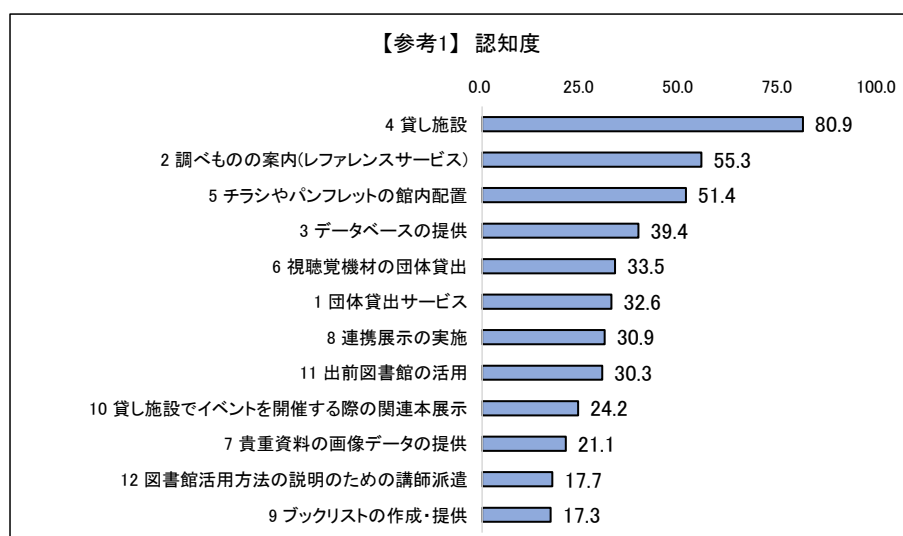
[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		が知 あ っ て い て 使 っ た こ と	と知 が な て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 団体貸出サービス	N=1,715	71	489	1155
		4.1	28.5	67.3
2 調べものの案内(レファレンスサービス)	N=1,715	120	828	767
		7.0	48.3	44.7
3 データベースの提供	N=1,715	101	574	1040
		5.9	33.5	60.6
4 貸し施設	N=1,715	482	905	328
		28.1	52.8	19.1
5 チラシやパンフレットの館内配置	N=1,715	223	658	834
		13.0	38.4	48.6
6 視聴覚機材の団体貸出	N=1,715	69	506	1140
		4.0	29.5	66.5
7 貴重資料の画像データの提供	N=1,715	24	338	1353
		1.4	19.7	78.9
8 連携展示の実施	N=1,715	116	414	1185
		6.8	24.1	69.1
9 ブックリストの作成・提供	N=1,715	52	246	1417
		3.0	14.3	82.6
10 貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示	N=1,715	56	358	1301
		3.3	20.9	75.9
11 出前図書館の活用	N=1,715	37	482	1196
		2.2	28.1	69.7
12 図書館活用方法の説明のための講師派遣	N=1,715	24	279	1412
		1.4	16.3	82.3



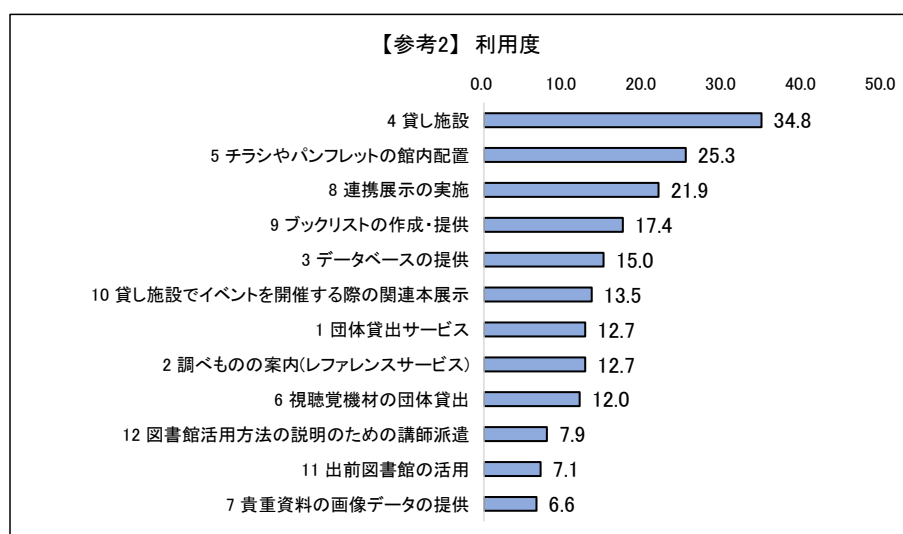
提供しているサービスや取り組みの認知度、利用の有無を尋ねたところ、知っていて使ったことがあると回答した割合は、「貸し施設」が 28.1%で最も多く、次いで、「チラシやパンフレットの館内配置」が 13.0%、「調べものの案内(レファレンスサービス)」が 7.0%と続いている。知っているが使ったことがないと回答した割合は、「貸し施設」が 52.8%で最も多く、次いで、「調べものの案内(レファレンスサービス)」が 48.3%、「チラシやパンフレットの館内配置」が 38.4%と続いている。知らないと回答した割合は、「ブックリストの作成・提供」が 82.6%で最も多く、次いで、「図書館活用方法の説明のための講師派遣」が 82.3%、「貴重資料の画像データの提供」が 78.9%と続いている。

【参考 1】サービスや取り組みの認知度



利用の有無を問わず、サービスや取り組みの認知度をみると、「貸し施設」が 80.9%で最も多く、次いで、「調べものの案内(レファレンスサービス)」が 55.3%、「チラシやパンフレットの館内配置」が 51.4%と続いている。

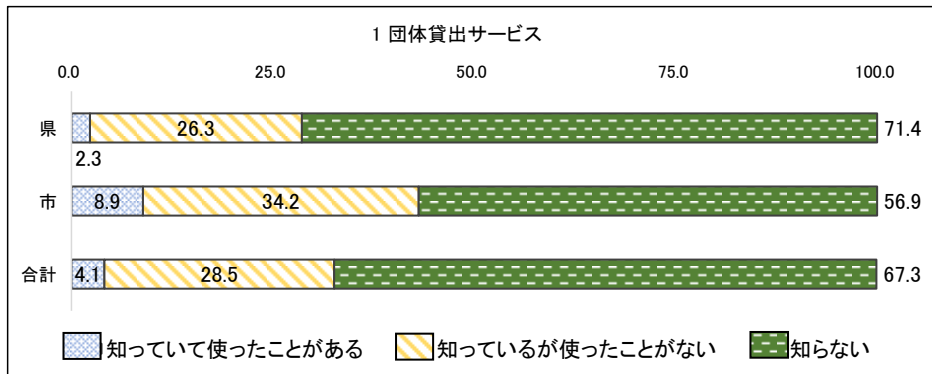
【参考 2】サービスや取り組みの利用度



サービスや取り組みを知っている回答者のうち、その利用度をみると、「貸し施設」が 34.8%で最も多く、次いで、「チラシやパンフレットの館内配置」が 25.3%、「連携展示の実施」が 21.9%と続いている。

①団体貸出サービス [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	28	2.3	43	8.9	71	4.1
知っているが使ったことがない	324	26.3	165	34.2	489	28.5
知らない	880	71.4	275	56.9	1,155	67.3



団体貸出サービスの認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が4.1%、「知っているが使ったことがない」が28.5%、「知らない」が67.3%となっている。

①団体貸出サービス（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 ～20代	N=276	6	86	184
		2.2	31.2	66.7
2 30代	N=366	11	92	263
		3.0	25.1	71.9
3 40代	N=492	23	151	318
		4.7	30.7	64.6
4 50代	N=494	25	139	330
		5.1	28.1	66.8
5 60代～	N=87	6	21	60
		6.9	24.1	69.0

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は60代～が6.9%で、「知っているが使ったことがない」は～20代が31.2%で、「知らない」は30代が71.9%で、それぞれ最も多くなっている。

①団体貸出サービス（県部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=142	4 2.8	45 31.7	93 65.5
2 危機管理部	N=33	1 3.0	4 12.1	28 84.8
3 健康政策部	N=148	2 1.4	35 23.6	111 75.0
4 地域福祉部	N=86	1 1.2	26 30.2	59 68.6
5 文化生活スポーツ部	N=47	1 2.1	14 29.8	32 68.1
6 産業振興推進部	N=15	1 6.7	7 46.7	7 46.7
7 中山間振興・交通部	N=29	1 3.4	5 17.2	23 79.3
8 商工労働部	N=67	0 0.0	13 19.4	54 80.6
9 観光振興部	N=13	1 7.7	2 15.4	10 76.9
10 農業振興部	N=187	3 1.6	34 18.2	150 80.2
11 林業振興・環境部	N=122	0 0.0	21 17.2	101 82.8
12 水産振興部	N=40	2 5.0	11 27.5	27 67.5
13 土木部	N=116	0 0.0	28 24.1	88 75.9
14 会計管理局	N=13	0 0.0	4 30.8	9 69.2
15 議会事務局	N=29	1 3.4	6 20.7	22 75.9
16 教育委員会事務局	N=112	9 8.0	59 52.7	44 39.3
17 行政委員会	N=13	1 7.7	5 38.5	7 53.8
18 その他	N=20	0 0.0	5 25.0	15 75.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、教育委員会事務局では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、産業振興推進部では、「知っているが使ったことがない」と「知らない」が、その他の 16 部局では「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は教育委員会事務局が 8.0%で、「知っているが使ったことがない」は教育委員会事務局が 52.7%で、「知らない」は危機管理部が 84.8%で、それぞれ最も多くなっている。

①団体貸出サービス（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	6 16.7	11 30.6	19 52.8
2 防災対策部	N=9	0 0.0	4 44.4	5 55.6
3 財務部	N=31	1 3.2	13 41.9	17 54.8
4 市民協働部	N=44	5 11.4	18 40.9	21 47.7
5 健康福祉部	N=84	6 7.1	28 33.3	50 59.5
6 こども未来部	N=49	7 14.3	29 59.2	13 26.5
7 環境部	N=18	1 5.6	3 16.7	14 77.8
8 商工観光部	N=15	1 6.7	5 33.3	9 60.0
9 農林水産部	N=13	1 7.7	7 53.8	5 38.5
10 都市建設部	N=52	0 0.0	16 30.8	36 69.2
11 会計管理者(出納)	N=4	0 0.0	1 25.0	3 75.0
12 上下水道局	N=27	0 0.0	4 14.8	23 85.2
13 消防局	N=39	1 2.6	6 15.4	32 82.1
14 教育委員会	N=41	13 31.7	16 39.0	12 29.3
15 議会事務局	N=5	0 0.0	1 20.0	4 80.0
16 行政委員会	N=12	0 0.0	3 25.0	9 75.0
17 その他	N=4	1 25.0	0 0.0	3 75.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、こども未来部など3部局では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、その他の14部局では「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は教育委員会が 31.7%で、「知っているが使ったことがない」はこども未来部が 59.2%で、「知らない」は上下水道局が 85.2%で、それぞれ最も多くなっている。

①団体貸出サービス（共通利用カードの有無別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

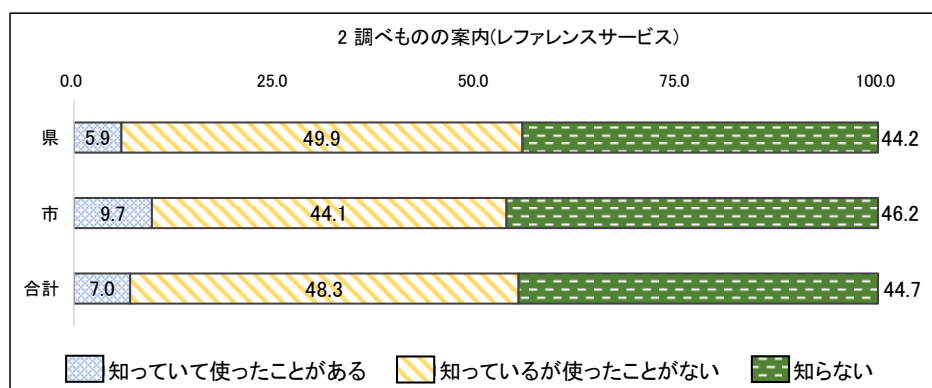
		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている N=786		58	295	433
		7.4	37.5	55.1
2 持っていない N=910		13	190	707
		1.4	20.9	77.7
3 わからない N=19		0	4	15
		0.0	21.1	78.9

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、すべての区分で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

②調べものの案内(レファレンスサービス) [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	73	5.9	47	9.7	120	7.0
知っているが使ったことがない	615	49.9	213	44.1	828	48.3
知らない	544	44.2	223	46.2	767	44.7



調べものの案内(レファレンスサービス)の認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が 7.0%、「知っているが使ったことがない」が 48.3%、「知らない」が 44.7%となっている。

②調べものの案内(レファレンスサービス) (年齢別) [上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		が知 あって いて 使っ たこ と	と知 がっ てい るが 使っ たこ と	知 ら な い
1 ~20代	N=276	20	156	100
		7.2	56.5	36.2
2 30代	N=366	23	174	169
		6.3	47.5	46.2
3 40代	N=492	30	234	228
		6.1	47.6	46.3
4 50代	N=494	39	232	223
		7.9	47.0	45.1
5 60代～	N=87	8	32	47
		9.2	36.8	54.0

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、～20代から50代までの年齢では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、60代～では、「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は60代～が9.2%で、「知っているが使ったことがない」は～20代が56.5%で、「知らない」は60代～が54.0%で、それぞれ最も多くなっている。

②調べものの案内(レファレンスサービス) (県部局別) [上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		が知 あ っ て い て 使 っ た こ と	と知 が っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=142	11	85	46
		7.7	59.9	32.4
2 危機管理部	N=33	0	15	18
		0.0	45.5	54.5
3 健康政策部	N=148	6	77	65
		4.1	52.0	43.9
4 地域福祉部	N=86	5	48	33
		5.8	55.8	38.4
5 文化生活スポーツ部	N=47	3	25	19
		6.4	53.2	40.4
6 産業振興推進部	N=15	2	12	1
		13.3	80.0	6.7
7 中山間振興・交通部	N=29	1	16	12
		3.4	55.2	41.4
8 商工労働部	N=67	3	36	28
		4.5	53.7	41.8
9 観光振興部	N=13	1	6	6
		7.7	46.2	46.2
10 農業振興部	N=187	7	74	106
		3.7	39.6	56.7
11 林業振興・環境部	N=122	5	41	76
		4.1	33.6	62.3
12 水産振興部	N=40	2	22	16
		5.0	55.0	40.0
13 土木部	N=116	8	47	61
		6.9	40.5	52.6
14 会計管理局	N=13	1	8	4
		7.7	61.5	30.8
15 議会事務局	N=29	4	18	7
		13.8	62.1	24.1
16 教育委員会事務局	N=112	13	65	34
		11.6	58.0	30.4
17 行政委員会	N=13	1	9	3
		7.7	69.2	23.1
18 その他	N=20	0	11	9
		0.0	55.0	45.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、林業振興・環境部など5部局では、「知らない」と回答した割合が、その他の14 部局では「知っているが使ったことがない」が、同率を含みそれぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は議会事務局が 13.8%で、「知っているが使ったことがない」は産業振興推進部が 80.0%で、「知らない」は林業振興・環境部が 62.3%で、それぞれ最も多くなっている。

②調べものの案内(レファレンスサービス)(市部局別) [上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		が知 あって いて 使っ たこ と	と知 がっ てい る が 使っ たこ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	9 25.0	17 47.2	10 27.8
2 防災対策部	N=9	1 11.1	5 55.6	3 33.3
3 財務部	N=31	3 9.7	14 45.2	14 45.2
4 市民協働部	N=44	7 15.9	21 47.7	16 36.4
5 健康福祉部	N=84	6 7.1	41 48.8	37 44.0
6 こども未来部	N=49	0 0.0	28 57.1	21 42.9
7 環境部	N=18	2 11.1	6 33.3	10 55.6
8 商工観光部	N=15	3 20.0	7 46.7	5 33.3
9 農林水産部	N=13	1 7.7	9 69.2	3 23.1
10 都市建設部	N=52	4 7.7	21 40.4	27 51.9
11 会計管理者(出納)	N=4	1 25.0	1 25.0	2 50.0
12 上下水道局	N=27	1 3.7	6 22.2	20 74.1
13 消防局	N=39	0 0.0	7 17.9	32 82.1
14 教育委員会	N=41	8 19.5	22 53.7	11 26.8
15 議会事務局	N=5	0 0.0	3 60.0	2 40.0
16 行政委員会	N=12	1 8.3	3 25.0	8 66.7
17 その他	N=4	0 0.0	2 50.0	2 50.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、消防局など8部局では、「知らない」と回答した割合が、農林水産部などの11部局では「知っているが使ったことがない」が、同率を含みそれぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は総務部と会計管理者(出納)が 25.0%で、「知っているが使ったことがない」は農林水産部が 69.2%で、「知らない」は消防局が 82.1%で、それぞれ最も多くなっている。

②調べものの案内(レファレンスサービス) (共通利用カードの有無別)

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

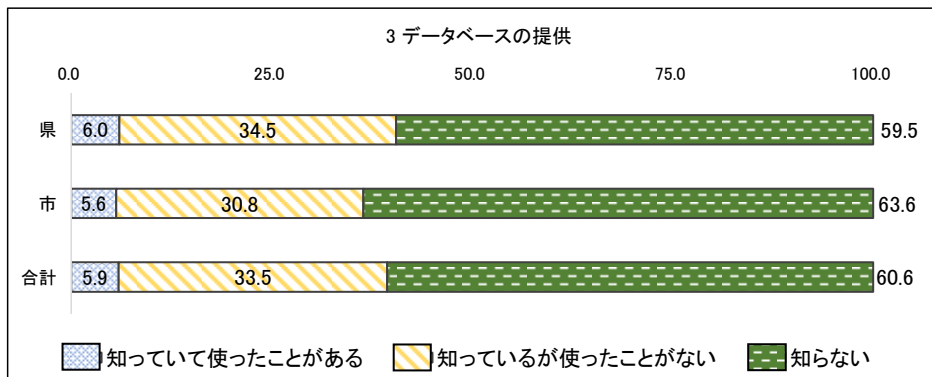
		が知 あ っ て い て 使 っ た こ と	と知 が っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている N=786		96	446	244
		12.2	56.7	31.0
2 持っていない N=910		24	377	509
		2.6	41.4	55.9
3 わからない N=19		0	5	14
		0.0	26.3	73.7

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、持っている回答者では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、持っていない回答者とわからない回答者では「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

③データベースの提供 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	74	6.0	27	5.6	101	5.9
知っているが使ったことがない	425	34.5	149	30.8	574	33.5
知らない	733	59.5	307	63.6	1,040	60.6



データベースの提供の認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が5.9%、「知っているが使ったことがない」が33.5%、「知らない」が60.6%となっている。

③データベースの提供（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 ～20代	N=276	19	102	155
		6.9	37.0	56.2
2 30代	N=366	20	110	236
		5.5	30.1	64.5
3 40代	N=492	27	160	305
		5.5	32.5	62.0
4 50代	N=494	33	182	279
		6.7	36.8	56.5
5 60代～	N=87	2	20	65
		2.3	23.0	74.7

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は～20 代が 6.9%で、「知っているが使ったことがない」は～20 代が 37.0%で、「知らない」は 60 代～が 74.7%で、それぞれ最も多くなっている。

③データベースの提供（県部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=142	11	59	72
		7.7	41.5	50.7
2 危機管理部	N=33	1	6	26
		3.0	18.2	78.8
3 健康政策部	N=148	5	51	92
		3.4	34.5	62.2
4 地域福祉部	N=86	2	31	53
		2.3	36.0	61.6
5 文化・生活スポーツ部	N=47	3	18	26
		6.4	38.3	55.3
6 産業振興推進部	N=15	2	9	4
		13.3	60.0	26.7
7 中山間振興・交通部	N=29	3	7	19
		10.3	24.1	65.5
8 商工労働部	N=67	7	29	31
		10.4	43.3	46.3
9 観光振興部	N=13	0	3	10
		0.0	23.1	76.9
10 農業振興部	N=187	8	60	119
		4.3	32.1	63.6
11 林業振興・環境部	N=122	6	23	93
		4.9	18.9	76.2
12 水産振興部	N=40	1	14	25
		2.5	35.0	62.5
13 土木部	N=116	8	40	68
		6.9	34.5	58.6
14 会計管理局	N=13	1	5	7
		7.7	38.5	53.8
15 議会事務局	N=29	2	9	18
		6.9	31.0	62.1
16 教育委員会事務局	N=112	12	53	47
		10.7	47.3	42.0
17 行政委員会	N=13	2	4	7
		15.4	30.8	53.8
18 その他	N=20	0	4	16
		0.0	20.0	80.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、産業振興推進部と教育委員会事務局では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、その他の16部局では「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は行政委員会が 15.4%で、「知っているが使ったことがない」は産業振興推進部が 60.0%で、「知らない」はその他が 80.0%で、それぞれ最も多くなっている。

③データベースの提供（市部局別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	2	16	18
		5.6	44.4	50.0
2 防災対策部	N=9	0	6	3
		0.0	66.7	33.3
3 財務部	N=31	4	9	18
		12.9	29.0	58.1
4 市民協働部	N=44	1	16	27
		2.3	36.4	61.4
5 健康福祉部	N=84	1	30	53
		1.2	35.7	63.1
6 こども未来部	N=49	2	15	32
		4.1	30.6	65.3
7 環境部	N=18	0	6	12
		0.0	33.3	66.7
8 商工観光部	N=15	2	4	9
		13.3	26.7	60.0
9 農林水産部	N=13	0	5	8
		0.0	38.5	61.5
10 都市建設部	N=52	5	12	35
		9.6	23.1	67.3
11 会計管理者(出納)	N=4	0	1	3
		0.0	25.0	75.0
12 上下水道局	N=27	0	4	23
		0.0	14.8	85.2
13 消防局	N=39	1	4	34
		2.6	10.3	87.2
14 教育委員会	N=41	8	16	17
		19.5	39.0	41.5
15 議会事務局	N=5	0	2	3
		0.0	40.0	60.0
16 行政委員会	N=12	0	1	11
		0.0	8.3	91.7
17 その他	N=4	1	2	1
		25.0	50.0	25.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、防災対策部とその他では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、その他の15部局では「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」はその他が 25.0%で、「知っているが使ったことがない」は防災対策部が 66.7%で、「知らない」は行政委員会が 91.7%で、それぞれ最も多くなっている。

③データベースの提供（共通利用カードの有無別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

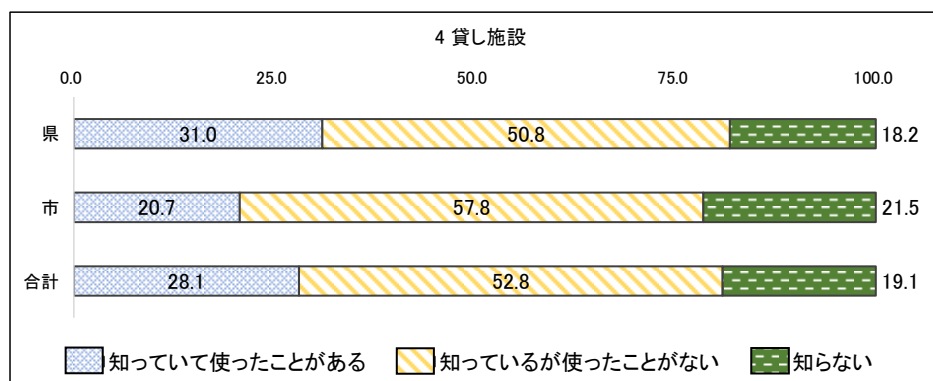
		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 ら な い の が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている N=786		79	318	389
		10.1	40.5	49.5
2 持っていない N=910		22	253	635
		2.4	27.8	69.8
3 わからない N=19		0	3	16
		0.0	15.8	84.2

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、すべての区分で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

④貸し施設 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	382	31.0	100	20.7	482	28.1
知っているが使ったことがない	626	50.8	279	57.8	905	52.8
知らない	224	18.2	104	21.5	328	19.1



貸し施設の認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が28.1%、「知っているが使ったことがない」が52.8%、「知らない」が19.1%となっている。

④貸し施設（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 ら な い に る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 ～20代	N=276	64	160	52
		23.2	58.0	18.8
2 30代	N=366	96	207	63
		26.2	56.6	17.2
3 40代	N=492	154	250	88
		31.3	50.8	17.9
4 50代	N=494	152	243	99
		30.8	49.2	20.0
5 60代～	N=87	16	45	26
		18.4	51.7	29.9

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「知っているが使ったことがない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は40代が 31.3%で、「知っているが使ったことがない」は～20代が 58.0%で、「知らない」は～60代が 29.9%で、それぞれ最も多くなっている。

④貸し施設（県部局別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		が知 あって いて 使っ たこ と	と知 がっ ない るが 使っ たこ と	知 ら ない
1 総務部	N=142	52 36.6	76 53.5	14 9.9
2 危機管理部	N=33	10 30.3	15 45.5	8 24.2
3 健康政策部	N=148	38 25.7	87 58.8	23 15.5
4 地域福祉部	N=86	18 20.9	49 57.0	19 22.1
5 文化生活スポーツ部	N=47	29 61.7	12 25.5	6 12.8
6 産業振興推進部	N=15	10 66.7	5 33.3	0 0.0
7 中山間振興・交通部	N=29	19 65.5	7 24.1	3 10.3
8 商工労働部	N=67	29 43.3	29 43.3	9 13.4
9 観光振興部	N=13	4 30.8	6 46.2	3 23.1
10 農業振興部	N=187	35 18.7	104 55.6	48 25.7
11 林業振興・環境部	N=122	9 7.4	74 60.7	39 32.0
12 水産振興部	N=40	8 20.0	23 57.5	9 22.5
13 土木部	N=116	53 45.7	40 34.5	23 19.8
14 会計管理局	N=13	2 15.4	7 53.8	4 30.8
15 議会事務局	N=29	8 27.6	18 62.1	3 10.3
16 教育委員会事務局	N=112	55 49.1	50 44.6	7 6.3
17 行政委員会	N=13	3 23.1	10 76.9	0 0.0
18 その他	N=20	0 0.0	14 70.0	6 30.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、産業振興推進部など6部局では、「知っていて使ったことがある」と回答した割合が、行政委員会など13部局では「知っているが使ったことがない」が、同率を含みそれぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は産業振興推進部が 66.7%で、「知っているが使ったことがない」は行政委員会が 76.9%で、「知らない」は林業振興・環境部が 32.0%で、それぞれ最も多くなっている。

④貸し施設（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	9 25.0	24 66.7	3 8.3
2 防災対策部	N=9	3 33.3	5 55.6	1 11.1
3 財務部	N=31	0 0.0	25 80.6	6 19.4
4 市民協働部	N=44	12 27.3	25 56.8	7 15.9
5 健康福祉部	N=84	17 20.2	53 63.1	14 16.7
6 こども未来部	N=49	15 30.6	30 61.2	4 8.2
7 環境部	N=18	2 11.1	10 55.6	6 33.3
8 商工観光部	N=15	8 53.3	6 40.0	1 6.7
9 農林水産部	N=13	3 23.1	7 53.8	3 23.1
10 都市建設部	N=52	12 23.1	24 46.2	16 30.8
11 会計管理者(出納)	N=4	0 0.0	3 75.0	1 25.0
12 上下水道局	N=27	0 0.0	15 55.6	12 44.4
13 消防局	N=39	2 5.1	19 48.7	18 46.2
14 教育委員会	N=41	15 36.6	19 46.3	7 17.1
15 議会事務局	N=5	0 0.0	3 60.0	2 40.0
16 行政委員会	N=12	1 8.3	9 75.0	2 16.7
17 その他	N=4	1 25.0	2 50.0	1 25.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、商工観光部では、「知っていて使ったことがある」と回答した割合が、その他の16部局では「知っているが使ったことがない」が、それぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は商工観光部が 53.3%で、「知っているが使ったことがない」は財務部が 80.6%で、「知らない」は消防局が 46.2%で、それぞれ最も多くなっている。

④貸し施設（共通利用カードの有無別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

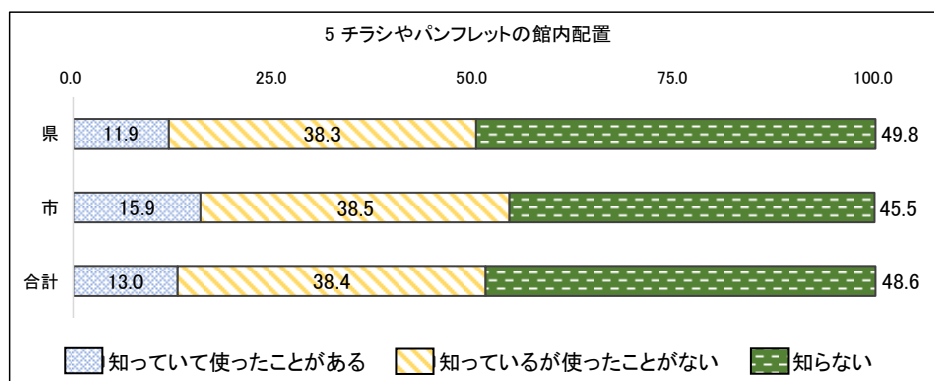
		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 な い て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている	N=786	232	463	91
		29.5	58.9	11.6
2 持っていない	N=910	248	436	226
		27.3	47.9	24.8
3 わからない	N=19	2	6	11
		10.5	31.6	57.9

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、持っている回答者と持っていない回答者では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、わからない回答者では、「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

⑤チラシやパンフレットの館内配置 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	146	11.9	77	15.9	223	13.0
知っているが使ったことがない	472	38.3	186	38.5	658	38.4
知らない	614	49.8	220	45.5	834	48.6



チラシやパンフレットの館内配置の認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が 13.0%、「知っているが使ったことがない」が 38.4%、「知らない」が 48.6% となっている。

⑤チラシやパンフレットの館内配置（年齢別）[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		知っている 使ったことが ある	知っている が使ったこと がない	知らない
1 ～20代	N=276	26	110	140
		9.4	39.9	50.7
2 30代	N=366	47	159	160
		12.8	43.4	43.7
3 40代	N=492	68	189	235
		13.8	38.4	47.8
4 50代	N=494	71	174	249
		14.4	35.2	50.4
5 60代～	N=87	11	26	50
		12.6	29.9	57.5

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っている使ったことがある」は50代が 14.4%で、「知っているが使ったことがない」は30代が 43.4%で、「知らない」は60代～が 57.5%で、それぞれ最も多くなっている。

⑤チラシやパンフレットの館内配置（県部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=142	15 10.6	66 46.5	61 43.0
2 危機管理部	N=33	4 12.1	10 30.3	19 57.6
3 健康政策部	N=148	12 8.1	65 43.9	71 48.0
4 地域福祉部	N=86	15 17.4	34 39.5	37 43.0
5 文化生活スポーツ部	N=47	7 14.9	18 38.3	22 46.8
6 産業振興推進部	N=15	10 66.7	5 33.3	0 0.0
7 中山間振興・交通部	N=29	9 31.0	11 37.9	9 31.0
8 商工労働部	N=67	15 22.4	20 29.9	32 47.8
9 観光振興部	N=13	0 0.0	6 46.2	7 53.8
10 農業振興部	N=187	8 4.3	65 34.8	114 61.0
11 林業振興・環境部	N=122	8 6.6	36 29.5	78 63.9
12 水産振興部	N=40	5 12.5	15 37.5	20 50.0
13 土木部	N=116	9 7.8	48 41.4	59 50.9
14 会計管理局	N=13	0 0.0	4 30.8	9 69.2
15 議会事務局	N=29	4 13.8	11 37.9	14 48.3
16 教育委員会事務局	N=112	21 18.8	43 38.4	48 42.9
17 行政委員会	N=13	4 30.8	6 46.2	3 23.1
18 その他	N=20	0 0.0	9 45.0	11 55.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、産業振興推進部では、「知っていて使ったことがある」と回答した割合が、総務部など3部局では、「知っているが使ったことがない」が、その他の14部局では「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は産業振興推進部が 66.7%で、「知っているが使ったことがない」は総務部が 46.5%で、「知らない」は会計管理局が 69.2%で、それぞれ最も多くなっている。

⑤チラシやパンフレットの館内配置（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	10 27.8	14 38.9	12 33.3
2 防災対策部	N=9	4 44.4	4 44.4	1 11.1
3 財務部	N=31	1 3.2	16 51.6	14 45.2
4 市民協働部	N=44	12 27.3	21 47.7	11 25.0
5 健康福祉部	N=84	14 16.7	31 36.9	39 46.4
6 こども未来部	N=49	4 8.2	21 42.9	24 49.0
7 環境部	N=18	2 11.1	8 44.4	8 44.4
8 商工観光部	N=15	7 46.7	4 26.7	4 26.7
9 農林水産部	N=13	1 7.7	8 61.5	4 30.8
10 都市建設部	N=52	6 11.5	16 30.8	30 57.7
11 会計管理者(出納)	N=4	0 0.0	2 50.0	2 50.0
12 上下水道局	N=27	1 3.7	10 37.0	16 59.3
13 消防局	N=39	2 5.1	7 17.9	30 76.9
14 教育委員会	N=41	10 24.4	21 51.2	10 24.4
15 議会事務局	N=5	0 0.0	1 20.0	4 80.0
16 行政委員会	N=12	1 8.3	2 16.7	9 75.0
17 その他	N=4	2 50.0	0 0.0	2 50.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、商工観光部など3部局では、「知っていて使ったことがある」と回答した割合が、農林水産部など8部局では、「知っているが使ったことがない」が、議会事務局など10部局では「知らない」が、同率を含みそれぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」はその他が 50.0%で、「知っているが使ったことがない」は農林水産部が 61.5%で、「知らない」は議会事務局が 80.0%で、それぞれ最も多くなっている。

⑤チラシやパンフレットの館内配置（共通利用カードの有無別）

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

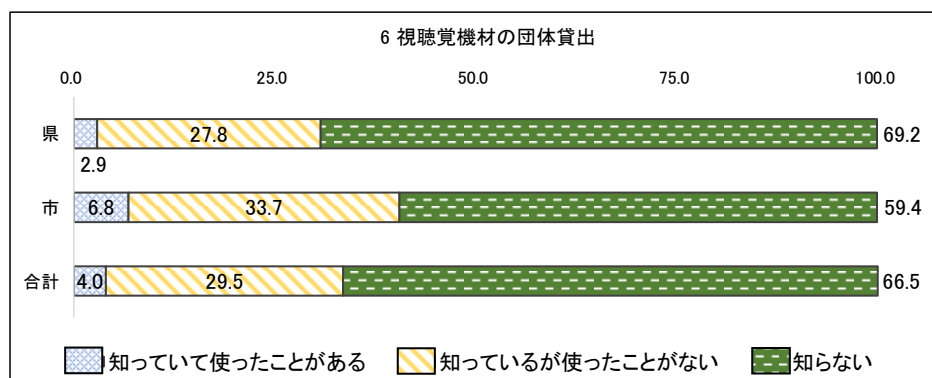
		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている N=786		127	368	291
		16.2	46.8	37.0
2 持っていない N=910		95	287	528
		10.4	31.5	58.0
3 わからない N=19		1	3	15
		5.3	15.8	78.9

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、持っている回答者では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、持っていない回答者とわからない回答者では、「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

⑥視聴覚機材の団体貸出 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	36	2.9	33	6.8	69	4.0
知っているが使ったことがない	343	27.8	163	33.7	506	29.5
知らない	853	69.2	287	59.4	1,140	66.5



視聴覚機材の団体貸出の認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が4.0%、「知っているが使ったことがない」が29.5%、「知らない」が66.5%となっている。

⑥視聴覚機材の団体貸出（年齢別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 ～20代	N=276	11	79	186
		4.0	28.6	67.4
2 30代	N=366	12	102	252
		3.3	27.9	68.9
3 40代	N=492	26	138	328
		5.3	28.0	66.7
4 50代	N=494	18	161	315
		3.6	32.6	63.8
5 60代～	N=87	2	26	59
		2.3	29.9	67.8

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は40代が 5.3%で、「知っているが使ったことがない」は50代が 32.6%で、「知らない」は30代が 68.9%で、それぞれ最も多くなっている。

⑥視聴覚機材の団体貸出（県部局別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=142	4	42	96
		2.8	29.6	67.6
2 危機管理部	N=33	0	8	25
		0.0	24.2	75.8
3 健康政策部	N=148	2	41	105
		1.4	27.7	70.9
4 地域福祉部	N=86	0	29	57
		0.0	33.7	66.3
5 文化生活スポーツ部	N=47	6	14	27
		12.8	29.8	57.4
6 産業振興推進部	N=15	3	4	8
		20.0	26.7	53.3
7 中山間振興・交通部	N=29	0	5	24
		0.0	17.2	82.8
8 商工労働部	N=67	4	16	47
		6.0	23.9	70.1
9 観光振興部	N=13	0	5	8
		0.0	38.5	61.5
10 農業振興部	N=187	2	46	139
		1.1	24.6	74.3
11 林業振興・環境部	N=122	0	27	95
		0.0	22.1	77.9
12 水産振興部	N=40	0	10	30
		0.0	25.0	75.0
13 土木部	N=116	7	26	83
		6.0	22.4	71.6
14 会計管理局	N=13	0	5	8
		0.0	38.5	61.5
15 議会事務局	N=29	1	6	22
		3.4	20.7	75.9
16 教育委員会事務局	N=112	7	48	57
		6.3	42.9	50.9
17 行政委員会	N=13	0	6	7
		0.0	46.2	53.8
18 その他	N=20	0	5	15
		0.0	25.0	75.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、すべての部局で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は産業振興推進部が 20.0%で、「知っているが使ったことがない」は行政委員会が 46.2%で、「知らない」は中山間振興・交通部が 82.8%で、それぞれ最も多くなっている。

⑥視聴覚機材の団体貸出（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	3	10	23
		8.3	27.8	63.9
2 防災対策部	N=9	0	4	5
		0.0	44.4	55.6
3 財務部	N=31	2	6	23
		6.5	19.4	74.2
4 市民協働部	N=44	2	25	17
		4.5	56.8	38.6
5 健康福祉部	N=84	8	24	52
		9.5	28.6	61.9
6 こども未来部	N=49	4	22	23
		8.2	44.9	46.9
7 環境部	N=18	2	6	10
		11.1	33.3	55.6
8 商工観光部	N=15	2	4	9
		13.3	26.7	60.0
9 農林水産部	N=13	1	10	2
		7.7	76.9	15.4
10 都市建設部	N=52	4	10	38
		7.7	19.2	73.1
11 会計管理者(出納)	N=4	0	1	3
		0.0	25.0	75.0
12 上下水道局	N=27	1	6	20
		3.7	22.2	74.1
13 消防局	N=39	0	6	33
		0.0	15.4	84.6
14 教育委員会	N=41	4	22	15
		9.8	53.7	36.6
15 議会事務局	N=5	0	1	4
		0.0	20.0	80.0
16 行政委員会	N=12	0	4	8
		0.0	33.3	66.7
17 その他	N=4	0	2	2
		0.0	50.0	50.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、農林水産部など4部局では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、消防局など14部局では「知らない」が、同率を含みそれぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は商工観光部が 13.3%で、「知っているが使ったことがない」は農林水産部が 76.9%で、「知らない」は消防局が 84.6%で、それぞれ最も多くなっている。

⑥視聴覚機材の団体貸出（共通利用カードの有無別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

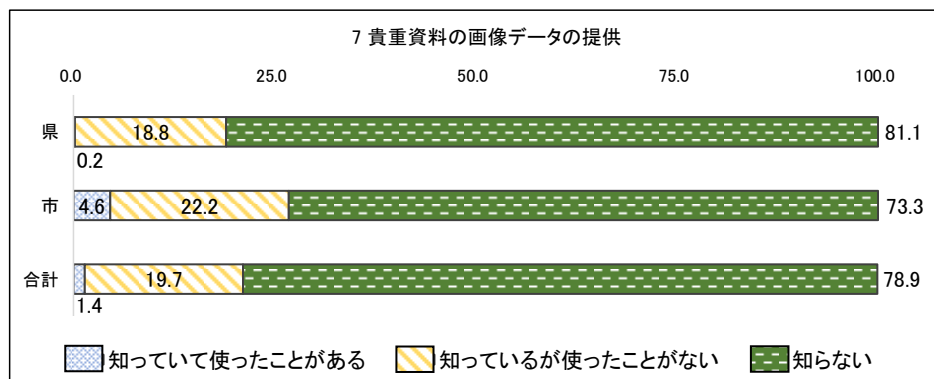
		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている N=786		41	285	460
		5.2	36.3	58.5
2 持っていない N=910		28	216	666
		3.1	23.7	73.2
3 わからない N=19		0	5	14
		0.0	26.3	73.7

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、すべての区分で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

⑦貴重資料の画像データの提供 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	2	0.2	22	4.6	24	1.4
知っているが使ったことがない	231	18.8	107	22.2	338	19.7
知らない	999	81.1	354	73.3	1,353	78.9



貴重資料の画像データの提供の認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が 1.4%、「知っているが使ったことがない」が 19.7%、「知らない」が 78.9%となっている。

⑦貴重資料の画像データの提供（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 ～20代	N=276	3	49	224
		1.1	17.8	81.2
2 30代	N=366	11	66	289
		3.0	18.0	79.0
3 40代	N=492	9	93	390
		1.8	18.9	79.3
4 50代	N=494	1	114	379
		0.2	23.1	76.7
5 60代～	N=87	0	16	71
		0.0	18.4	81.6

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は30代が 3.0%で、「知っているが使ったことがない」は50代が 23.1%で、「知らない」は60代～が 81.6%で、それぞれ最も多くなっている。

⑦貴重資料の画像データの提供（県部局別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		知っている 使ったことが ある	知っている が使ったこと がない	知らない
1 総務部	N=142	0	27	115
		0.0	19.0	81.0
2 危機管理部	N=33	0	7	26
		0.0	21.2	78.8
3 健康政策部	N=148	0	23	125
		0.0	15.5	84.5
4 地域福祉部	N=86	0	21	65
		0.0	24.4	75.6
5 文化・生活・スポーツ部	N=47	0	11	36
		0.0	23.4	76.6
6 産業振興推進部	N=15	1	4	10
		6.7	26.7	66.7
7 中山間振興・交通部	N=29	0	3	26
		0.0	10.3	89.7
8 商工労働部	N=67	0	14	53
		0.0	20.9	79.1
9 観光振興部	N=13	0	5	8
		0.0	38.5	61.5
10 農業振興部	N=187	0	22	165
		0.0	11.8	88.2
11 林業振興・環境部	N=122	0	15	107
		0.0	12.3	87.7
12 水産振興部	N=40	0	7	33
		0.0	17.5	82.5
13 土木部	N=116	0	19	97
		0.0	16.4	83.6
14 会計管理局	N=13	0	2	11
		0.0	15.4	84.6
15 議会事務局	N=29	0	6	23
		0.0	20.7	79.3
16 教育委員会事務局	N=112	1	39	72
		0.9	34.8	64.3
17 行政委員会	N=13	0	4	9
		0.0	30.8	69.2
18 その他	N=20	0	2	18
		0.0	10.0	90.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、すべての部局で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は産業振興推進部が 6.7%で、「知っているが使ったことがない」は観光振興部が 38.5%で、「知らない」はその他が 90.0%で、それぞれ最も多くなっている。

⑦貴重資料の画像データの提供（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	4	8	24
		11.1	22.2	66.7
2 防災対策部	N=9	1	4	4
		11.1	44.4	44.4
3 財務部	N=31	2	7	22
		6.5	22.6	71.0
4 市民協働部	N=44	1	10	33
		2.3	22.7	75.0
5 健康福祉部	N=84	3	13	68
		3.6	15.5	81.0
6 こども未来部	N=49	0	8	41
		0.0	16.3	83.7
7 環境部	N=18	2	5	11
		11.1	27.8	61.1
8 商工観光部	N=15	1	6	8
		6.7	40.0	53.3
9 農林水産部	N=13	1	3	9
		7.7	23.1	69.2
10 都市建設部	N=52	1	10	41
		1.9	19.2	78.8
11 会計管理者(出納)	N=4	0	2	2
		0.0	50.0	50.0
12 上下水道局	N=27	1	6	20
		3.7	22.2	74.1
13 消防局	N=39	0	3	36
		0.0	7.7	92.3
14 教育委員会	N=41	5	18	18
		12.2	43.9	43.9
15 議会事務局	N=5	0	1	4
		0.0	20.0	80.0
16 行政委員会	N=12	0	1	11
		0.0	8.3	91.7
17 その他	N=4	0	2	2
		0.0	50.0	50.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、会計管理者(出納)など4部局では「知っているが使ったことがない」と「知らない」と回答した割合が、消防局など17部局では「知らない」が、同率を含みそれぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は教育委員会が 12.2%で、「知っているが使ったことがない」は会計管理者(出納)とその他が 50.0%で、「知らない」は消防局が 92.3%で、それぞれ最も多くなっている。

⑦貴重資料の画像データの提供（共通利用カードの有無別）

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

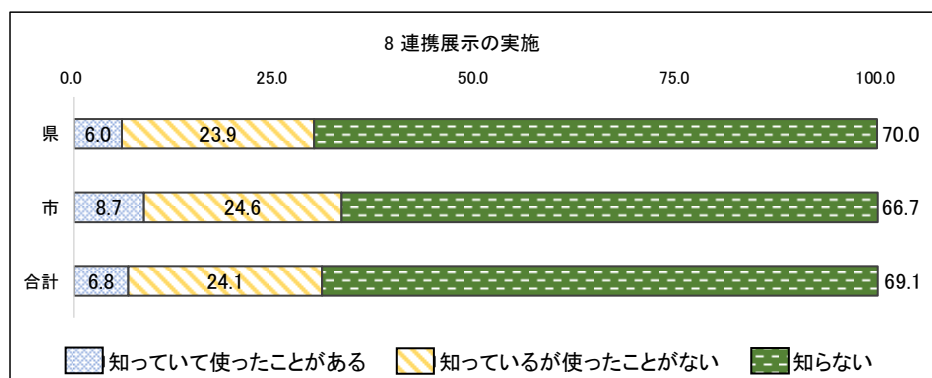
		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている N=786		16	194	576
		2.0	24.7	73.3
2 持っていない N=910		8	142	760
		0.9	15.6	83.5
3 わからない N=19		0	2	17
		0.0	10.5	89.5

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、すべての区分で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

⑧連携展示の実施 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	74	6.0	42	8.7	116	6.8
知っているが使ったことがない	295	23.9	119	24.6	414	24.1
知らない	863	70.0	322	66.7	1,185	69.1



連携展示の実施の認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が6.8%、「知っているが使ったことがない」が24.1%、「知らない」が69.1%となっている。

⑧連携展示の実施（年齢別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 ～20代	N=276	17	65	194
		6.2	23.6	70.3
2 30代	N=366	28	81	257
		7.7	22.1	70.2
3 40代	N=492	35	112	345
		7.1	22.8	70.1
4 50代	N=494	32	135	327
		6.5	27.3	66.2
5 60代～	N=87	4	21	62
		4.6	24.1	71.3

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は30代が 7.7%で、「知っているが使ったことがない」は50代が 27.3%で、「知らない」は60代～が 71.3%で、それぞれ最も多くなっている。

⑧連携展示の実施（県部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		る 知 っ て い て 使 っ た こ と が あ	な 知 い っ て い る が 使 っ た こ と が	知 ら な い
1 総務部	N=142	3	40	99
		2.1	28.2	69.7
2 危機管理部	N=33	2	5	26
		6.1	15.2	78.8
3 健康政策部	N=148	4	43	101
		2.7	29.1	68.2
4 地域福祉部	N=86	8	23	55
		9.3	26.7	64.0
5 文化生活スポーツ部	N=47	7	10	30
		14.9	21.3	63.8
6 産業振興推進部	N=15	4	8	3
		26.7	53.3	20.0
7 中山間振興・交通部	N=29	0	4	25
		0.0	13.8	86.2
8 商工労働部	N=67	9	15	43
		13.4	22.4	64.2
9 観光振興部	N=13	2	4	7
		15.4	30.8	53.8
10 農業振興部	N=187	6	34	147
		3.2	18.2	78.6
11 林業振興・環境部	N=122	5	21	96
		4.1	17.2	78.7
12 水産振興部	N=40	1	8	31
		2.5	20.0	77.5
13 土木部	N=116	7	25	84
		6.0	21.6	72.4
14 会計管理局	N=13	0	0	13
		0.0	0.0	100.0
15 議会事務局	N=29	3	7	19
		10.3	24.1	65.5
16 教育委員会事務局	N=112	9	39	64
		8.0	34.8	57.1
17 行政委員会	N=13	4	4	5
		30.8	30.8	38.5
18 その他	N=20	0	5	15
		0.0	25.0	75.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、産業振興推進部では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、その他の17部局では「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は行政委員会が 30.8%で、「知っているが使ったことがない」は産業振興推進部が 53.3%で、「知らない」は会計管理局が 100.0%で、それぞれ最も多くなっている。

⑧連携展示の実施（市部局別）[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	5	10	21
		13.9	27.8	58.3
2 防災対策部	N=9	3	4	2
		33.3	44.4	22.2
3 財務部	N=31	1	10	20
		3.2	32.3	64.5
4 市民協働部	N=44	9	14	21
		20.5	31.8	47.7
5 健康福祉部	N=84	8	19	57
		9.5	22.6	67.9
6 こども未来部	N=49	0	13	36
		0.0	26.5	73.5
7 環境部	N=18	2	5	11
		11.1	27.8	61.1
8 商工観光部	N=15	0	7	8
		0.0	46.7	53.3
9 農林水産部	N=13	0	5	8
		0.0	38.5	61.5
10 都市建設部	N=52	3	7	42
		5.8	13.5	80.8
11 会計管理者(出納)	N=4	0	1	3
		0.0	25.0	75.0
12 上下水道局	N=27	1	8	18
		3.7	29.6	66.7
13 消防局	N=39	1	1	37
		2.6	2.6	94.9
14 教育委員会	N=41	7	14	20
		17.1	34.1	48.8
15 議会事務局	N=5	1	0	4
		20.0	0.0	80.0
16 行政委員会	N=12	0	1	11
		0.0	8.3	91.7
17 その他	N=4	1	0	3
		25.0	0.0	75.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、防災対策部では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、その他の16部局では「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は防災対策部が 33.3%で、「知っているが使ったことがない」は商工観光部が 46.7%で、「知らない」は消防局が 94.9%で、それぞれ最も多くなっている。

⑧連携展示の実施（共通利用カードの有無別）[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

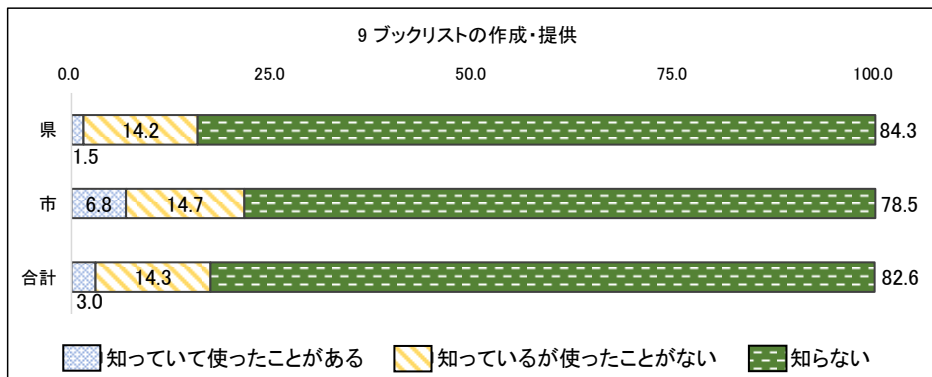
		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている	N=786	72	239	475
		9.2	30.4	60.4
2 持っていない	N=910	43	172	695
		4.7	18.9	76.4
3 わからない	N=19	1	3	15
		5.3	15.8	78.9

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、すべての区分で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

⑨ブックリストの作成・提供 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	19	1.5	33	6.8	52	3.0
知っているが使ったことがない	175	14.2	71	14.7	246	14.3
知らない	1,038	84.3	379	78.5	1,417	82.6



ブックリストの作成・提供の認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が 3.0%、「知っているが使ったことがない」が 14.3%、「知らない」が 82.6%となっている。

⑨ブックリストの作成・提供（年齢別）[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 ～20代	N=276	7	40	229
		2.5	14.5	83.0
2 30代	N=366	11	43	312
		3.0	11.7	85.2
3 40代	N=492	18	69	405
		3.7	14.0	82.3
4 50代	N=494	14	81	399
		2.8	16.4	80.8
5 60代～	N=87	2	13	72
		2.3	14.9	82.8

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は40代が 3.7%で、「知っているが使ったことがない」は50代が 16.4%で、「知らない」は30代が 85.2%で、それぞれ最も多くなっている。

⑨ブックリストの作成・提供（県部局別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		あ 知 る 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 な い 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=142	0	25	117
		0.0	17.6	82.4
2 危機管理部	N=33	0	3	30
		0.0	9.1	90.9
3 健康政策部	N=148	3	24	121
		2.0	16.2	81.8
4 地域福祉部	N=86	4	14	68
		4.7	16.3	79.1
5 文化・生活スポーツ部	N=47	0	8	39
		0.0	17.0	83.0
6 産業振興推進部	N=15	0	7	8
		0.0	46.7	53.3
7 中山間振興・交通部	N=29	1	2	26
		3.4	6.9	89.7
8 商工労働部	N=67	2	10	55
		3.0	14.9	82.1
9 観光振興部	N=13	0	3	10
		0.0	23.1	76.9
10 農業振興部	N=187	0	13	174
		0.0	7.0	93.0
11 林業振興・環境部	N=122	0	12	110
		0.0	9.8	90.2
12 水産振興部	N=40	0	4	36
		0.0	10.0	90.0
13 土木部	N=116	0	10	106
		0.0	8.6	91.4
14 会計管理局	N=13	0	1	12
		0.0	7.7	92.3
15 議会事務局	N=29	0	3	26
		0.0	10.3	89.7
16 教育委員会事務局	N=112	5	32	75
		4.5	28.6	67.0
17 行政委員会	N=13	4	2	7
		30.8	15.4	53.8
18 その他	N=20	0	2	18
		0.0	10.0	90.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、すべての部局で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は行政委員会が 30.8%で、「知っているが使ったことがない」は産業振興推進部が 46.7%で、「知らない」は農業振興部が 93.0%で、それぞれ最も多くなっている。

⑨ブックリストの作成・提供（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	3	7	26
		8.3	19.4	72.2
2 防災対策部	N=9	2	2	5
		22.2	22.2	55.6
3 財務部	N=31	1	6	24
		3.2	19.4	77.4
4 市民協働部	N=44	6	10	28
		13.6	22.7	63.6
5 健康福祉部	N=84	10	8	66
		11.9	9.5	78.6
6 こども未来部	N=49	1	10	38
		2.0	20.4	77.6
7 環境部	N=18	1	2	15
		5.6	11.1	83.3
8 商工観光部	N=15	2	3	10
		13.3	20.0	66.7
9 農林水産部	N=13	0	3	10
		0.0	23.1	76.9
10 都市建設部	N=52	2	6	44
		3.8	11.5	84.6
11 会計管理者(出納)	N=4	0	0	4
		0.0	0.0	100.0
12 上下水道局	N=27	0	2	25
		0.0	7.4	92.6
13 消防局	N=39	0	0	39
		0.0	0.0	100.0
14 教育委員会	N=41	4	12	25
		9.8	29.3	61.0
15 議会事務局	N=5	1	0	4
		20.0	0.0	80.0
16 行政委員会	N=12	0	0	12
		0.0	0.0	100.0
17 その他	N=4	0	0	4
		0.0	0.0	100.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、すべての部局で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は防災対策部が 22.2%で、「知っているが使ったことがない」は教育委員会が 29.3%で、「知らない」は会計管理者(出納)など4部局が 100.0%で、それぞれ最も多くなっている。

⑨ブックリストの作成・提供（共通利用カードの有無別）

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

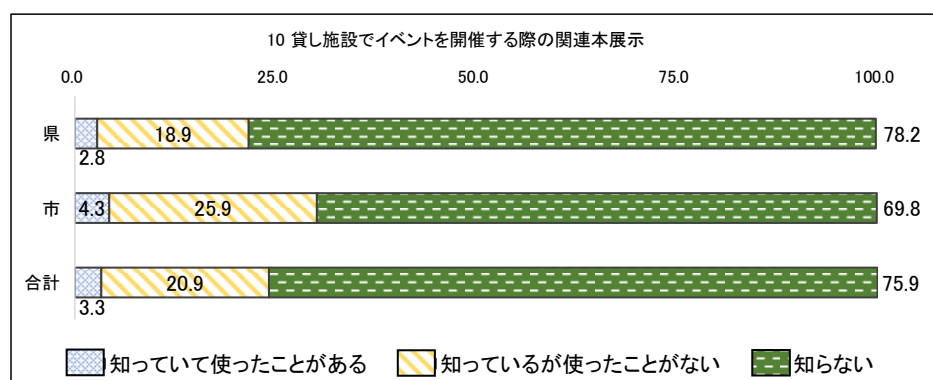
		あ 知 つ て い て 使 っ た こ と が	が 知 つ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている	N=786	38	147	601
		4.8	18.7	76.5
2 持っていない	N=910	14	97	799
		1.5	10.7	87.8
3 わからない	N=19	0	2	17
		0.0	10.5	89.5

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、すべての区分で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

⑩貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	35	2.8	21	4.3	56	3.3
知っているが使ったことがない	233	18.9	125	25.9	358	20.9
知らない	964	78.2	337	69.8	1,301	75.9



貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示の認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が3.3%、「知っているが使ったことがない」が20.9%、「知らない」が75.9%となっている。

⑩貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示（年齢別）

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 ～20代	N=276	8	61	207
		2.9	22.1	75.0
2 30代	N=366	10	64	292
		2.7	17.5	79.8
3 40代	N=492	17	108	367
		3.5	22.0	74.6
4 50代	N=494	19	106	369
		3.8	21.5	74.7
5 60代～	N=87	2	19	66
		2.3	21.8	75.9

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は50代が3.8%で、「知っているが使ったことがない」は～20代が22.1%で、「知らない」は30代が79.8%で、それぞれ最も多くなっている。

⑩貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示（県部局別）

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=142	3	26	113
		2.1	18.3	79.6
2 危機管理部	N=33	0	5	28
		0.0	15.2	84.8
3 健康政策部	N=148	3	27	118
		2.0	18.2	79.7
4 地域福祉部	N=86	6	21	59
		7.0	24.4	68.6
5 文化生活スポーツ部	N=47	1	11	35
		2.1	23.4	74.5
6 産業振興推進部	N=15	4	6	5
		26.7	40.0	33.3
7 中山間振興・交通部	N=29	0	2	27
		0.0	6.9	93.1
8 商工労働部	N=67	3	14	50
		4.5	20.9	74.6
9 観光振興部	N=13	0	3	10
		0.0	23.1	76.9
10 農業振興部	N=187	2	27	158
		1.1	14.4	84.5
11 林業振興・環境部	N=122	0	18	104
		0.0	14.8	85.2
12 水産振興部	N=40	0	8	32
		0.0	20.0	80.0
13 土木部	N=116	2	17	97
		1.7	14.7	83.6
14 会計管理局	N=13	1	1	11
		7.7	7.7	84.6
15 議会事務局	N=29	1	6	22
		3.4	20.7	75.9
16 教育委員会事務局	N=112	7	35	70
		6.3	31.3	62.5
17 行政委員会	N=13	2	2	9
		15.4	15.4	69.2
18 その他	N=20	0	4	16
		0.0	20.0	80.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、産業振興推進部では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、その他の17部局では「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は産業振興推進部が 26.7%で、「知っているが使ったことがない」は産業振興推進部が 40.0%で、「知らない」は中山間振興・交通部が 93.1%で、それぞれ最も多くなっている。

⑩貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示（市部局別）

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	2 5.6	14 38.9	20 55.6
2 防災対策部	N=9	1 11.1	3 33.3	5 55.6
3 財務部	N=31	0 0.0	11 35.5	20 64.5
4 市民協働部	N=44	4 9.1	14 31.8	26 59.1
5 健康福祉部	N=84	6 7.1	22 26.2	56 66.7
6 こども未来部	N=49	2 4.1	13 26.5	34 69.4
7 環境部	N=18	0 0.0	4 22.2	14 77.8
8 商工観光部	N=15	0 0.0	1 6.7	14 93.3
9 農林水産部	N=13	0 0.0	2 15.4	11 84.6
10 都市建設部	N=52	1 1.9	8 15.4	43 82.7
11 会計管理者(出納)	N=4	0 0.0	0 0.0	4 100.0
12 上下水道局	N=27	1 3.7	6 22.2	20 74.1
13 消防局	N=39	0 0.0	9 23.1	30 76.9
14 教育委員会	N=41	4 9.8	16 39.0	21 51.2
15 議会事務局	N=5	0 0.0	1 20.0	4 80.0
16 行政委員会	N=12	0 0.0	0 0.0	12 100.0
17 その他	N=4	0 0.0	1 25.0	3 75.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、すべての部局で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は防災対策部が 11.1%で、「知っているが使ったことがない」は教育委員会が 39.0%で、「知らない」は会計管理者(出納)と行政委員会が 100.0%で、それぞれ最も多くなっている。

⑩貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示（共通利用カードの有無別）

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

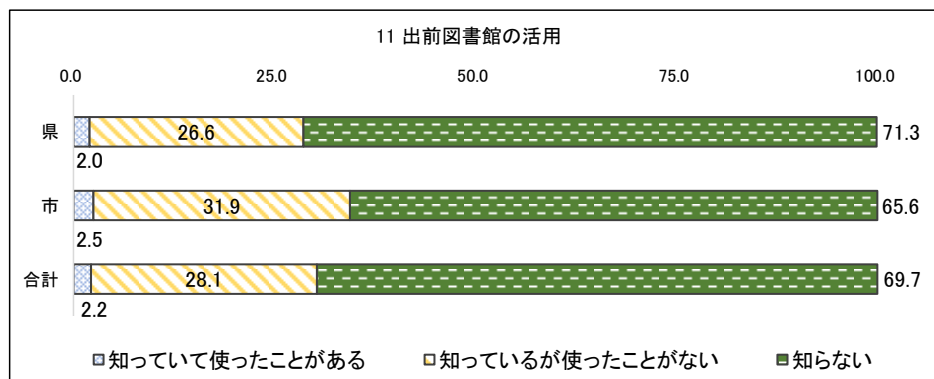
		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている N=786		34	198	554
		4.3	25.2	70.5
2 持っていない N=910		22	158	730
		2.4	17.4	80.2
3 わからない N=19		0	2	17
		0.0	10.5	89.5

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、すべての区分で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

⑪出前図書館の活用 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	25	2.0	12	2.5	37	2.2
知っているが使ったことがない	328	26.6	154	31.9	482	28.1
知らない	879	71.3	317	65.6	1,196	69.7



出前図書館の活用の認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が2.2%、「知っているが使ったことがない」が28.1%、「知らない」が69.7%となっている。

⑪出前図書館の活用（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 ～20代	N=276	2	76	198
		0.7	27.5	71.7
2 30代	N=366	7	98	261
		1.9	26.8	71.3
3 40代	N=492	14	144	334
		2.8	29.3	67.9
4 50代	N=494	14	144	336
		2.8	29.1	68.0
5 60代～	N=87	0	20	67
		0.0	23.0	77.0

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は40代と50代が2.8%で、「知っているが使ったことがない」は40代が29.3%で、「知らない」は60代～が77.0%で、それぞれ最も多くなっている。

⑪出前図書館の活用（県部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=142	2	42	98
		1.4	29.6	69.0
2 危機管理部	N=33	0	6	27
		0.0	18.2	81.8
3 健康政策部	N=148	2	41	105
		1.4	27.7	70.9
4 地域福祉部	N=86	3	31	52
		3.5	36.0	60.5
5 文化生活スポーツ部	N=47	0	15	32
		0.0	31.9	68.1
6 産業振興推進部	N=15	3	8	4
		20.0	53.3	26.7
7 中山間振興・交通部	N=29	0	3	26
		0.0	10.3	89.7
8 商工労働部	N=67	1	14	52
		1.5	20.9	77.6
9 観光振興部	N=13	0	6	7
		0.0	46.2	53.8
10 農業振興部	N=187	4	37	146
		2.1	19.8	78.1
11 林業振興・環境部	N=122	1	20	101
		0.8	16.4	82.8
12 水産振興部	N=40	0	10	30
		0.0	25.0	75.0
13 土木部	N=116	1	26	89
		0.9	22.4	76.7
14 会計管理局	N=13	0	3	10
		0.0	23.1	76.9
15 議会事務局	N=29	0	7	22
		0.0	24.1	75.9
16 教育委員会事務局	N=112	8	46	58
		7.1	41.1	51.8
17 行政委員会	N=13	0	8	5
		0.0	61.5	38.5
18 その他	N=20	0	5	15
		0.0	25.0	75.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、産業振興推進部と行政委員会では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、その他の16部局では「知らない」が、それぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は産業振興推進部が 20.0%で、「知っているが使ったことがない」は行政委員会が 61.5%で、「知らない」は中山間振興・交通部が 89.7%で、それぞれ最も多くなっている。

⑪出前図書館の活用（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	1	10	25
		2.8	27.8	69.4
2 防災対策部	N=9	1	4	4
		11.1	44.4	44.4
3 財務部	N=31	0	10	21
		0.0	32.3	67.7
4 市民協働部	N=44	1	14	29
		2.3	31.8	65.9
5 健康福祉部	N=84	5	26	53
		6.0	31.0	63.1
6 こども未来部	N=49	1	20	28
		2.0	40.8	57.1
7 環境部	N=18	0	3	15
		0.0	16.7	83.3
8 商工観光部	N=15	0	5	10
		0.0	33.3	66.7
9 農林水産部	N=13	0	7	6
		0.0	53.8	46.2
10 都市建設部	N=52	0	14	38
		0.0	26.9	73.1
11 会計管理者(出納)	N=4	0	0	4
		0.0	0.0	100.0
12 上下水道局	N=27	1	8	18
		3.7	29.6	66.7
13 消防局	N=39	0	10	29
		0.0	25.6	74.4
14 教育委員会	N=41	2	20	19
		4.9	48.8	46.3
15 議会事務局	N=5	0	0	5
		0.0	0.0	100.0
16 行政委員会	N=12	0	0	12
		0.0	0.0	100.0
17 その他	N=4	0	3	1
		0.0	75.0	25.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、農林水産部など4部局では、「知っているが使ったことがない」と回答した割合が、その他の14部局では「知らない」が、同率を含みそれぞれ最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は防災対策部が 11.1%で、「知っているが使ったことがない」はその他が 75.0%で、「知らない」は会計管理者(出納)など3部局が 100.0%で、それぞれ最も多くなっている。

⑪出前図書館の活用（共通利用カードの有無別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

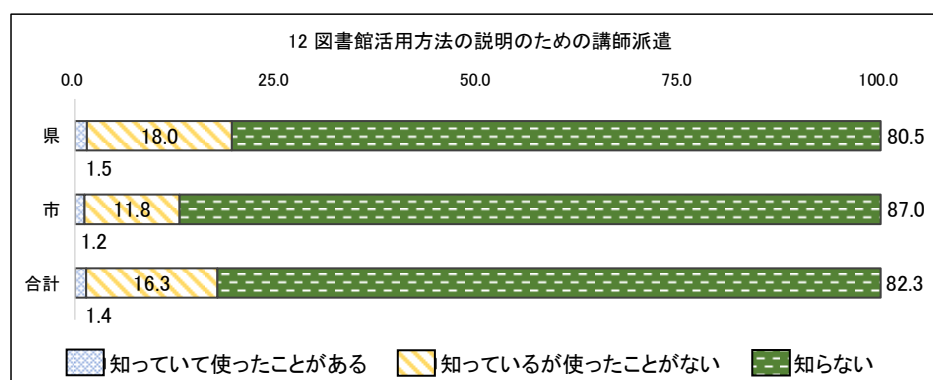
		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている	N=786	26	271	489
		3.3	34.5	62.2
2 持っていない	N=910	11	209	690
		1.2	23.0	75.8
3 わからない	N=19	0	2	17
		0.0	10.5	89.5

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、すべての区分で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

⑫図書館活用の説明のための派遣講師 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
知っていて使ったことがある	18	1.5	6	1.2	24	1.4
知っているが使ったことがない	222	18.0	57	11.8	279	16.3
知らない	992	80.5	420	87.0	1,412	82.3



図書館活用方法の説明のための派遣講師の認知度、利用の有無を尋ねたところ、「知っていて使ったことがある」が 1.4%、「知っているが使ったことがない」が 16.3%、「知らない」が 82.3%となっている。

⑫図書館活用の説明のための派遣講師（年齢別）[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 ～20代	N=276	0	54	222
		0.0	19.6	80.4
2 30代	N=366	3	58	305
		0.8	15.8	83.3
3 40代	N=492	7	72	413
		1.4	14.6	83.9
4 50代	N=494	14	85	395
		2.8	17.2	80.0
5 60代～	N=87	0	10	77
		0.0	11.5	88.5

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は50代が 2.8%で、「知っているが使ったことがない」は～20代が 19.6%で、「知らない」は60代～が 88.5%で、それぞれ最も多くなっている。

⑫図書館活用の説明のための派遣講師（県部局別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=142	0	32	110
		0.0	22.5	77.5
2 危機管理部	N=33	0	5	28
		0.0	15.2	84.8
3 健康政策部	N=148	1	24	123
		0.7	16.2	83.1
4 地域福祉部	N=86	1	14	71
		1.2	16.3	82.6
5 文化生活スポーツ部	N=47	0	9	38
		0.0	19.1	80.9
6 産業振興推進部	N=15	3	3	9
		20.0	20.0	60.0
7 中山間振興・交通部	N=29	0	4	25
		0.0	13.8	86.2
8 商工労働部	N=67	1	16	50
		1.5	23.9	74.6
9 観光振興部	N=13	0	5	8
		0.0	38.5	61.5
10 農業振興部	N=187	1	23	163
		0.5	12.3	87.2
11 林業振興・環境部	N=122	0	16	106
		0.0	13.1	86.9
12 水産振興部	N=40	0	6	34
		0.0	15.0	85.0
13 土木部	N=116	0	13	103
		0.0	11.2	88.8
14 会計管理局	N=13	0	1	12
		0.0	7.7	92.3
15 議会事務局	N=29	0	4	25
		0.0	13.8	86.2
16 教育委員会事務局	N=112	11	41	60
		9.8	36.6	53.6
17 行政委員会	N=13	0	4	9
		0.0	30.8	69.2
18 その他	N=20	0	2	18
		0.0	10.0	90.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、すべての部局で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」は産業振興推進部が 20.0%で、「知っているが使ったことがない」は観光振興部が 38.5%で、「知らない」は会計管理局が 92.3%で、それぞれ最も多くなっている。

⑫図書館活用の説明のための派遣講師（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 総務部	N=36	0	6	30
		0.0	16.7	83.3
2 防災対策部	N=9	1	2	6
		11.1	22.2	66.7
3 財務部	N=31	0	3	28
		0.0	9.7	90.3
4 市民協働部	N=44	0	7	37
		0.0	15.9	84.1
5 健康福祉部	N=84	1	6	77
		1.2	7.1	91.7
6 こども未来部	N=49	1	8	40
		2.0	16.3	81.6
7 環境部	N=18	0	2	16
		0.0	11.1	88.9
8 商工観光部	N=15	0	1	14
		0.0	6.7	93.3
9 農林水産部	N=13	0	2	11
		0.0	15.4	84.6
10 都市建設部	N=52	0	2	50
		0.0	3.8	96.2
11 会計管理者(出納)	N=4	0	0	4
		0.0	0.0	100.0
12 上下水道局	N=27	0	2	25
		0.0	7.4	92.6
13 消防局	N=39	0	1	38
		0.0	2.6	97.4
14 教育委員会	N=41	2	15	24
		4.9	36.6	58.5
15 議会事務局	N=5	0	0	5
		0.0	0.0	100.0
16 行政委員会	N=12	0	0	12
		0.0	0.0	100.0
17 その他	N=4	1	0	3
		25.0	0.0	75.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、すべての部局で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

「知っていて使ったことがある」はその他が 25.0%で、「知っているが使ったことがない」は教育委員会が 36.6%で、「知らない」は会計管理者(出納)など3部局が 100.0%で、それぞれ最も多くなっている。

⑫図書館活用の説明のための派遣講師（共通利用カードの有無別）

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		あ 知 っ て い て 使 っ た こ と が	が 知 っ て い る が 使 っ た こ と	知 ら な い
1 持っている N=786		17	166	603
		2.2	21.1	76.7
2 持っていない N=910		7	112	791
		0.8	12.3	86.9
3 わからない N=19		0	1	18
		0.0	5.3	94.7

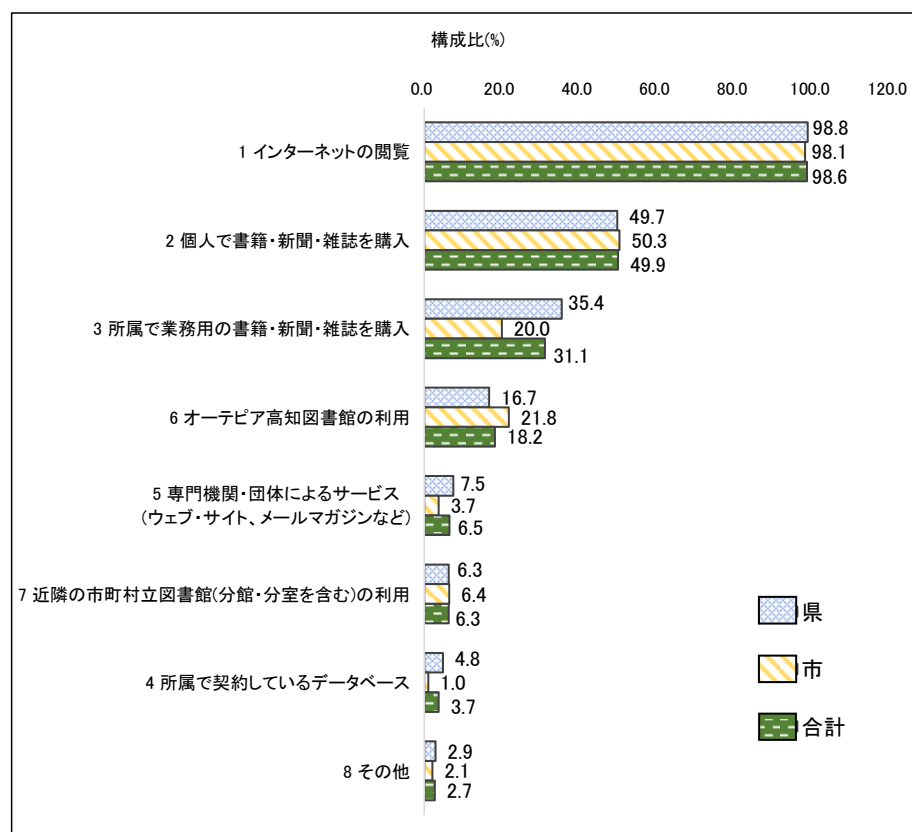
※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、すべての区分で「知らない」と回答した割合が最も多くなっている。

5.8 【問 7】情報の入手方法

普段、あなたは、仕事で必要な情報をどのように入手していますか。【○はいくつでも】
 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=481		合計 N=1,713	
1 インターネットの閲覧	1,217	98.8	472	98.1	1,689	98.6
2 個人で書籍・新聞・雑誌を購入	612	49.7	242	50.3	854	49.9
3 所属で業務用の書籍・新聞・雑誌を購入	436	35.4	96	20.0	532	31.1
4 所属で契約しているデータベース	59	4.8	5	1.0	64	3.7
5 専門機関・団体によるサービス (ウェブ・サイト、メールマガジンなど)	93	7.5	18	3.7	111	6.5
6 オーテピア高知図書館の利用	206	16.7	105	21.8	311	18.2
7 近隣の市町村立図書館(分館・分室を含む)の利用	77	6.3	31	6.4	108	6.3
8 その他	36	2.9	10	2.1	46	2.7



仕事で必要な情報をどのように入手しているか尋ねたところ、「インターネットの閲覧」が98.6%で最も多く、次いで、「個人で書籍・新聞・雑誌を購入」が49.9%、「所属で業務用の書籍・新聞・雑誌を購入」が31.1%と続いている。

情報の入手方法（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		インターネットの閲覧	個人で書籍・新聞・雑誌を購入	所属で業務用の書籍・新聞・雑誌を購入	所属で契約しているデータベース	専門機関・団体によるサービス（メールマガジンなど）	オーテピア高知図書館の利用	近隣の市町村立図書館（分館・分室を含む）の利用	その他
1～20代	N=274	273	89	73	20	11	40	4	2
		99.6	32.5	26.6	7.3	4.0	14.6	1.5	0.7
20～30代	N=366	360	170	117	8	30	75	20	14
		98.4	46.4	32.0	2.2	8.2	20.5	5.5	3.8
30～40代	N=492	487	253	139	9	23	93	38	10
		99.0	51.4	28.3	1.8	4.7	18.9	7.7	2.0
40～50代	N=494	486	295	179	25	42	88	34	17
		98.4	59.7	36.2	5.1	8.5	17.8	6.9	3.4
50～60代～	N=87	83	47	24	2	5	15	12	3
		95.4	54.0	27.6	2.3	5.7	17.2	13.8	3.4

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「インターネットの閲覧」と回答した割合が最も多くなっている。

「オーテピア高知図書館の利用」は30代が 20.5%で、「近隣の市町村立図書館（分館・分室を含む）の利用」は60代～が 13.8%で、それぞれ最も多くなっている。

情報の入手方法（県部局別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		インターネットの閲覧	個人で書籍・新聞・雑誌を購入	所属で業務用の書籍・新聞・雑誌を購入	所属で契約しているデータベース	専門機関・団体によるサービス（ホームページ・マガジン・サイなど）	オーテピア高知図書館の利用	近隣の市町村立図書館（分館・分室を含む）の利用	その他
1 総務部	N=142	141 99.3	62 43.7	52 36.6	11 7.7	7 4.9	24 16.9	3 2.1	2 1.4
2 危機管理部	N=33	33 100.0	18 54.5	13 39.4	1 3.0	2 6.1	5 15.2	2 6.1	2 6.1
3 健康政策部	N=148	148 100.0	72 48.6	53 35.8	7 4.7	16 10.8	26 17.6	9 6.1	6 4.1
4 地域福祉部	N=86	85 98.8	44 51.2	20 23.3	0 0.0	5 5.8	19 22.1	7 8.1	0 0.0
5 文化生活スポーツ部	N=47	46 97.9	23 48.9	9 19.1	0 0.0	7 14.9	8 17.0	1 2.1	2 4.3
6 産業振興推進部	N=15	15 100.0	7 46.7	7 46.7	0 0.0	3 20.0	7 46.7	1 6.7	0 0.0
7 中山間振興・交通部	N=29	29 100.0	12 41.4	12 41.4	0 0.0	4 13.8	7 24.1	1 3.4	0 0.0
8 商工労働部	N=67	66 98.5	29 43.3	20 29.9	2 3.0	4 6.0	10 14.9	1 1.5	0 0.0
9 観光振興部	N=13	13 100.0	4 30.8	1 7.7	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0	1 7.7
10 農業振興部	N=187	184 98.4	116 62.0	102 54.5	13 7.0	18 9.6	27 14.4	14 7.5	3 1.6
11 林業振興・環境部	N=122	119 97.5	55 45.1	48 39.3	9 7.4	8 6.6	15 12.3	8 6.6	3 2.5
12 水産振興部	N=40	40 100.0	19 47.5	11 27.5	1 2.5	5 12.5	9 22.5	2 5.0	1 2.5
13 土木部	N=116	115 99.1	39 33.6	44 37.9	6 5.2	4 3.4	7 6.0	7 6.0	0 0.0
14 会計管理局	N=13	13 100.0	6 46.2	2 15.4	1 7.7	0 0.0	2 15.4	1 7.7	0 0.0
15 議会事務局	N=29	29 100.0	13 44.8	10 34.5	5 17.2	1 3.4	4 13.8	1 3.4	8 27.6
16 教育委員会事務局	N=112	110 98.2	78 69.6	21 18.8	2 1.8	6 5.4	27 24.1	16 14.3	7 6.3
17 行政委員会	N=13	12 92.3	10 76.9	9 69.2	1 7.7	1 7.7	5 38.5	1 7.7	0 0.0
18 その他	N=20	19 95.0	5 25.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0	2 10.0	1 5.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、すべての部局で「インターネットの閲覧」と回答した割合が最も多くなっている。

情報の入手方法別にみると、「オーテピア高知図書館の利用」は産業振興推進部が 46.7%で、「近隣の市町村立図書館(分館・分室を含む)の利用」は教育委員会事務局が 14.3%で、それぞれ最も多くなっている。

情報の入手方法（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		インターネットの閲覧	個人で書籍・新聞・雑誌を購入	所属で業務用の書籍・新聞・雑誌を購入	所属で契約しているデータベース	専門機関・団体によるサイバー・メールマガジンなど	オーテピア高知図書館の利用	近隣の市町村立図書館(分館・分室を含む)の利用	その他
1 総務部	N=35	35 100.0	18 51.4	7 20.0	0 0.0	2 5.7	11 31.4	0 0.0	0 0.0
2 防災対策部	N=9	9 100.0	3 33.3	1 11.1	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0
3 財務部	N=31	29 93.5	15 48.4	7 22.6	0 0.0	2 6.5	8 25.8	3 9.7	3 9.7
4 市民協働部	N=43	43 100.0	21 48.8	9 20.9	0 0.0	2 4.7	9 20.9	0 0.0	2 4.7
5 健康福祉部	N=84	83 98.8	35 41.7	12 14.3	1 1.2	3 3.6	15 17.9	8 9.5	0 0.0
6 こども未来部	N=49	46 93.9	38 77.6	4 8.2	0 0.0	0 0.0	12 24.5	7 14.3	2 4.1
7 環境部	N=18	18 100.0	13 72.2	3 16.7	0 0.0	1 5.6	6 33.3	3 16.7	0 0.0
8 商工観光部	N=15	14 93.3	9 60.0	5 33.3	0 0.0	1 6.7	6 40.0	1 6.7	0 0.0
9 農林水産部	N=13	13 100.0	7 53.8	1 7.7	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0	0 0.0
10 都市建設部	N=52	52 100.0	23 44.2	20 38.5	1 1.9	1 1.9	9 17.3	2 3.8	0 0.0
11 会計管理者(出納)	N=4	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
12 上下水道局	N=27	27 100.0	5 18.5	7 25.9	0 0.0	2 7.4	1 3.7	1 3.7	0 0.0
13 消防局	N=39	38 97.4	22 56.4	3 7.7	1 2.6	0 0.0	8 20.5	2 5.1	1 2.6
14 教育委員会	N=41	40 97.6	26 63.4	7 17.1	1 2.4	0 0.0	13 31.7	4 9.8	2 4.9
15 議会事務局	N=5	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
16 行政委員会	N=12	12 100.0	4 33.3	6 50.0	0 0.0	1 8.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0
17 その他	N=4	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、すべての部局で「インターネットの閲覧」と回答した割合が最も多くなっている。

情報の入手方法別にみると、「オーテピア高知図書館の利用」は商工観光部が 40.0%で、「近隣の市町村立図書館(分館・分室を含む)の利用」は環境部が 16.7%で、それぞれ最も多くなっている。

情報の入手方法（共通利用カードの有無別）〔上段：票数(票) 下段：構成比(%)〕

		インターネットの閲覧	個人で書籍・新聞・雑誌を購入	所属で業務用の書籍・新聞・雑誌を購入	所属で契約しているデータベース	専門機関・団体によるサービス（ウェブ・サイなど）	オーテピア高知図書館の利用	近隣の市町村立図書館（分館・分室を含む）の利用	その他
1 持っている	N=784	774 98.7	415 52.9	232 29.6	28 3.6	50 6.4	280 35.7	83 10.6	18 2.3
2 持っていない	N=910	896 98.5	433 47.6	294 32.3	36 4.0	60 6.6	31 3.4	25 2.7	28 3.1
3 わからない	N=19	19 100.0	6 31.6	6 31.6	0 0.0	1 5.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、すべての区分で「インターネットの閲覧」と回答した割合が最も多くなっている。

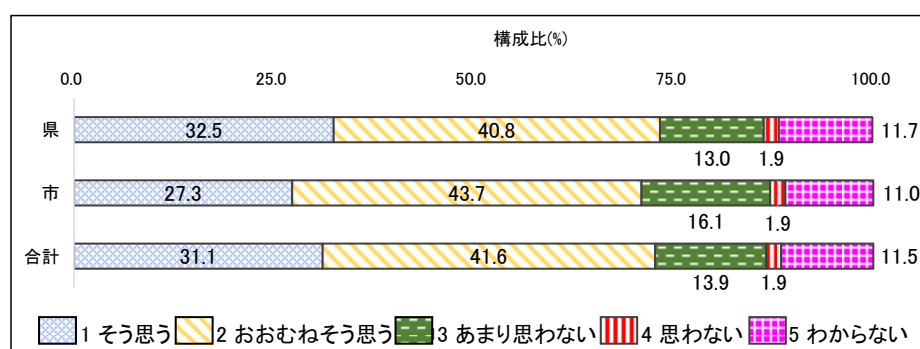
情報の入手方法別にみると、「オーテピア高知図書館の利用」は持っている回答者が35.7%で、「近隣の市町村立図書館（分館・分室を含む）の利用」は持っている回答者が10.6%で、それぞれ最も多くなっている。

5.9 【問 8】 図書館活用の役立ち

図書館の活用は、あなたの仕事や勤務先(所属)の業務に役立つと思いますか。

【○は1つだけ】 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=483		合計 N=1,715	
1 そう思う	401	32.5	132	27.3	533	31.1
2 おおむねそう思う	503	40.8	211	43.7	714	41.6
3 あまり思わない	160	13.0	78	16.1	238	13.9
4 思わない	24	1.9	9	1.9	33	1.9
5 わからない	144	11.7	53	11.0	197	11.5



図書館の活用は、仕事や勤務先(所属)の業務に役立つか尋ねたところ、「そう思う」が31.1%、「おおむねそう思う」が41.6%、「あまり思わない」が13.9%、「思わない」が1.9%、「わからない」が11.5%となっている。

図書館活用の役立ち（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		そう 思う	おお むね そう 思う	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い	わ か ら な い
1 ～20代	N=276	105	120	25	2	24
		38.0	43.5	9.1	0.7	8.7
2 30代	N=366	122	151	50	8	35
		33.3	41.3	13.7	2.2	9.6
3 40代	N=492	144	217	61	8	62
		29.3	44.1	12.4	1.6	12.6
4 50代	N=494	143	189	88	11	63
		28.9	38.3	17.8	2.2	12.8
5 60代～	N=87	19	37	14	4	13
		21.8	42.5	16.1	4.6	14.9

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「おおむねそう思う」と回答した割合が最も多くなっている。

「そう思う」は～20代が 38.0%で、「おおむねそう思う」は40代が 44.1%で、「あまり思わない」は50代が 17.8%で、「思わない」は60代～が 4.6%で、それぞれ最も多くなっている。

図書館活用の役立ち（県部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		そう 思う	おお むね そう 思う	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い	わ か ら な い
1 総務部 N=142		47	60	16	1	18
		33.1	42.3	11.3	0.7	12.7
2 危機管理部 N=33		8	13	7	1	4
		24.2	39.4	21.2	3.0	12.1
3 健康政策部 N=148		45	66	16	2	19
		30.4	44.6	10.8	1.4	12.8
4 地域福祉部 N=86		30	36	12	0	8
		34.9	41.9	14.0	0.0	9.3
5 文化生活スポーツ部 N=47		19	22	2	1	3
		40.4	46.8	4.3	2.1	6.4
6 産業振興推進部 N=15		9	5	0	0	1
		60.0	33.3	0.0	0.0	6.7
7 中山間振興・交通部 N=29		10	13	2	0	4
		34.5	44.8	6.9	0.0	13.8
8 商工労働部 N=67		22	29	8	1	7
		32.8	43.3	11.9	1.5	10.4
9 観光振興部 N=13		3	5	3	1	1
		23.1	38.5	23.1	7.7	7.7
10 農業振興部 N=187		57	76	29	6	19
		30.5	40.6	15.5	3.2	10.2
11 林業振興・環境部 N=122		26	51	17	3	25
		21.3	41.8	13.9	2.5	20.5
12 水産振興部 N=40		10	18	4	1	7
		25.0	45.0	10.0	2.5	17.5
13 土木部 N=116		30	42	25	3	16
		25.9	36.2	21.6	2.6	13.8
14 会計管理局 N=13		2	5	3	2	1
		15.4	38.5	23.1	15.4	7.7
15 議会事務局 N=29		21	6	2	0	0
		72.4	20.7	6.9	0.0	0.0
16 教育委員会事務局 N=112		52	43	9	1	7
		46.4	38.4	8.0	0.9	6.3
17 行政委員会 N=13		6	4	3	0	0
		46.2	30.8	23.1	0.0	0.0
18 その他 N=20		4	9	2	1	4
		20.0	45.0	10.0	5.0	20.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、議会事務局など4部局では、「そう思う」と回答した割合が、文化生活スポーツ部など14部局では「おおむねそう思う」が、それぞれ最も多くなっている。

「そう思う」は議会事務局が 72.4%で、「おおむねそう思う」は文化生活スポーツ部が 46.8%で、「あまり思わない」は観光振興部など3部局が 23.1%で、「思わない」は会計管理局が 15.4%で、それぞれ最も多くなっている。

図書館活用の役立ち（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		そう 思う	おお むね そう 思う	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い	わ か ら な い
1 総務部	N=36	14	14	6	1	1
		38.9	38.9	16.7	2.8	2.8
2 防災対策部	N=9	3	5	1	0	0
		33.3	55.6	11.1	0.0	0.0
3 財務部	N=31	9	13	6	0	3
		29.0	41.9	19.4	0.0	9.7
4 市民協働部	N=44	14	16	8	0	6
		31.8	36.4	18.2	0.0	13.6
5 健康福祉部	N=84	20	43	14	0	7
		23.8	51.2	16.7	0.0	8.3
6 こども未来部	N=49	17	22	5	0	5
		34.7	44.9	10.2	0.0	10.2
7 環境部	N=18	5	4	6	1	2
		27.8	22.2	33.3	5.6	11.1
8 商工観光部	N=15	5	8	1	0	1
		33.3	53.3	6.7	0.0	6.7
9 農林水産部	N=13	2	6	2	1	2
		15.4	46.2	15.4	7.7	15.4
10 都市建設部	N=52	10	28	7	0	7
		19.2	53.8	13.5	0.0	13.5
11 会計管理者(出納)	N=4	0	2	1	0	1
		0.0	50.0	25.0	0.0	25.0
12 上下水道局	N=27	6	5	6	1	9
		22.2	18.5	22.2	3.7	33.3
13 消防局	N=39	8	14	9	2	6
		20.5	35.9	23.1	5.1	15.4
14 教育委員会	N=41	16	17	2	3	3
		39.0	41.5	4.9	7.3	7.3
15 議会事務局	N=5	2	3	0	0	0
		40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
16 行政委員会	N=12	1	8	3	0	0
		8.3	66.7	25.0	0.0	0.0
17 その他	N=4	0	3	1	0	0
		0.0	75.0	25.0	0.0	0.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、総務部では「そう思う」「おおむねそう思う」と回答した割合が、環境部では「あまり思わない」が、上下水道局では「わからない」が、その他の14部局では「おおむねそう思う」が、それぞれ最も多くなっている。

「そう思う」は議会事務局が40.0%で、「おおむねそう思う」はその他が75.0%で、「あまり思わない」は環境部が33.3%で、「思わない」は農林水産部が7.7%で、それぞれ最も多くなっている。

図書館活用の役立ち（共通利用カードの有無別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		そう 思う	おお むね そう 思う	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い	わ か ら な い
1 持っている N=786		311	313	98	7	57
		39.6	39.8	12.5	0.9	7.3
2 持っていない N=910		219	396	137	25	133
		24.1	43.5	15.1	2.7	14.6
3 わからない N=19		3	5	3	1	7
		15.8	26.3	15.8	5.3	36.8

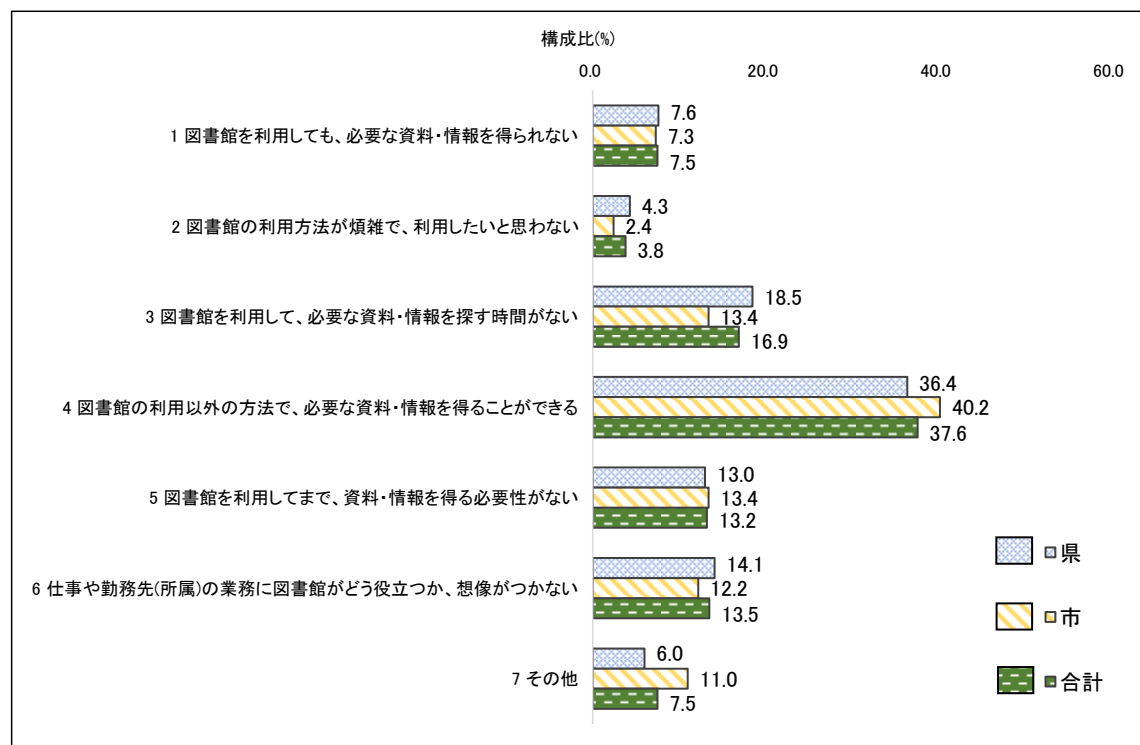
※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、持っている回答者、持っていない回答者ともに、「おおむねそう思う」と回答した割合が最も多くなっている。

5.10 【問 8-1】 役立たないと思う理由

問8で「あまりそう思わない」「思わない」と答えた方におたずねします。役立たないと思う理由を教えてください。【〇は1つだけ】 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=184		市 N=82		合計 N=266	
1 図書館を利用して、必要な資料・情報を得られない	14	7.6	6	7.3	20	7.5
2 図書館の利用方法が煩雑で、利用したいと思わない	8	4.3	2	2.4	10	3.8
3 図書館を利用して、必要な資料・情報を探す時間がない	34	18.5	11	13.4	45	16.9
4 図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる	67	36.4	33	40.2	100	37.6
5 図書館を利用してまで、資料・情報を得る必要性がない	24	13.0	11	13.4	35	13.2
6 仕事や勤務先(所属)の業務に図書館がどう役立つか、想像がつかない	26	14.1	10	12.2	36	13.5
7 その他	11	6.0	9	11.0	20	7.5



問8で「あまり思わない」「思わない」と回答した方に、役立たないと思う理由を尋ねたところ、「図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる」が 37.6%で最も多く、次いで、「図書館を利用して、必要な資料・情報を探す時間がない」が 16.9%、「仕事や勤務先(所属)の業務に図書館がどう役立つか、想像がつかない」が 13.5%と続いている。

役立つと思う理由（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		必要な資料・情報を得られ、必ず図書館を利用した方法がわからない	必要な資料・情報を得られ、必ず図書館を利用した方法がわからない	必要な資料・情報を得られ、必ず図書館を利用した方法がわからない	必要な資料・情報を得られ、必ず図書館を利用した方法がわからない	必要な資料・情報を得られ、必ず図書館を利用した方法がわからない	必要な資料・情報を得られ、必ず図書館を利用した方法がわからない	必要な資料・情報を得られ、必ず図書館を利用した方法がわからない
1 ～20代	N=24	2	2	2	6	6	4	2
		8.3	8.3	8.3	25.0	25.0	16.7	8.3
2 30代	N=58	9	2	12	20	3	7	5
		15.5	3.4	20.7	34.5	5.2	12.1	8.6
3 40代	N=68	5	1	12	25	10	11	4
		7.4	1.5	17.6	36.8	14.7	16.2	5.9
4 50代	N=98	3	5	16	41	11	13	9
		3.1	5.1	16.3	41.8	11.2	13.3	9.2
5 60代～	N=18	1	0	3	8	5	1	0
		5.6	0.0	16.7	44.4	27.8	5.6	0.0

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、～20代では「図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる」「図書館を利用してまで、資料・情報を得る必要がない」と回答した割合が、その他の年齢では、「図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる」が、それぞれ最も多くなっている。

理由別にみると、「図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる」は60代～が 44.4%で、「図書館を利用して、必要な資料・情報を得る時間がない」は30代が 20.7%で、「仕事や勤務先(所属)の業務に図書館がどう役立つか、想像がつかない」は～20代が 16.7%で、それぞれ最も多くなっている。

役立たないと思う理由（県部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		必要な資料・情報を得られ、必要図書を利用したい方法が複雑	必要な資料・情報を探す時間がない	必要な資料・情報を得ることができる	必要な資料・情報を得る必要がある	必要な資料・情報を得る必要がある	必要な資料・情報を得る必要がある	その他
1 総務部	N=17	1 5.9	0 0.0	4 23.5	8 47.1	1 5.9	2 11.8	1 5.9
2 危機管理部	N=8	3 37.5	0 0.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5	0 0.0	0 0.0
3 健康政策部	N=18	1 5.6	0 0.0	3 16.7	9 50.0	0 0.0	3 16.7	2 11.1
4 地域福祉部	N=12	0 0.0	0 0.0	4 33.3	3 25.0	3 25.0	2 16.7	0 0.0
5 文化・生活スポーツ部	N=3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0
6 産業振興推進部	N=0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
7 中山間振興・交通部	N=2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
8 商工労働部	N=9	0 0.0	1 11.1	0 0.0	6 66.7	1 11.1	0 0.0	1 11.1
9 観光振興部	N=4	1 25.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
10 農業振興部	N=35	4 11.4	0 0.0	7 20.0	12 34.3	6 17.1	4 11.4	2 5.7
11 林業振興・環境部	N=20	0 0.0	3 15.0	4 20.0	6 30.0	1 5.0	6 30.0	0 0.0
12 水産振興部	N=5	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
13 土木部	N=28	3 10.7	3 10.7	3 10.7	10 35.7	4 14.3	4 14.3	1 3.6
14 会計管理局	N=5	1 20.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
15 議会事務局	N=2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
16 教育委員会事務局	N=10	0 0.0	1 10.0	1 10.0	5 50.0	1 10.0	2 20.0	0 0.0
17 行政委員会	N=3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3
18 その他	N=3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、危機管理部と会計管理局では「図書館を利用して、必要な資料・情報を得られない」と回答した割合が、観光振興部など5部局では「図書館を利用して、必要な資料・情報を探す時間がない」が、商工労働部など12部局では「図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる」が、文化・生活スポーツ部など3部局では「図書館を利用してまで、資料・情報を得る必要性がない」が、行政委員会など3部局では「仕事や勤務先(所属)の業務に図書館がどう役立つか、想像がつかない」が、同率を含みそれぞれ最も多くなっている。

理由別にみると、「図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる」は商工労働部が 66.7%で、「図書館を利用して、必要な資料・情報を探す時間がない」は危機管理部が 37.5%で、「仕事や勤務先(所属)の業務に図書館がどう役立つか、想像がつかない」は林業振興・環境部が 30.3%で、それぞれ最も多くなっている。

※有効回答票数が5票未満は省略(理由別のみ)

役立たないと思う理由（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		必要な資料・情報を利用して得られ	図書館の利用方法が煩雑	図書館の情報を探す、時間要	図書館の必要な資料・外情の方法	図書館の情報を利用してまで、	図書館の情報を得る必要で、	仕事や勤務先(所属)の業務に図書館がどう役立つ、想像がつかない役	その他
1 総務部	N=5	0 0.0	0 0.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
2 防災対策部	N=1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
3 財務部	N=5	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0
4 市民協働部	N=8	0 0.0	0 0.0	2 25.0	3 37.5	2 25.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5
5 健康福祉部	N=13	0 0.0	1 7.7	3 23.1	5 38.5	2 15.4	1 7.7	1 7.7	1 7.7
6 こども未来部	N=5	1 20.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
7 環境部	N=6	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3
8 商工観光部	N=1	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
9 農林水産部	N=3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
10 都市建設部	N=7	0 0.0	0 0.0	1 14.3	2 28.6	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3
11 会計管理者(出納)	N=1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
12 上下水道局	N=7	0 0.0	0 0.0	1 14.3	5 71.4	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3
13 消防局	N=11	2 18.2	0 0.0	1 9.1	6 54.5	0 0.0	1 9.1	1 9.1	1 9.1
14 教育委員会	N=5	0 0.0	1 20.0	0 0.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
15 議会事務局	N=0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
16 行政委員会	N=3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0
17 その他	N=1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、教育委員会など9部局では「図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる」と回答した割合が、都市建設部など3部局では「図書館を利用してまで、資料・情報を得る必要性がない」が、環境部など4部局では「仕事や勤務先(所属)の業務に図書館がどう役立つ、想像がつかない」が、同率を含みそれぞれ最も多くなっている。

理由別にみると、「図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる」は教育委員会が 80.0%で、「図書館を利用して、必要な資料・情報を探す時間がない」は市民協働部が 25.0%で、「仕事や勤務先(所属)の業務に図書館がどう役立つ、想像がつかない」は環境部が 33.3%で、それぞれ最も多くなっている。

※有効回答票数が 5 票未満は省略(理由別のみ)

役立たないと思う理由（共通利用カードの有無別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

	必要な資料・情報を得られ、必ず図書館の利用方法がわからない	図書館の利用方法がわからない	必要な資料・情報を得られ、必ず図書館の利用方法がわからない	必要な資料・情報を得られ、必ず図書館の利用方法がわからない	必要な資料・情報を得られ、必ず図書館の利用方法がわからない	必要な資料・情報を得られ、必ず図書館の利用方法がわからない	その他
1 持っている N=102	5 4.9	4 3.9	15 14.7	38 37.3	19 18.6	15 14.7	6 5.9
2 持っていない N=160	14 8.8	6 3.8	30 18.8	61 38.1	15 9.4	21 13.1	13 8.1
3 わからない N=4	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0

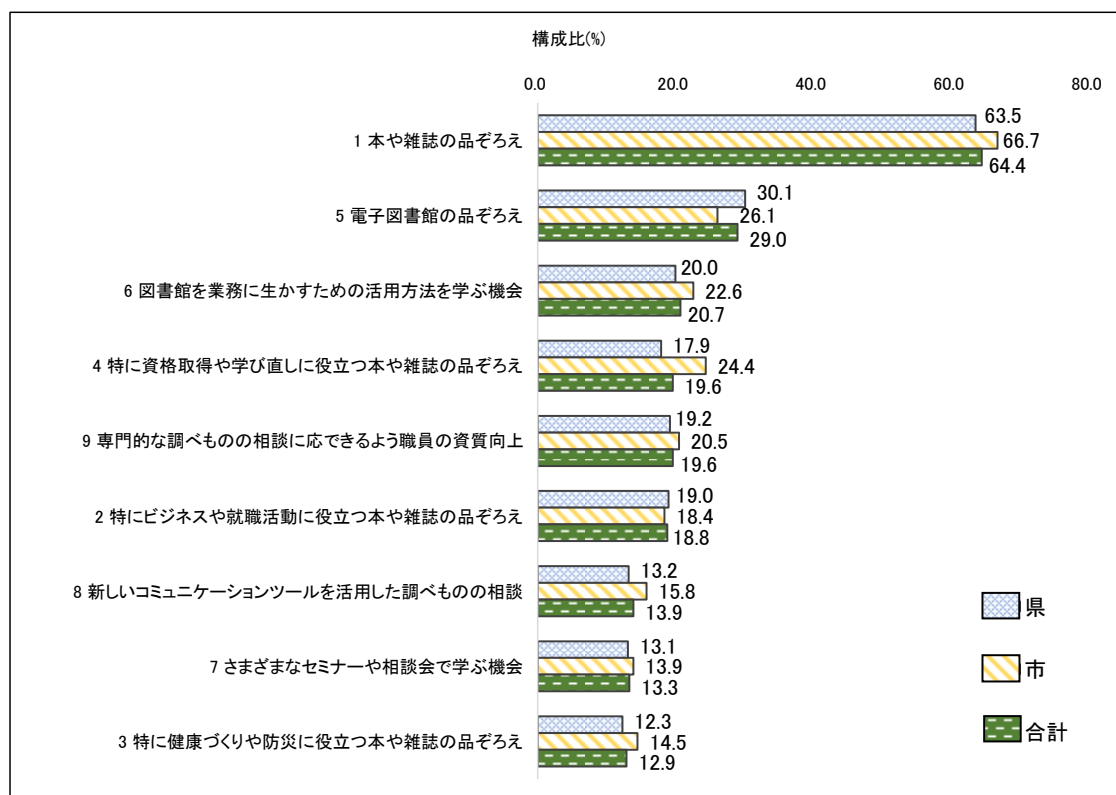
※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、持っている回答者、持っていない回答者ともに、「図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる」と回答した割合が最も多くなっている。

5.11 【問 9】サービスの期待

オーテピア高知図書館のこれからのサービスについて、どのようなことを期待しますか。期待する項目を選んでください。【〇は3つまで】 [左:票数(票) 右:構成比(%)]

	県 N=1,232		市 N=468		合計 N=1,700	
1 本や雑誌の品ぞろえ	782	63.5	312	66.7	1,094	64.4
2 特にビジネスや就職活動に役立つ本や雑誌の品ぞろえ	234	19.0	86	18.4	320	18.8
3 特に健康づくりや防災に役立つ本や雑誌の品ぞろえ	151	12.3	68	14.5	219	12.9
4 特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ	220	17.9	114	24.4	334	19.6
5 電子図書館の品ぞろえ	371	30.1	122	26.1	493	29.0
6 図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会	246	20.0	106	22.6	352	20.7
7 さまざまなセミナーや相談会で学ぶ機会	161	13.1	65	13.9	226	13.3
8 新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談	163	13.2	74	15.8	237	13.9
9 専門的な調べものの相談に応じられるよう職員の資質向上	237	19.2	96	20.5	333	19.6



オーテピア高知図書館のこれからのサービスについて、どのようなことを期待するか尋ねたところ、「本や雑誌の品ぞろえ」が 64.4%で最も多く、次いで、「電子図書館の品ぞろえ」が 29.0%、「図書館を業務に生かすための活用方法を選ぶ機会」が 20.7%と続いている。

サービスの期待（年齢別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		本や雑誌の品ぞろえ	特に役立つビジネスや雑誌の品ぞろえ	特に健康づくりに役立つ雑誌の品ぞろえ	特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ	電子図書館の品ぞろえ	図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会	さまざまなセミナーや相談会	新しいコミュニケーションツールを活用した調べもの	専門的な調べものや職員の相談に利用できるよう
1～20代	N=273	170	52	34	66	67	62	23	27	50
		62.3	19.0	12.5	24.2	24.5	22.7	8.4	9.9	18.3
20～30代	N=366	231	72	47	89	116	68	45	48	54
		63.1	19.7	12.8	24.3	31.7	18.6	12.3	13.1	14.8
30～40代	N=487	314	93	59	89	137	116	59	70	102
		64.5	19.1	12.1	18.3	28.1	23.8	12.1	14.4	20.9
40～50代	N=488	323	88	55	75	148	90	86	85	110
		66.2	18.0	11.3	15.4	30.3	18.4	17.6	17.4	22.5
50代～	N=86	56	15	24	15	25	16	13	7	17
		65.1	17.4	27.9	17.4	29.1	18.6	15.1	8.1	19.8

※属性別に最も多い割合に色付け

年齢別にみると、すべての年齢で「本や雑誌の品ぞろえ」と回答した割合が最も多くなっている。

「本や雑誌の品ぞろえ」は50代が 66.2%で、「電子図書館の品ぞろえ」は30代が 31.7%で、「図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会」は40代が 23.8%で、それぞれ最も多くなっている。

サービスの期待（県部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		本や雑誌の品ぞろえ	ろに特に役立つビジネスや雑誌の職活動	え役特に健康づくりや防災に	ろに特に資格取得や学び直し	電子図書館の品ぞろえ	め図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会	談ささまざまなセミナーや相談会で学ぶ機会	もの新しいコミュニケーションツールを活用した調べもの	質に専門的な調べものや職員の相談
1 総務部	N=142	88 62.0	33 23.2	16 11.3	27 19.0	44 31.0	24 16.9	16 11.3	16 11.3	25 17.6
2 危機管理部	N=33	22 66.7	3 9.1	8 24.2	5 15.2	7 21.2	5 15.2	3 9.1	2 6.1	6 18.2
3 健康政策部	N=148	97 65.5	27 18.2	27 18.2	30 20.3	37 25.0	37 25.0	12 8.1	20 13.5	23 15.5
4 地域福祉部	N=86	57 66.3	6 7.0	11 12.8	9 10.5	16 18.6	17 19.8	13 15.1	8 9.3	20 23.3
5 文化生活スポーツ部	N=47	30 63.8	7 14.9	11 23.4	10 21.3	10 21.3	11 23.4	5 10.6	6 12.8	10 21.3
6 産業振興推進部	N=15	10 66.7	5 33.3	0 0.0	5 33.3	2 13.3	2 13.3	3 20.0	1 6.7	0 0.0
7 中山間振興・交通部	N=29	20 69.0	6 20.7	2 6.9	4 13.8	7 24.1	9 31.0	4 13.8	2 6.9	3 10.3
8 商工労働部	N=67	32 47.8	22 32.8	12 17.9	18 26.9	20 29.9	12 17.9	9 13.4	9 13.4	10 14.9
9 観光振興部	N=13	9 69.2	3 23.1	0 0.0	2 15.4	6 46.2	4 30.8	0 0.0	0 0.0	1 7.7
10 農業振興部	N=187	124 66.3	42 22.5	19 10.2	29 15.5	64 34.2	41 21.9	26 13.9	23 12.3	40 21.4
11 林業振興・環境部	N=122	72 59.0	25 20.5	11 9.0	22 18.0	37 30.3	23 18.9	21 17.2	18 14.8	25 20.5
12 水産振興部	N=40	22 55.0	9 22.5	5 12.5	11 27.5	12 30.0	5 12.5	3 7.5	4 10.0	7 17.5
13 土木部	N=116	68 58.6	20 17.2	12 10.3	21 18.1	44 37.9	21 18.1	14 12.1	19 16.4	30 25.9
14 会計管理局	N=13	13 100.0	1 7.7	3 23.1	0 0.0	3 23.1	1 7.7	0 0.0	0 0.0	1 7.7
15 議会事務局	N=29	22 75.9	3 10.3	0 0.0	3 10.3	7 24.1	4 13.8	3 10.3	10 34.5	11 37.9
16 教育委員会事務局	N=112	73 65.2	13 11.6	10 8.9	16 14.3	48 42.9	26 23.2	24 21.4	23 20.5	24 21.4
17 行政委員会	N=13	11 84.6	4 30.8	1 7.7	1 7.7	1 7.7	2 15.4	1 7.7	1 7.7	0 0.0
18 その他	N=20	12 60.0	5 25.0	3 15.0	7 35.0	6 30.0	2 10.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0

※属性別に最も多い割合に色付け

県部局別にみると、すべての県部局別で「本や雑誌の品ぞろえ」と回答した割合が最も多くなっている。

「本や雑誌の品ぞろえ」は会計管理局が 100.0%で、「電子図書館の品ぞろえ」は観光振興部が 46.2%で、「図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会」は中山間振興・交通部が 31.0%で、それぞれ最も多くなっている。

サービスの期待（市部局別）〔上段:票数(票) 下段:構成比(%)〕

		本や雑誌の品ぞろえ	特にビジネスや就活活動に役立つ本や雑誌の品ぞろえ	特に健康づくりや防災に役立つ本や雑誌の品ぞろえ	特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ	電子図書館の品ぞろえ	図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会	さまざまなセミナーや相談会で学ぶ機会	新しいコミュニケーションツールの活用した調べものの相談	専門的な調べものの相談に資する
1 総務部	N=34	23	5	1	4	10	8	6	10	8
		67.6	14.7	2.9	11.8	29.4	23.5	17.6	29.4	23.5
2 防災対策部	N=9	7	3	2	2	3	3	0	1	1
		77.8	33.3	22.2	22.2	33.3	33.3	0.0	11.1	11.1
3 財務部	N=30	16	9	5	10	8	7	4	2	3
		53.3	30.0	16.7	33.3	26.7	23.3	13.3	6.7	10.0
4 市民協働部	N=42	28	5	2	8	9	6	8	9	8
		66.7	11.9	4.8	19.0	21.4	14.3	19.0	21.4	19.0
5 健康福祉部	N=82	52	12	21	26	21	14	14	14	18
		63.4	14.6	25.6	31.7	25.6	17.1	17.1	17.1	22.0
6 こども未来部	N=49	40	5	9	7	11	16	4	4	10
		81.6	10.2	18.4	14.3	22.4	32.7	8.2	8.2	20.4
7 環境部	N=16	10	3	1	7	6	3	4	3	3
		62.5	18.8	6.3	43.8	37.5	18.8	25.0	18.8	18.8
8 商工観光部	N=14	10	2	1	0	2	2	1	1	4
		71.4	14.3	7.1	0.0	14.3	14.3	7.1	7.1	28.6
9 農林水産部	N=11	7	2	2	5	2	4	4	2	2
		63.6	18.2	18.2	45.5	18.2	36.4	36.4	18.2	18.2
10 都市建設部	N=52	37	12	5	16	17	9	0	7	15
		71.2	23.1	9.6	30.8	32.7	17.3	0.0	13.5	28.8
11 会計管理者(出納)	N=4	4	1	0	0	0	0	1	1	0
		100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0
12 上下水道局	N=27	15	7	2	8	9	8	6	3	3
		55.6	25.9	7.4	29.6	33.3	29.6	22.2	11.1	11.1
13 消防局	N=38	27	5	11	9	7	8	8	5	2
		71.1	13.2	28.9	23.7	18.4	21.1	21.1	13.2	5.3
14 教育委員会	N=40	26	12	5	9	9	14	2	7	16
		65.0	30.0	12.5	22.5	22.5	35.0	5.0	17.5	40.0
15 議会事務局	N=5	3	0	0	1	2	0	1	1	2
		60.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	20.0	20.0	40.0
16 行政委員会	N=12	6	3	0	2	4	2	2	2	1
		50.0	25.0	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	8.3
17 その他	N=3	1	0	1	0	2	2	0	2	0
		33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	66.7	0.0	66.7	0.0

※属性別に最も多い割合に色付け

市部局別にみると、その他では、「電子図書館の品ぞろえ」、「図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会」、「新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談」と回答した割合が、その他の16部局では、「本や雑誌の品ぞろえ」が、それぞれ最も多くなっている。

「本や雑誌の品ぞろえ」はこども未来部が 81.6%で、「電子図書館の品ぞろえ」、「図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会」はその他が 66.7%で、それぞれ最も多くなっている。

※有効回答票数が 5 票未満は省略

サービスの期待（共通利用カードの有無別）[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		本や雑誌の品ぞろえ	特に役立つビジネスや雑誌の品ぞろえ	特に健康づくりに役立つ雑誌の品ぞろえ	特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ	電子図書館の品ぞろえ	図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会	さまざまなセミナーや相談会で学ぶ機会	新しいコミュニケーションツールを活用した調べもの相談	専門的な調べもの相談に利用できるよう職員の相談向上
1 持っている	N=779	565	163	111	154	219	155	97	95	119
		72.5	20.9	14.2	19.8	28.1	19.9	12.5	12.2	15.3
2 持っていない	N=903	522	153	104	175	267	193	128	139	208
		57.8	16.9	11.5	19.4	29.6	21.4	14.2	15.4	23.0
3 わからない	N=18	7	4	4	5	7	4	1	3	6
		38.9	22.2	22.2	27.8	38.9	22.2	5.6	16.7	33.3

※属性別に最も多い割合に色付け

共通利用カードの有無別にみると、持っている回答者、持っていない回答者ともに、「本や雑誌の品ぞろえ」と回答した割合が最も多くなっている。

5.12 クロス集計【問 7】×【問 9】

【問 7】情報の入手方法 × 【問 9】サービスの期待 [上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

			問9 サービスの期待									
			本や雑誌の品ぞろえ	品ぞろえに役立つビジネスや雑誌の活	特に健康づくりに役立つ雑誌の防災	特に資格取得や雑誌の直	電子図書館の品ぞろえ	図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ	相談会で学ぶ機会	さまざまなセミナーや	新しいコミュニケーションの活用	専門的な調べものの相談員への対応
問7 情報の 入手 方法	オーテピア、市町村立図書館の両方を利用している	県 N=52	46	13	13	10	14	8	7	8	11	
			88.5	25.0	25.0	19.2	26.9	15.4	13.5	15.4	21.2	
		市 N=20	16	6	2	2	7	5	4	4	6	
			80.0	30.0	10.0	10.0	35.0	25.0	20.0	20.0	30.0	
		合計 N=72	62	19	15	12	21	13	11	12	17	
			86.1	26.4	20.8	16.7	29.2	18.1	15.3	16.7	23.6	
	オーテピアは利用しているが、市町村立図書館は利用していない	県 N=154	113	44	14	26	58	27	17	13	20	
			73.4	28.6	9.1	16.9	37.7	17.5	11.0	8.4	13.0	
		市 N=85	63	16	10	20	15	23	12	15	20	
			74.1	18.8	11.8	23.5	17.6	27.1	14.1	17.6	23.5	
		合計 N=239	176	60	24	46	73	50	29	28	40	
			73.6	25.1	10.0	19.2	30.5	20.9	12.1	11.7	16.7	
	市町村立図書館は利用しているが、オーテピアは利用していない	県 N=25	14	2	5	7	5	7	6	8	3	
			56.0	8.0	20.0	28.0	20.0	28.0	24.0	32.0	12.0	
		市 N=11	6	2	4	4	4	2	2	1	5	
			54.5	18.2	36.4	36.4	36.4	18.2	18.2	9.1	45.5	
		合計 N=36	20	4	9	11	9	9	8	9	8	
			55.6	11.1	25.0	30.6	25.0	25.0	22.2	25.0	22.2	
	図書館を利用している	県 N=231	173	59	32	43	77	42	30	29	34	
			74.9	25.5	13.9	18.6	33.3	18.2	13.0	12.6	14.7	
		市 N=116	85	24	16	26	26	30	18	20	31	
			73.3	20.7	13.8	22.4	22.4	25.9	15.5	17.2	26.7	
		計 N=347	258	83	48	69	103	72	48	49	65	
	図書館は利用していない	県 N=1,001	609	175	119	177	294	204	131	134	203	
			60.8	17.5	11.9	17.7	29.4	20.4	13.1	13.4	20.3	
		市 N=367	227	62	52	88	96	76	47	54	65	
			61.9	16.9	14.2	24.0	26.2	20.7	12.8	14.7	17.7	
		合計 N=1,368	836	237	171	265	390	280	178	188	268	
			61.1	17.3	12.5	19.4	28.5	20.5	13.0	13.7	19.6	

※図書館を利用している回答者と図書館は利用していない回答者との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所に色付け

図書館を利用している回答者、図書館は利用していない回答者ともに、「本や雑誌の品ぞろえ」に期待する割合が最も多くなっている。

情報の入手方法別に比較すると、「本や雑誌の品ぞろえ」、「特にビジネスや就職活動に役立つ本や雑誌の品ぞろえ」などでは、図書館を利用している回答者のほうが多くなっており、「専門的な調べものの相談に対応できるよう職員の資質向上」では、図書館は利用していない回答者のほうが多くなっている。

[上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		問9 サービスの期待									
		本や雑誌の品ぞろえ	特にビジネスや雑誌の活品ぞろえ	特に健康づくりや防災に役立つ本や雑誌の品ぞろえ	特に資格取得や学びの品ぞろえ	電子図書館の品ぞろえ	図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会	図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会	さまざまなセミナーや相談会で学ぶ機会	新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談	専門的な調べものの相談に資質向上
問 8 図書館活用の役立ち	図書館を役立つと感じている	県 N=904	593	190	109	168	276	188	125	123	169
			65.6	21.0	12.1	18.6	30.5	20.8	13.8	13.6	18.7
		市 N=343	228	62	49	82	84	87	48	57	80
			66.5	18.1	14.3	23.9	24.5	25.4	14.0	16.6	23.3
		合計 N=1,247	821	252	158	250	360	275	173	180	249
			65.8	20.2	12.7	20.0	28.9	22.1	13.9	14.4	20.0
	図書館を役立つと感じていない	県 N=184	92	16	25	27	57	35	20	25	37
			50.0	8.7	13.6	14.7	31.0	19.0	10.9	13.6	20.1
		市 N=87	49	14	13	20	22	10	10	13	11
			56.3	16.1	14.9	23.0	25.3	11.5	11.5	14.9	12.6
		合計 N=271	141	30	38	47	79	45	30	38	48
			52.0	11.1	14.0	17.3	29.2	16.6	11.1	14.0	17.7

※図書館を役立つと感じている回答者の合計と図書館を役立つと感じていない回答者の合計との比較で、10ポイント以上多くなっている箇所の色付け

図書館を役立つと感じている回答者、図書館を役立つと感じていない回答者ともに、「本や雑誌の品ぞろえ」に期待する割合が最も多くなっている。

図書館活用の役立ち別に比較すると、「本や雑誌の品ぞろえ」、「特にビジネスや就職活動に役立つ本や雑誌の品ぞろえ」などでは、図書館を役立つと感じている回答者のほうが多くなっており、「特に健康づくりや防災に役立つ本や雑誌の品ぞろえ」、「電子図書館の品ぞろえ」などでは、図書館は役立つと感じていない回答者のほうが多くなっている。

5.14 クロス集計【問 7】×【問 8】×【問 9】

【問 7】情報の入手方法「オーテピア高知図書館」×【問 8】図書館活用の役立ち「(おおむね)そう思う」×【問 9】サービスの期待 [上段:票数(票) 下段:構成比(%)]

		問9 サービスの期待								
		本や雑誌の品ぞろえ	品ぞろえに役立つビジネスや雑誌の活用	特に健康づくりや防災に役立つ本や雑誌の品ぞろえ	特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ	電子図書館の品ぞろえ	図書館の業務に生かすための活用方法を学ぶ機会	さまざまなセミナーや相談会で学ぶ機会	新しいコミュニケーションツールの活用した調べものの相談	専門的な調べものの相談に対応できるような職員の資質向上
問7×問8 情報の入手方法（オーテピア）×図書館活用（おおむね）そう思う	県 N=200	154 77.0	56 28.0	25 12.5	36 18.0	71 35.5	35 17.5	24 12.0	20 10.0	30 15.0
	市 N=98	76 77.6	21 21.4	12 12.2	22 22.4	22 22.4	26 26.5	12 12.2	19 19.4	25 25.5
	合計 N=298	230 77.2	77 25.8	37 12.4	58 19.5	93 31.2	61 20.5	36 12.1	39 13.1	55 18.5

※県と市との比較で、3ポイント以上多くなっている箇所の色付け

情報の入手方法はオーテピアで入手し、図書館の活用は、業務に役立つと感じている回答者のうち、県の回答者、市の回答者ともに、「本や雑誌の品ぞろえ」に期待する割合が最も多くなっている。

情報の入手方法別に比較すると、「電子図書館の品ぞろえ」、「特にビジネスや就職活動に役立つ本や雑誌の品ぞろえ」などでは、県の回答者のほうが多くなっており、「専門的な調べものの相談に対応できるよう職員の資質向上」、「新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談」などでは、市の回答者のほうが多くなっている。

6 関係機関・団体【問 7】 事例

6.1 調べものの案内(レファレンスサービス)

- (ビジネス支援サービス)事業者から寄せられた海外の労働者人口等の問合せについて、補足資料がないか伺ったところ、海外現地のサイトにもあたって調べて下さったこと。大変、助かりました。

6.2 貸し施設(ホール・研修室・集会室)

- 当院は、市中心部からややアクセスしにくい場所にあるため、研修会の参加者層が限定されてしまうという状況であった。しかし貴施設の貸し施設を利用して研修会を開催することで、幅広い参加者層へアプローチすることが可能となった。
- 貸し会場：市内中心部にあるため便利。
- 昨年6月に企画展示及び、セミナーを開催させていただきました。(別紙)。知的財産は、一般の方は触れる機会が少ないと思いますが、PR する機会、場所を提供していただき、改めて、お礼申し上げます。
- 講演会を行った際に、いつも違う方に参加していただきました。たくさんの方の目にふれる、利用しやすい施設であるからだと思います。

6.3 チラシやパンフレットの館内設置

- 認知症関係(3F-13?)の書籍の上にパンフレット・チラシ等置いて下さったことありがとうございました。9 月下旬、知人でしたが講演会のをチラシをもらってきたよ・・・と電話頂きました。困難を抱えた方は、吸い寄せられるように3F の書棚に向かいます。そこにタイミングよく、持参できる情報紙(誌)があることは、とてもありがたいことだと思います。

6.4 貴重資料の画像データの提供

- 当初、会報表紙として長年写真のご提供をいただいた。好評でした。有難うございました。

6.5 貸し施設でイベントを開催する際の関連本展示

- イベント開催時の本の貸し出しサービス。イベント参加者が学習を深めることができた。
- リハビリテーションの書籍紹介。11 月に転倒予防に関するイベントを行う予定。

6.6 出前図書館の実施

- 貸し施設サービス、出前図書館の実施サービスは、研修会での学びに加えて、関連書籍があるおかげで、更に学びを深める機会になったり、モチベーション向上、スキルアップに役立っています。

6.7 図書館活用方法の説明のための講師派遣

- セミナーで貴館を使わせていただいた折、詳しく図書館の利用方法等をご説明頂き、主催者にもとても役立つ内容で良かったと思っています。

6.8 イベント、セミナーに参加して良かった等

- 以前、読売新聞大阪本社の方が「ヨミダス」の講習をしてくださり参加しました。大変、勉強になりました。機会があれば、また参加したいと思います。また、映画の上映会も良かったです。古い日本の映画をよろしくお願いします。

6.9 専門知識の取得ができた等

- 本校学生が図書を借りたり、学習等の調べものをするために、利用させていただいております。
- 業務に必要な専門知識や、最新な情報を得ることができた。

6.10 オーテピアを通して、業務の周知に役立った等

- 消費者月間(毎年5月)中のパネル展示、およびチラシ配布
- 「がん相談会」に共催で参加させていただき周知に繋がりました。又、展示コーナーへの展示もさせていただきありがとうございます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。
- 本年度は、8～10月にかけてオーテピア高知図書館にてパネル展やがん相談会を開催させて頂きました。これらを通して、より多くの人にがん相談支援センターという相談窓口を知ってもらう機会に繋がった他、癌患者が抱え込みやすい不安についての各トピックスを取り上げ、こうした内容の相談はがん相談支援センターで受けることができることも知ってもらえる機会となったように思います。特に妊よう性温存については、がん治療の前に考える必要があるのがん患者以外の人にも知っておいて欲しい内容でした。不特定多数の人が利用される図書館内で、資料展示をさせて頂くことで、患者さん以外の人の目にも触れることのできる機会となり、少しでも多くの人に妊よう性温存という言葉を知ってもらうことができたのではないかと思います。

6.11 その他

- 当拠点で直接役立っている事例はないが、当拠点の相談者に、こういう役立つ所があると情報提供し、活用している事例はある。
- 学生の資料検索、教員の教員力向上
- 支援企業のマーケティング調査、業界動向の把握(M パック、CDEyes)、支援企業の新聞記事コピー
- 企業との商品コラボで、高知歴史上の偉人を調べ、デザインに反映させて頂いた。
- コロナの影響もあり、実現には至ってありませんが、コラボ企画について具体的にお話を進めることができました。又、機会を設けて実現できればと思っています。
- さんさんこうち、コトノハなどに掲載していただいたり、相談会当日には館内アナウンスをしていただいたり、非常にありがたいです。ありがとうございます。
- 医療関係の専門書(法律等)の蔵書については、資料作成によく利用しており、とても役立っている。
- 学生は課題の参考として何冊か専門書を借りてきて、「この本を学校の図書に置いて下さい」と推薦してきましたので、実際、購入したことがあるという程度です。
- 授業で書籍の活用

7 自由意見

7.1 「アンケートでサービスや取り組みを知った」「今後、利用・活用していきたい」等

【関係機関・団体】

- サービスや取組内容について知らないことが多かったので、今後は日頃から関心をもって業務に活かせればと思います。
- コロナ禍が落ち着いたら、市民公開講座や会員への研修会に施設をお借りしたいと思いますので宜しくお願いいたします。
- 大変、魅力的な業務に役立つサービスが多数あるので、機会があれば活用させていただきたいです。
- ガイドブック等を拝見して、色々なサービスがあることを知れたが、業務では活用ができていなかったなので、これからは積極的に活用したいと思います。
- 豊富にあるサービスを、今後は上手く利用できたらいいなと思っています。
- まだまだ、十分活用できていません。

【関係機関・団体_学校】

- いつもお世話になっています。配布して頂いている資料・印刷物や HP などわかりやすく、参考にさせてもらっています。遠方の為、なかなか行く機会が少ないのですが、いろんなサービスを利用したいと思っています。今後ともお願いいたします。
- 現在は、使用させていただくことが少ないが、今後は検討していきたいと考えております。
- せっかく素晴らしい施設ができているのに、まだまだ個人としての活用しかできていないので、ぜひ、今後は授業づくりなどにおいても教職員が活用できるよう自分自身もまず、図書館の利用を多くしながら、声がけしていきたいと思います。

【バリアフリーサービス】

- 図書館利用は、読書は年齢と共に無理と思っておりました。色々なサービス、利用の方法があることを知りました。
- 人目が気になる。ふいに声が出る等の為、公共施設の利用は積極的には利用出来ません。個室があれば、尚ありがたい。宅配サービスがある事は知りませんでしたので、利用を考えます。情報をありがとうございます。
- コロナで外出もできづらく、目も見えなくなってきました。体が若くないので、昔のように本を借りに行けなくなってきた。写真集とか(昔の高知の様子)なつかしいので、また読みたいと思います。

- 色々な症状に対応する電子機器等の開発ご苦労様です。今後、図書館の利用を考えるよい機会となりました。実際に出向いて試してみたいと思います。
- 自分が知らないことがありました。また、行ってみたいです。
- これからはぜひ、利用したいと思います。
- 今年はコロナの関係であまり利用できていません。コロナが終息したら、おおいに利用したいと思っています。
- 娘に話しておきます。また、娘に連れて行ってもらいたいと思います。ボールペンありがとうございました。
- ヘルパーと一緒に行ってみたい。
- 送迎バス等の利用があれば、ぜひ行きたい。
- 今度、街にでかけたら本を借りたいと思います。
- オーテピア高知図書館に行きたいと思った。
- 今まで利用させてもらったことはありませんが、今後、機会があれば利用させていただきたいと思います。よろしくお願いします。
- オーテピア高知図書館があることを今初めて知りました。
- 学生なので自習で利用したい。動きや声が抑えられない障害のため、席の間隔は広くとって頂きたい。席数が減ってしまっていること、Wi-Fi がつながるため携帯ゲームで利用している人が多数見受けられることで利用できないことが多い。ずいぶん前からオーテピア高知図書館への足は遠のいてしまった。勉強するスペースを確保して頂けるのであれば、また利用したい。
- 目の不自由な人がいても点字図書があったら、指先で触れて読めるように工夫した本だったら、すごく便利だなと思いました。
- 僕は行ったことがないけど、障害のある人でも利用できるというのは良いなと思いました。
- 新しい本をいっぱい借りたいです。
- パンフレットを見て、改めて色々な配慮、サービスがある事を知りました。又、子どもと一緒に行って体感してみようと思います。本に興味を示してくれるかもしれません。バリアフリーサービスが充実していて、本当に素晴らしいと思います。駐車場が2時間無料になるとありがたいです。
- 行く機会があれば中を見たい。見学会など案内があれば行きたい。

- 連れて行ってくれる機会があれば行ってみたいです。
- 機会があれば行ってみたい。利用の仕方が分からない。
- 本人(息子)は、意見は「ない」と言っています。保護者の私は、声と点字の図書館は視覚障害の方のみと思っていたので、バリアフリーサービスのチラシを見て興味がわきました。
- 図書館を利用したいと思っても1人で行くことができない。ひらがな、カタカナは読めるけれど、漢字があまり読めない。など利用が難しいです。サービスがあるのは知りませんでした。もしも、これから利用する時は、このサービスを使って家に届けてくださったり、やさしい言葉で書かれた本を借りて、今まで読めなかった本を読んでみたいです。
- 訪問していろいろ学びたいと思っています。

【行政】

- 今まで利用する機会がなく残念に思っています。今後は、積極的に利用させていただききっかけとなりました。
- 図書館を業務に活用するという意識があまりなく、普段は休日に自分の好きな本を借りに行っていました。業務に関する資料も探してみたいと思いました。
- 職務、プライベート含め活用させていただいています。職務で活用した際は、とても親切に色々気にかけてくださいました。知らないサービスがたくさんあったので、うまく活用していきたいと思います。
- いろんなことをやっているのですね。知らなかったです。現在の仕事ではあまり機会がないですが、事業関係の仕事をする際には、利用させてもらいたいと思います。
- 主に研修室、自習室しか利用していないが、多くの図書館サービスを体験したいと思っています。人気が高く、今後個人的に色々研究してみます。
- 会議等々の活用だけでなく、データベースの活用等もしていきたい。
- 県の出先機関のパソコンでデータベースの利用(資料の閲覧など)ができると、利用場面が増えるのではないかと考える。
- 様々なサービスや取組をしていることを知った。今後、機会があれば利用したい。
- 退職すれば時間的余裕もできるので利用してみたい。
- コロナの影響で今は人が集まるところを避けていますが、児童コーナーでの読みきかせの会に興味もありますし、なかなか紙芝居などの大きいものは買うのも難しいので、コロナが収まれば利用したいと思っています。また、子供がもう少し大きくなればプラネタリウムにも行きたいですし、ネットで予約して近所の図書館分館で借りれたり返却できるのは非常に便利で、よく利用しています。行政職員として利用したことはありませんが、住民サービスとしてはとても満足しています。

- 個人でよく利用していますが、業務で利用できるサービスがたくさんあるのに本アンケートで知り、驚いています。借りた本をどこの窓口でも返却できること、ネット予約できることは大変便利な機能で日々助かっています。
- 様々なサービスがあるようだが、よく知らなかった。もしあまり使われていないならもったいないと思う。利用される方がたくさん居るなら、続けていただきたい。
- オーテピアが完成してから、まだ一度も行く機会がなかったが、今後ぜひ利活用したい。今回のアンケートで各種サービスを知ることができて良かった。多くの人が集まる場所なのでコロナ対策にもより一層留意していただきたい。
- 以前、協賛関係でオーテピア展示の利用を聞いたことがあります。②((注)おそらく「調べものの案内(レファレンスサービス)を指しているものと思われる)は具体的な内容を知りませんでした。今後、図書館の本を活用していきたいと思います。
- 時間内になかなか相談に伺えませんが、資料の作成に必要なデータの有無の調査など、お世話になりたいと思っています。
- プライベートでは子どもの絵本を借りに2週間に1回ペースで使用していますが、仕事での利用は個人的にはなく、課で貸し出ししている状態です。また今後も利用していきたいと思います。
- 非常に魅力ある建物ができ、誇らしく思っています。既存のサービスについて知らなかったことが多く、申し訳ない思いです。宣伝・発信、利用の啓蒙をなお一層お願いします。
- 会議室の利用は、立地的にも便利で、ありがたいです。図書館を利用することが、自身は少ないですが、これを機に、いろいろと活用していきたいと思います。
- いろいろなサービスがあるが、まだ利用出来ていないので、(団体貸し出しサービス等)利用し活用できるようにしていきたいと思います。
- レファレンス、画像提供とも職場のパソコンから見れるようになると、利用も多くなると思います。
- 市民図書館のときは、よく利用させていただきました。オーテピア高知図書館になってからまだいったことがないので、機会があれば行ってみたいと思います。
- 便利そうだなと思いますが、使いこなせてないので、もう少し使い方のイメージがわかるように勉強したいと思います。
- 現在、団体貸出の場合はインターネットからの予約ができないが、オーテピアへ直接借りに行った時に借りたい本の場所が分からなくて探すのに時間がかかったり、欲しいものが分室にあったりすることもあるので、インターネットからも予約できるようにしてほしいです。

- 大学受験生だった息子が学校帰りや休みの日はオーテピアで勉強をしていました。静かではかどったようで、大変感謝しています。アンケートを通じて本を借りるだけでなく、図書館には色々な活用法があると改めて思いました。
- 掲示板でオーテピアでできることを色々情報提供していただいて、拝見させてもらっています。仕事上で相談したいことがあるので、活用させていただきたいと思っています。
- 個人的に、まだまだ活用できることが多いはずなのに、活用できていない感じがします。これからも、オーテピアからのいろいろな情報に注目していきたいと思っています。

7.2 「サービスや取り組み」「手続き・システム・インターネット関連」への要望・提案等

【関係機関・団体】

- 大学の図書館の様な、学術データベース等の提供を希望する。
- 高知県看護協会が行っている無料職業紹介事業所「高知県ナースセンター」のパンフレットを県民(看護職)への広報として置かせてほしい。
- 会議室の利用要件をもう少し容易にしてほしい。
- 高知市以外からデータベースにアクセスでき、調べものができること。
- 県の出先機関で、職員がデータベースを利用できるようにしてもらいたい。

【関係機関・団体_学校】

- 市の各図書館との連携がされており、日々活用させてもらっています。スマホアプリでの本の予約などもできて、とても便利だと思います。
- 本のリクエストの場合、シリーズものは1枚にまとめて請求できるように改善してほしい(1冊ごとだと5冊以上のシリーズは、リクエストが中途半端になる)
- 集団読書について、申込みをオーテピア1本に、受取りは各分館・分室としてほしい。
- 貸出しセットの団体貸出サービスを利用してみたいと思いますが、オーテピアの事をよく知らないなので、利用の方法が分かりません。
- 私個人としては、貴館の品ぞろえに大変満足しております。個人的にも学校的としても、大変ありがたく利用させて頂いています。データベースの活用法について、具体的に教育現場での活用方法について、知ることができればと思います。また、研修室を利用したことのある教員より、可能であれば、団体利用(個人で2時間利用できるものを団体で4時間程度)することができたらという意見がありました。

- 一括貸出ではお世話になった際、とても丁寧に対応をしていただき、感謝しております。また、今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。☆県内の県立学校対象図書の貸出(利用の基本ルール) 貸出期間1か月以内(延長不可)→(延長可)上記のことにつきまして、ご無理を承知で、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

【バリアフリーサービス】

- 本を借りたいけれど、字が小さいと読めない。大きな字の本を、施設にいながら借りられたら良い。
- グループ室を人数限定で開放してほしい。
- 図書館がおおなる園へきてくれたらいい。
- オーテピアで借りた本をコンビニで返却できるようにしてほしい。
- 地域の移動図書バスのサービスを施設関係にも拡げてほしいと思います。
- 自分は活字は電子書籍ですましている。
- 西久万ですが昔、移動図書館が来ていました。足のないものには、バスよりすぐ近くまで来る図書もほしいです。最近、高知新聞にもニュースがでていました。

【行政】

- やっているかもしれませんが、利用手続きのデジタル化。
- WEB ページで蔵書検索して予約、オーテピアで受取という利用を主にしています。検索一覧のチェックで複数を予約かごに入れられるようになると便利です。また、アプリにある読書通帳を WEB ページでも活用でき、CSV ファイルにダウンロードできるようになれば借り受け履歴を保存できるので嬉しいです(「借りている資料」の印刷画面をコピーしてリストを作るのでそれほどの手間ではないのですが、時々忘れてしまうので)。
- 業務に関する相談をできる窓口(メール等)を作してほしいです。必要なデータが存在するかどうかが分からない時に、こういうものはありますか?と気軽に聞ける窓口がほしいです。
- オーテピアに行かなくても様々なサービスがもっと利用できるようにする。具体的には、ネットでの活用の充実と、各地域のふれあいセンター等にある図書館でネットで注文した本当の貸出し返却体制の充実していく等の取り組みなど。
- 蔵書検索はとても便利です。さらに使い勝手がよくなるといいですね。

- 職員として・AI 等で関連書籍やオススメ書籍が表示されると便利。県民として・リアルタイムで駐車場の混雑状況がネットで検索出来ればいい。・マイナンバーカードを貸出カードの代替にできればいい。・もっと幼児・児童の遊ぶスペースなど育児中の保護者に対する配慮した設備があればいい。
- 学術雑誌も読めるよう電子ジャーナルの契約をして欲しい。
- 貸し出し延長は一括でできる様になって便利になったので、検索や本棚について、一括して予約できるとよい。
- 出先だと移動時間がもったいなくて行けないので、電子サービスに期待します。
- 電子図書館をどんどん充実させてほしい。写真なども含めた高知の過去の資料等を全県的に閲覧できるようにしてほしい。(公文書館とも連携?)
- 県の出先機関のパソコンでデータベースの利用(資料の閲覧など)ができると、利用場面が増えるのではないかと考える。
- 高知市から遠方の利用者にとって、電子図書の利用は利用しやすくありがたいです。
- 本庁舎に図書の返却ボックスのようなものがあれば助かる。もし、既にあるとしたら、十分に周知されていないので、周知していただきたい。
- 電子図書が Kindle(Kindle アプリ含む)に対応してくれたら嬉しい。
- オープン時は、たくさんの県民が利用され、コロナ禍では過密を避けるため、利用していない状況です。ネット上で活用できる資料があれば、業務上も活用しやすい。ご検討ください。
- 図書館に行く事の無駄(時間・交通費・駐車場代)と近年の技術開発を考えると、図書館の縮小化に伴い電子図書館化をすすめます。
- 業務は専門分化しており、業界で働いた経験のない司書ではアドバイスレベルに限界がある。現在の司書にいったん外の世界で働いてもらうとか、リタイア世代を司書に採用するとか、専門性を向上させる方策を考えてください。
- 県外の図書館では、本を除菌する機器を備えて、本を借りる際に除菌してから借りることができるところがあります。オーテピアには設置してもらえたらと思います。また、新型コロナウイルス感染症をきっかけに電子書籍の登録をしたのですが、品揃えが少なくて読みたいと思う本が数冊しかなくて残念でした。ただ、電子書籍は借りる、返却、予約の手間がかからないので、非常に便利だと感じました。今後、品ぞろえを増やしていただけるとありがたいです。
- 月曜開館してほしい。学生の座席の占用(空席)をなくして欲しい。開架の数を増やして欲しい。図書館員の独自の視点からテーマ貸し出しコーナーを作って欲しい。

- インターネット予約ができるので、活用させてもらっています。オーテピアができて、行きやすくなったし、勉強などにも時々利用させてもらっています。
- まだ利用したことがありません。図書館以外にどのような施設が入っているのかもよくわからず…。図書館で借りた本が、県庁の本庁舎とかで返却できると便利なのですが…。
- 個人で図書館をよく利用しているがサイトの方で予約や貸出し延長をお願いする際に混んでいるのか反応が遅くて反映されるまでに時間がかかるので、そちらを改善して貰いたいです。予約や延長の際に複数纏めてチェック出来る様になったのはとても助かってます。
- 職場研修でDVDを閲覧しようとしたが、研修の場での閲覧は著作権があり、不可とのことだった。県の研修DVDは、職員能力開発センターにあるが、古いものが多い。研修で使えるDVDの使用について何とかならないでしょうか？貴館には、いい接遇のDVDビデオがありました。使用できませんでした。職員能力開発センターからの貸し出しでもいいので、対応できるようにお願いします。
- 検索機能が不十分。全体的に利用者視点が欠けている。
- 新聞記事や法情報、農業情報、商圈分析企業情報、市場動向などを調査できるオンラインデータベースを導入・提供しています。⇒使い方を周知徹底して欲しい。
- 町中なので、返却するときにラッシュ時のため脚が向きにくい。各市町村窓口でも、返却箱には返却できず窓口受け付けであり、市町村窓口は18時頃に閉まってしまうので、返却のタイミングを逃し易い。ツタヤのようにコンビニ返却など、夜間でも自宅近隣施設で返却できるようなシステムを導入してほしい。
- 新聞データベースは検索ができて使いやすいので今後も充実をお願いします。
- 貸し室の予約をもう少し公平にしてもらいたい。
- 調べ物や業務に関わる知識向上のための書籍の貸し出しなどに興味はあるのですが、出先機関であり、業務時間中に図書館分館等に向かうのはなかなか難しいです。可能であれば出先機関までの郵送や生協便・メール便を利用した貸し出し・返却の制度などがあればうれしいです。
- 貸し施設の開館時間を8:30に早めて欲しい。
- 公務で使用する場合は、メール等で予約すれば庁内メール便のように直接図書館まで行かなくても貸出しや返却ができるようになれば使いやすい。
- オーテピアの専門書や雑誌が業務で非常に役に立っており、事業者には3階のデータベースの紹介などをすると喜ばれる。ぜひもっと活用方法の情報発信をしていただけるとありがたい。

- 外向きの発信が少ない気がします。ホームページをもっと使いやすくしてほしいです。また、本の検索エンジンが、少し違うと出ないので、グーグルまでは行かなくても、もっと幅広く検索に引っかかるようにAI機能を取り入れてほしいです。
- 地理的に遠く、電子図書館のみ利用しています。すごく便利なので、今後の品ぞろえに期待します。
- 予約した本をもう少し早く手元に届くようにしていただきたいです。
- 貸出・返却場所を増やしてほしい。
- お薬手帳のように、自分の貸し出し履歴がわかるようなシステムの構築。
- 市役所に返却ボックスを設置していただき助かっております。
- オーテピアのアプリの予約サービスがすごくよかったです。
- 市役所本庁のコンビニに本の返却ボックスが設置され、大変便利になりました。回収が手間だとは思いますが、今後も設置を継続していただけるようお願いいたします。
- 貸出期限までに本を返さない人がいて、困ることがあるので、ペナルティを厳格化してほしいです。今はほとんどペナルティがないようなものなので。
- レファレンス、画像提供とも職場のパソコンから見れるようになると、利用も多くなると思います。
- 高知市の施設でもあるため、会議室の利用申請の手続きについて他団体と同じかたちではなく、もっと簡易に使いやすくなれば利用しやすいと思う。
- ホームページに質問6～17の活用法があると紹介してもらいたい。普通の職員は知らない。そして行政事務支援システムから図書館のHPは閲覧できないことも問題。本の検索の際、新刊からでも構わないので、「試し読み」的な機能を付加できないでしょうか。
- アプリを活用して、読みたい本を予約できるようになって便利になったと思います。
- 個人の本はインターネット検索・予約ができるのでありがたいです。業務で使う分もインターネット検索・予約ができると探しやすいし便利です。

7.3 「利用していた感想やお礼」「利用している」等(分室・分館を含む)

【関係機関・団体】

- いつも、ありがとうございます。
- 移動図書館月1回程度。
- 今後とも、よろしくお願いします。

- 落ち着きがあり良いが、個室での高校生の様子が気になる。(寝ている)
- 問9は現状以上に、ということでしょうか？あらゆる面で努力されているし、活用しやすい図書館です。

【関係機関・団体_学校】

- 団体貸出等お世話になっております。予算が限られている学校としては、利用者のリクエストに応えるため、物流がよくなって助かっています。データベースの利用方法など、個人的に勉強させていただきたいこともあります。今後ともよろしくお願いいたします。
- 市の各図書館との連携がされており、日々活用させてもらっています。スマホアプリでの本の予約などもできて、とても便利だと思います。
- いつもお世話になっています。これからも、よろしくお願い致します。
- いつも、大変お世話になっております。これからも、よろしくお願いします。
- 誰でも利用できるための工夫(点字コーナー、子どもコーナー)がたくさんされていて利便がよい。書物がたくさんあり、本への興味・関心が高まる。特に、〇〇コーナーなど見やすく使いやすいため、今後も利用したい。学校図書館の運営についての相談や児童を対象にした講座を開催していただけるとありがたい。学校ではない資料やデータベースも活用できると、児童も意欲的に取り組めると思う。
- いつもお世話になっています。今後どうぞ、よろしくお願いします。
- いつもお世話になっています。20時まで利用できるようになり、大変うれしく思っています。できれば、子どもコーナーの担当者が閉館までいて下さるといろいろご相談できると思います。

【バリアフリーサービス】

- 明るく清潔で、静かな環境なので行くことが楽しい。
- 時々行くのですが、自分が気を付けて見ないせいかも知れませんが、催し物や館内の案内利用方法などがわかりにくいと思います。大活字本を見るのですが、殆ど小説ばかりですね。分冊になっているので、重くて重くて、何冊も借りられません。雑誌はなくなっているのが多いようで心が痛みます。何とかならないものでしょうかね。広々として、とても「ぜいたく」な時間が過ごせて、素晴らしいと思います。これからも、もっとゆっくり訪れたいと思っています。
- キレイでいろんな本がたくさんあると思いました。
- 本の種類が多いし、プラネタリウムの部屋がある。自分では購入できないような本があるので、調べものをするのに良い。以前と比べて、館内が明るい。職員の皆様に感謝します。コロナ禍のなかでするので、お体を大切にしてください。

- 昨年、福祉機器展に参加したが、とてもよかった。その時に、卓球体験があり知的障害がある人と一緒にゲームをしたのがとても楽しかった。自分は情報や、本(読書)は、PC(インターネット)を利用している。直接に行かなくても、自宅のできるので、そのほうが楽です。
- 今まで2度行きましたが、他の図書館と違い本の借り方が楽で早いと思う。日・祝日に行くが、駐車場が混んでいる。
- とてもおもしろかった。
- オーテピアのプラネタリウムがきれいだった。
- いろんなものがあって、すごく楽しかった思い出があります。また、行きたいです！
- 週に1回は利用させていただいています。利用しやすく非常に喜んでいます。
- 息子と一緒に行ったのだけど読みたい本が沢山あって一人で来たらと思った事でした。
- 時々、友達とこの場所へ行っています。
- きれいな図書館ができてうれしいです。スタッフの人たちも親切でした。
- オーテピアというのは、古典的な図書館というよりは、万人向けの、本のテーマパークという印象を受けます。建物内がとても清潔なのは、とてもよいことだと思います。必ずしも平明な本ばかりを揃えなくてもいいと思いますよ。
- 普通免許を持ち、車もあるが使用やめたので、瀬戸東町から図書館まで行くのが億劫で、昨年から行っていない。通っていた時は、館内が古くさくなく明るく感じがよかった。
- さいさい利用させていただいています。
- 満足しています。
- iPhone や PC について分からない事を教えてもらえる。視力障害者の方に直接に教えてもらえたので良かった。

【行政】

- 開館時間も長く、また、ネットでの予約や書籍検索などできるので利用しやすく、いつも活用させていただいています。
- 業務で利用したことはありませんが、プライベートでよく利用しています。自分で目当ての本を探す時間がかるので、予約サービス(蔵書の取り寄せや入り口の予約棚への移動等)とても助かっています。いつもありがとうございます。
- あまり利用したことはありませんが素敵な場所だと思います。

- いつも大変フレキシブルに対応くださり、司書の皆さんの専門性も素晴らしくとても助かっています。現オーテピアがある高知と、無い高知では、業務の質も、地域の文化レベルも格段に異なっていたと思います。大変感謝しています。
- 以前友人らとの軽い同窓会のようなときに、個室を使わせていただきました。何人かで集まれるところを探していたので、とても助かりました。またもう一度利用する機会があればしたいと思っています。
- 場所も便利で、施設の内容も良いのでよく利用している。今後も続けていってほしい。
- 2～3度利用しました。使いやすいと思います。
- ホールを借りようとしたことがありますが、駐車しづらいかと考え断念しました。イベントの周知にはポスターを貼っていただいたりご協力いただいて有り難いです。広報には今後も活用したいと思います。職員さんは非常に親切に対応してくださっていると思います。過去のことを調べたり、制度を調べるには図書館が役立つのですが、今県民の方がお困りのことを知るには、実際人と会ってお話を聞く方が良いかと思い、あまり仕事上で図書館の本を活用できていないです。
- 時々利用するが、職員の対応もよく、利用者にとっていい施設となっている。
- 貸し出し図書冊数、来館者数 日本一おめでとうございます。繁華街にあるので、待ち合わせの時間つぶしには最高の施設ですね。他も、すべてにおいて素晴らしいと思います。栄誉を守り続けて行けるよう頑張ってください。
- 場所が遠いので活用する機会が少ない。利用したときは空間が広々としていてゆったりと過ごせた。
- 環境が良く、長時間滞在できる。個人としての利用を考えており、業務に直接利用する事は考えていなかった。
- 高知新聞データベースのサービスはありがたいと思っています。公私ともに利用したことがあります。
- いつも大変お世話になっております。オーテピアで学生さんが勉強に励んでいる姿を見て、微笑ましく思います。本、施設設備、サービスが充実していて、ありがたく思っています。
- 静かで素晴らしい環境であると思います。
- 大変便利になり、満足しています。
- いつもお世話になっております。開館した当初よりも、本の種類・冊数が充実してきたことに感謝しております。また、座席数も充実しておりますし、個別研究室も利用させていただき、充実した時間を過ごすことができました。大変快適な環境の中、本にふれあうことができ、嬉しく思っております。これからも、利用させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

- 仕事では、まだ利用したことはありませんが、プライベートでよく利用させていただいています。
- 科学館も併せて、オーテピアへはよく来訪しています。読書スペース等が充実していて、文化に触れる貴重な時間を過ごすことができます。駐車券にプリペイド制度があったり、活用したらポイントを取得できるシステム(ポイントは駐車料として使える)があると楽しいなと思います。まずは、県民がオーテピアを身近に感じられるようなしかけがあると活用率がさらに向上すると思います。
- 子供の利用頻度が高く、大変助かっている。職員は大変でしょうが、頑張ってください。
- 学習室を何度か利用し勉強しましたが、Wi-Fiもあり、一日中ゆっくりと勉強できました。学生のころにあったらよかったなと思いました。
- 科学未来館や各種イベントの参加のとき利用させていただいています。広々として清潔で、展示も興味深く、とても使いやすい。街中にあることも、相乗効果で魅力的だ。仕事や個人でも、忙しいが、もっと利用したい。いつもお世話になりありがとうございます。
- よく利用させていただいています。有り難うございます。
- 仕事関連というより、子連れでよく利用していましたが、コロナ禍のため、あまり行かなくなっていました。また、長時間の利用を控えるようになりました。また、ゆっくりオーテピアで過ごせるようになりたいです。
- 以前から比べると随分明くて利用しやすい雰囲気になりましたが、平日は仕事ですし日曜日は日曜日とかで人が多く駐車場にも入れない状況なので中々行けないです。仕方ないですが。
- サービスについても調べ物の部屋や勉強室もあり学生が開館時間に並んで入るのを見るとまあ利用しやすいのではないかと思います。
- いつも気持ちよく利用させてもらっています。
- 高知市民図書館及び高知県立図書館時代から利用させていただき、すでに35年になります。進学、就職といった人生のあらゆる場面において、また余暇において、第一選択肢として図書資料を手にとっております。私にとって図書館はなくてはならない大切な存在です。3年ほど前まで頻繁に業務で団体セット貸出も利用させていただきました。業務に大いに役立ちました。無理なお願いや相談も快く受けてくださり、今でも深く感謝しております。現在の業務に係る資料も、個人カードで借りて勉強しております。今のサービスで十分満足しておりますので、どうぞ職員の皆様のご体調やご健康を第一に考えられて、引き続き私たち市民にお力をお貸しください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- いつも利用させていただいております。ありがとうございます。
- 常に利用しています。

- 子どもは活用させていただいています。自分はまだ数回しか行っていません。行くのはいつも人がいっぱい敷居が高い印象です。いろいろな利用の仕方も改めて知りたいと思いました。
- 提供サービスが充実していると思います。
- 子供の本をよく借りていますが、たくさんのジャンルの本があり、楽しめています。
- 高齢化社会に対応した分館・分室の充実。
- 毎週お世話になっています。知りたい事・知識深めるために利用させてもらっています。新しい本もたくさんあり、とても助かっています。これからもよろしくお願いします。
- 2階の入り口付近でテーマごとにいろんな本が置かれているのが、行くたびに知らない本や気になっていた本と出会えて楽しいです。これからも楽しみにしています。
- いつもお世話になっております。

7.4 館内(環境・設備・誘導案内等)と駐車場

【関係機関・団体】

- 外国語図書や日本語学習教材の場所を外国人が1人で行っても、たどり着けるような工夫を希望します。

【バリアフリーサービス】

- オーテピアでゆっくり本を調べたいですが、駐車場の使用時間(無料)が短いので残念です。無料で、もう少し長く利用出来ると行きやすいです。
- 車が停めやすければ利用したいのですが。
- 利用したことはないが、見たところ駐車場が少ないか、分かりづらい。30分間、無料にするとか、利用しやすくなれば行くかも。市民図書館の移動バスを月一回利用している。便利で助かっている。
- 快適に利用させて頂いております。週末、祝日、休日等は学習室が学生さんですぐいっぱいになるので、席数多目だといいかなと思いました。
- 広々としていて、トイレも何か所もあり、きれいで居心地が良い空間になっていると思います。
- 駐車スペースを増やしてほしいです。
- 買い物カートに荷物をのせて移動する時に、点字ブロックに下にあたる時にスムーズに移動できないことが不便。

- 時々、前を車で通るけど、車の入り口が分からない。まわりの駐車場が混んでいる時など考えると、車を停められなかったと迷ってしまう。
- 自習スペースがすごく集中して学習できて良かった。
- 楽しく行かせてもらっているが、駐車場代を安くしてもらいたい。
- 2F と 3F の面積が広すぎて、どの本がどこにあるか分からない。
- 学習ができる階が机に書いているので、図書館にはいってどこの階に行けばいいかがすぐにわかるようにしてほしいです。
- 学生なので自習で利用したい。動きや声が抑えられない障害のため、席の間隔は広くとって頂きたい。席数が減ってしまっていること、Wi-Fi がつながるため携帯ゲームで利用している人が多数見受けられることで利用できないことが多い。ずいぶん前からオーテピア高知図書館への足は遠のいてしまった。勉強するスペースを確保して頂けるのであれば、また利用したい。
- 日曜日が駐車場が少ない。ほかの人が利用するため。
- 知的を伴う自閉症の方などでは、自然と声が出てしまうことがあり、静かな図書館ではめだってしまい、行きにくい。月や週に数時間でも、声を出してもよい図書日などを設けていただくと、とても行きやすい。(また、声を出してもよい防音部屋とかあれば、付き添いの方も利用しやすいと思います。)
- 駐車スペースが空いているか心配。行った時、停められるか不安。スクーターは大丈夫だろうかなど。あと、コロナで3密にならないかなど。気になっている。
- パンフレットを見て、改めて色々な配慮、サービスがある事を知りました。又、子どもと一緒に行って体感してみようと思います。本に興味を示してくれるかもしれません。バリアフリーサービスが充実していて、本当にすばらしいと思います。駐車場が2時間無料になるとありがたいです。
- 駐車場(無料)がないので足がにぶる。
- スペースがゆっくりしてほしい。ダンスとゲームの本がもっとほしい。
- 車いすを入り口だけでなく、あちこちに置いてほしい。椅子(休憩)もあちこちに設置してほしい。
- 各階の見やすい所に、各階の見取り図を大きく高齢者にもわかるように書いてほしい。障害者、高齢者(万国記号)も入れて、職員のいるところに「こまったこと」、「ききたいこと」、「なんでも、きいてください」と大きく看板をおいて下さい。どんな外国人がきても困らないように、英語、朝鮮語、タイ語、中国語、ひらがな(日本語)等、表示物には小さくていいですから表示してください。

- 駐車場の完備。
- 車で行きたくても、電車通りから入れず、のうが悪い。駐車場代が1時間しか無料じゃないので、ゆっくり本を選べない。停め方も分からない。
- 明るく開放感があり、とても好きな場所です。要望としてはDVDとかあるんですかね。映像を見たりできる部屋があればいいかな。というのと、学生さんが・・・あちこちにいらっしやるので、ちょっと落ち着かない時があります。学習する部屋を別に分けてもらいたいですね。
- 人が多くて、アナウンスが聞こえづらい。
- 検索しても書架の場所がわからなくて迷うことがたくさんあります。
- オーテピアが広すぎて分からない。案内の人がいたらいいと思う。

【行政】

- スタッフの対応をもう少し親身にしていただけたらと思う。蔵書検索 PC で検索した本の位置がわかりづらく、探し出せない。検索 PC から出てくる紙の本のコードと、館内の本の案内マップを見直してほしい。
- 自習室や館内の椅子が中高生でいっぱい使えないときがあります。座席数を増やして欲しいです。
- 駐車場にスムーズに入れると良い。
- オーテピア高知図書館はサービスが豊富で素晴らしいと思いますし、それを十分活用できていない自分ももったいないと感じます。あえて難点を挙げるとするならば、車で利用しづらいことです。利用者の増える土日は駐車場に入れるまで時間がかかるうえ、機械式の駐車場に案内されてしまうと出し入れに結構な時間がかかってしまいます(稼働している様子を見るのはおもしろいですが)。近隣に提携駐車場があるのは知っていますが、やはりオーテピアそのものに駐車場がたくさんあればな、と思います。
- 駐車場が広くなり利用しやすくなった。
- 自転車で訪れる者のことをもっと考えてほしい。自転車置き場が入り口から遠い。
- 夏場などの自主学習スペース(M5 階仮設学習室も含め)が満席で利用できない事が何回あったので、できましたら、利用率が高い時は、別室を追加するなどしていただければ、ありがたい。
- 遠いので行きにくい。駐車場の利用方法など教えてください。
- 駐車場の障害者割引または無料化を望みます。

- いつも利用するが、蔵書を図書館内で見つけるのがとても難しい。蔵書の番号と、図書館内の場所を一致させるのが、素人ではできない。
- 月曜開館してほしい。学生の座席の占用(空席)をなくして欲しい。開架の数を増やして欲しい。図書館員の独自の視点からテーマ貸し出しコーナーを作って欲しい。
- 図書館利用者として、内部職員の対応は、親切・丁寧だと思う。ただ駐車場担当職員は、満車の場合の説明が不十分に感じる時がある。
- 仕事が忙しく、開館時間に行けない。出張貸し出しサービスがあれば便利だと思う(コストと手間的に無理だと思うが)。また、自宅が高知市外のため、休日にオーテピアを利用するためだけに高知まで出てくることがない。駐車場が広くて、かつ無料で使えて出入りがしやすければ利用するかもしれない。
- とても素敵な図書館で、ありがたく利用させていただいており、子どもや若い子が多く利用しているのも素晴らしいと思います。中3階や中4階に借りたい本が多くあり、目的の本は検索できるのですが、できればそのコーナーを眺めて選びたいと思いつつ、立ち入りにくい(フリーオープンの日はあるのでしょうか?)のが少し残念です。
- 2度利用したが、見たい本を探すのに時間がかかるので、あまり利用したくない。また、座席には、ほぼ学生が座って勉強しており、着座してゆっくり本を読めない状況。学習スペース化している。PCで検索・読書ができる機器・スペースを充実してもらいたい。貸出ホール等をやめて、読書スペースの増設を望む。
- 施設の利用者は、最初の60分→120分まで無料として欲しい。
- 駐車場の無料時間を延長してください。30分では本を探すことができません。
- 駐車場情報を積極的に発信していただけるとよい。駐車場がいつも混んでいるように見えるため、入ってみることができていない。
- いつもお世話になっております。開館した当初よりも、本の種類・冊数が充実してきたことに感謝しております。また、座席数も充実しておりますし、個別研究室も利用させていただき、充実した時間を過ごすことができました。大変快適な環境の中、本にふれあうことができ、嬉しく思っております。これからも、利用させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
- 新聞紙等でもとりあげられていたが、調べ物があっても図書館にいても、座る席が学生で占拠されていて、座る場所もない。勉強のための学生の利用は別室とするよう、職員が声をかけるべきではないか。
- 駐車料金の割引時間を2時間に延長すれば、もっと利用者がいるのでは。
- 快適な空間づくりや積極的な情報発信によく取り組まれていると感じている。

- 県立図書館の頃はインターネットコーナーがありましたが、今は端末持ち込みとなっているので、持っていない方は閲覧できなくなっています。インターネットコーナーは必要だと思います。
- とても使いやすくいつも利用させていただいています。仕事上、沢山の本を貸りる時に、駐車場からカート利用ができればありがたいと思います。
- 図書館に入ろうとしても駐輪場が満杯で帰ったことがあるので、駐輪場をもっと拡充して欲しいです。
- 2週間ごとに個人的に利用させていただいています。仕方がないことですが、車を停められないことが多いので駐車場スペースがもっとあればいいと思います。
- コロナの関係からも館に本の消毒等ができる機械を設置して安心して手に取れる体制にしてもらいたい。
- 日曜市が開催されているときのオーテピアへの入口が分かりにくい。
- 館内にいることが証明できるなら2-3時間は駐車場が無料だと利用しやすいです。(1時間ではある程度目星をつけて行く事になるので、その場で目に付いた本を見るのが難しい)
- 検索機の結果を印字して本を探そうにも、本棚の位置が館内の地図を見てもすぐにわからないので、印字内容をもっと明確にして欲しい。
- とにかく探しにくい。どこの棚にあるかわかるようにしてほしい。
- 駐車場の拡大。

7.5 図書館利用を増やすために「期待する情報発信や企画、取り組み」等

【関係機関・団体】

- 距離的なこともあり利用していないのが現状です。職員の研修会等でアピール(活用方法)してもらうと、チラシを読むよりは効果的ではないかと思います。

【関係機関・団体_学校】

- オーテピアで利用者カードを登録して本を借り、市町村図書館で返却が可能な事を知らない人が多いです。郡部へ住む人達へのアピールがもう少しあれば良いかと思います。
- コロナ禍の中、いつも安心して利用させて頂いています。今は難しいと思いますが、幼児・児童向けの楽しいイベントや絵本作家を招いてのお話会等、子ども達がワクワクするような企画をどんどん計画して頂きたいです。子ども時代の楽しい経験は中・高校生…大人の読書好きにつながると思います。

【バリアフリーサービス】

- 情報不足もありますが、もっと気軽に足を運べるような分かりやすい情報を提供していただけたらと思います。
- 肢体と視力に難がある為、活字離れの生活ですが障害の種別にかかわらず利用しやすい施設であってほしいです。コロナウイルス感染状況が落ち着いたら様々なイベントや図書にこだわらず文化的な発表や発信を期待しています。
- もっと多くの人々に知って利用してもらう事ができるように、街の方へ声かけして町内も利用するようにしてください。お願いいたします。
- 行ってよかった。また行こうという雰囲気 of 図書館にしてほしい。特に視覚障害者が来館した時には声をかけてもらいたい。重要なお知らせは単独で発送してもらいたい。例えば、すばると一緒には送らない。ボランティアと利用者の交流会をしてほしい。希望を出したときそれは出来るか出来ないか言ってほしい。出来るなら、いつ頃出来るか、出来ないならその理由。
- オーテピア高知図書館や高知声と点字の図書館には何度か行ったことはありますが、イベント会場や目的場所に行くだけで館内はよくわかりません。私も高知声と点字の図書館の内部の様子や機器展示など触ってみたいですが、今のところ自由に出かける機会がないです。私の希望としては、ゆっくり時間をとり全館を視覚障害者でもわかるような説明をしていただいて、館内の様子を頭の中に記憶させたいです。それが次にオーテピアを利用するときの予備知識になると思います。
- イベントやコンサートをしてほしい。

【行政】

- 小説など業務に関係ない本を借りるなど個人的には良く利用しているが、行政支援サービスについて具体的な内容は良く知らなかった。もっとPRしたら良いのではないのでしょうか。
- 既にあるかも知れませんが、オーテピア高知図書館のサービス内容を紹介する分かりやすいパンフレット等の作成と配布をしてはどうでしょうか。
- 蔵書が充実しており、読みたい本が苦勞なく手に入る環境が整っていることはすばらしいことだと思います。図書館は「借りる・返す」だけではないということを、もっと広く一般の方に知っていただけるように、PRが必要だと思います。
- 今回のいくつかのサービスは新採研修の際のアナウンスの際に知りました。今後もこういった案内の時間や通知が定期的にあると、業務での使用につながりやすいのかなと感じました。

- レファレンスサービスやデータベースの提供サービスにより、どの様に業務活用できるのか、具体的事例(集)の公表・公開があれば、より利用が増えるのではないかとと思われる。
- 子供や学生向けの企画はよくありますが、図書館に行く機会の少なくなりがちな大人が気軽に参加できるような企画を立ててその広報にも力を入れてほしいです。
- 展示内容やスペースの貸し出し等、色んな方々に知って貰えるよう、もっと詳しい広報をして頂きたい。
- 本庁勤務の時には旧県立図書館でデータベースを使わせていただいたり市町村広報の閲覧をしたり大変お世話になりました。現在は遠隔地で勤務のため、そうした利用ができなくなりました。業務外で今でも古い市町村広報を見たかったりしますが、さすがにそうした資料の取り寄せは難しいですね。本庁の業務では図書館の利用価値は非常に高いと思われるので、今後とも所属メールでの広報は続けていただきたいと思います。
- オープンイベントを成長させ、市民県民主体のものやそれらを発展させていけるような息の長い取り組みにも挑戦していただけたらと思います。
- 県庁職員が業務に図書館を活用している場面をあまり見ません。情報発信はされていると思いますが、県庁職員向けの研修に図書館活用の時間を設けるなどしてはどうかと思います。
- 庁内一斉メールでどんなことを出来るか知りました(が、アンケート内容を見るとまだ知らないこともあるのだと分かりました)。それに、改めて指摘されるとイベントを催すときに支援が頭にうかばないことも分かりました。何年かおいたらまた同じメール内容でも送付をお願いします。いつもメールありがとうございます。
- 個人的な利用に関しては特に気になることも無く大変満足している。行政利用については、どういうときに使ったらいいのかよく分かっていない。そもそもどんなことができるのかを職員研修などの場で周知すればよいのではないかな。
- 中央部付近以外に住む者にとっては利用しようとは思わない。郡部の者が利用するには、どのようにすれば便利かを教えてもらいたい。既にその情報が掲示されているかも知れませんが。
- 仕事に使えるという認知度の向上、web 発信。

- 今後、社会は人生100年時代を迎え、働き方も複数の仕事をしたりといった、多様な形態に変遷しつつあります。ひとつの会社で定年退職を迎え、あとは年金暮らしという人生設計はすでに破綻目前となっています。そういった社会情勢を踏まえ、県民の方々が豊かに暮らせるようになるための、「知」の補助をすることも図書館の役割だと考えます。副業、マルチワーク、資産形成、資産運用などに関するものから、今後の社会変遷の参考となる情報誌を拡充していただきたいと思います。図書館が扱っているのは、本ではなく「知」です。本を取りそろえるだけが仕事ではないはずです。「知」(本)をどう活用するのか、具体的な提案や発信もしていくべきだと思います。
- 快適な空間づくりや積極的な情報発信によく取り組まれていると感じている。
- オーテピアの専門書や雑誌が業務で非常に役に立っており、事業者にも3階のデータベースの紹介などをすると喜ばれる。ぜひもっと活用方法の情報発信をしていただけるとありがたい。
- 誰に相談したら、どんな情報を頂けるのか、窓口や、相談の仕方がわからないので、また行政事務の掲示板などで教えていただけるとありがたいです。
- 個人的にもっと便利に利用したいが、うまく活用できていないので、色々広報してください。
- 行政向けに機能を活用している実例があれば、参考になるかもしれません。
- 今現在どれくらい業務で利用している人がいるかなど、もう少し詳しくコラムなどで紹介してはどうでしょうか。行政支援の掲示板も活用していくべきではないかと思います。
- 事業で利用しようと相談をしたが上司にオーテピアの利用の知識がなく、あまり興味をもたれなかった。利用を広げるのであれば係長以上の方にも積極的に知っていただく必要があると感じた。
- 非常に魅力ある建物ができ、誇らしく思っています。既存のサービスについて知らなかったことが多く、申し訳ない思いです。宣伝・発信、利用の啓蒙をなお一層お願いします。
- 行政支援サービスとして色々なことに取り組んでいることを、自分も含め知らない人がけっこう多いのでは。内容は素晴らしいと思うので、知ってもらうような工夫がもっとあればいいのではないのでしょうか。
- 『あひるちゃん』、館内案内の冊子等で、イベント情報や施設の活用方法、事業内容をお知らせいただき有難く思います。まだ、自分自身活用ができていなかったり、勉強不足であったりして反省しています。今後、活用していきたいと思います。
- 職員が業務で活用できるサービスや利用の仕方等の情報提供が欲しい。

- 研修施設として利用したり、関連書籍の購入希望を挙げてご協力いただいたことがありますが、連携展示や関連本展示を知り、是非利用したいと思いました。そのため、図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会を希望しますが、活用を学ぶ「機会」への参加となると時間を合わせて参加できる方は多くないと思うので、チラシやメール回覧等による周知があればよいです。既に実施されていたらすみません。
- 具体的な利用(活用)方法を学ぶ機会があれば、相談しやすくなり、利用されるのではないかと思います。
- 図書館の利用料を聞かれたことがある。本は一冊いくらで借りれるのか聞かれたことがある。家族は分館分室を利用しているらしいが、それがどこだかわからないと言った人がいる。一度図書館とはどういう施設かの紹介をしてみてもどうか。何に使うにしてもまず図書館に興味を持ってもらうことが必要なのでは？。
- 県と市が一体化することによってオーテピアの図書館は、住民のニーズに合わせて、いろいろなサービスの充実が図れるようになったと思います。さらなるイベントの企画等も期待しています。
- 図書館は、本を借りる以外に沢山活用できるという認識がまだまだされていない。⇒もっとPRを。一部の迷惑行為を行う利用者が目立つ。⇒厳しい対応を。
- ホームページに質問6～17の活用法があると紹介してもらいたい。普通の職員は知らない。そして行政事務支援システムから図書館のHPは閲覧できないことも問題。本の検索の際、新刊からでも構わないので、「試し読み」的な機能を付加できないでしょうか。
- 生活の趣味から専門的な知識を学ぶことに関する書籍やセミナー情報等の充実をこれからも期待しています。
- 生涯現役社会は「高齢になっても情報収集が必要」ということだと思う。高齢になっても利用できるように、活用方法の周知、用語の説明(例えば電子書籍とは)などに力を入れてほしい。夜遅くまで開館してくれるのは、とても助かる。
- 新刊情報を定期的に教えてほしい。
- 掲示板でレファレンスサービスの紹介をされていたのはよかったと思います。最近増えてきた〇〇課通信のような感じで定期的に活用方法を発信していただくと、徐々に浸透してくると思います。来館者数のみでなく、上記のような様々なサービスを通じての利用者満足度を高めるための取組(周知も含めて)を進めていただけると、今まで以上に素晴らしい図書館になるとと思いますので、頑張ってください！

7.6 「期待する図書館像」「応援しています」等

【関係機関・団体】

- 県財政がどんなに厳しくなっても、収入(税・交付税)の一定割合は、必ず図書館事業に使うとの仕組みを確立してください。

【関係機関・団体_学校】

- 高知市外に住んでいるので、あまり利用したことはないが県外の司書の友人(市立図書館勤務)を案内した時に、とても熱心にパンフレット読んで、オーテピアさんに興味を持っていました(ちょうど休館で残念だったが)。高知市とその他の地域をうまくつないで、県民全員が平等に利用できる図書館にしていってほしいです。応援しています。
- 団体貸出など、高知県在住の子どもたちが、等しくサービスを受けられるようシステムを準備していただけたらと思います。全ての県民の願いのこもった図書館として、よりいっそうの活性化と発展をお祈りします。
- 誰でも利用できるための工夫(点字コーナー、子どもコーナー)がたくさんされていて利便がよい。書物がたくさんあり、本への興味・関心が高まる。特に、〇〇コーナーなど見やすく使いやすいため、今後も利用したい。学校図書館の運営についての相談や児童を対象にした講座を開催していただけるとありがたい。学校ではない資料やデータベースも活用できると、児童も意欲的に取り組めると思う。
- 高知県のような大型書店のない地域においては、図書館の重要性、専門的知識を持った司書の存在は、重要であると考えます。学校と連携し、支援していくこれからのサービスに期待しています。
- 児童・生徒の読書活動の活性化という目標においては、オーテピアも学校現場も一致していると思います。今後とも足並みをそろえて、協力させていただくために、チラシなどご送付の際には事前にご相談をいただけたらありがたいです。
- これからも大いに教育活動に活用できる図書館であってほしいです。よろしくお願いします。
- すごく立派な図書ができましたが、以前あった市民図書館の精神“みんなの図書館”をずっと大切にいただき身近な存在であり続けてほしいです。
- 環境もさながらオーテピアでじっくり読書活動ができるのは、高知県にとってはとてもいい財産だと思う。将来的に児童が、生涯オーテピア図書館を利用するようになればいいと考えます。

【バリアフリーサービス】

- いい場所に素晴らしい図書館ができ、良かったと思う。行ったことがないので、一度、行きたいと思っている。色々なサービスがあるのを詳しく知ることができた。このような、素晴らしい多機能が備えられているので、どんどん利用する人が増え、生き生きと生活できれば良いと思います。
- 肢体と視力に難がある為、活字離れの生活ですが障害の種別にかかわらず利用しやすい施設であってほしいです。コロナウイルス感染状況が落ち着いたら様々なイベントや図書にこだわらず文化的な発表や発信を期待しています。
- より障害者の身に利用しやすい図書館になってほしい。
- 代理で書かせて頂いています。私は本が大好き、特に小説。息子にもいろいろな本を読みました。絵の少ないものは、私が絵を描いたり、大きくジェスチャーで表現したり…。何が、息子にとって良いか分からなかったので、読み聞かせだけでなく言葉も声もでない時から、たくさんの歌も歌いました。本人も読むことは得意です。音楽も大好き、動くことも…。そして、一緒に誰かと楽しめることが大好きです。今は30歳。…60歳、70歳になった時、できれば、誰かが本を(物語を)読み、一緒に楽しい時間が過ごせる場所になってもらえると嬉しいです。誰でもいいです。「どうぞ、、、」と手を差し伸べてくれる“人”と“本”と“絵”の「水族館」みたいだとずっと楽しいと思います。(意見ではなく、すみません。)

【行政】

- 行政職員としては専門書があることはありがたいですが、そこに注力するよりは、広く県民の皆様が、より利用しやすく、また学びたいと思える図書館になっていただくことが第一ではないかと思います。
- オーテピア本館は素晴らしい図書館であり、高知に存在すること自体を誇らしく思いますが、いささか大きすぎるため高齢者には疲れます。他方、適度な規模感や落ち着ける雰囲気、駐車場の利用のしやすさなどから、家の近所にある支所のほうが使い勝手が良く実際に利用させてもらっているため、支所の充実も期待しています。
- 郡部の者が利用しやすい図書館にしてください。
- 現在でも充実していると思いますが、ますます充実されるようにと思っています。
- 行政が活用することも大事ですが、広く県民に利用される図書館サービスをまずは充実してもらいたいと考えています。
- 図書館、頑張って下さい。
- 特に本の貸し出しや行政情報サービスへの不満はなく、充実を望むよりも、地域の子もたちや学生が安心して過ごせる居場所となってほしい。夜間開所時間をもう少し延長してほしい。

- 主に子ども(社会人と大学院生)が頻繁に利用しております。特に大学院生の子ども曰く在学中の大学の図書館よりも充実しているとのことでした。いつも沢山お借りしています。サービスが充実すればするほど職員の方々はご苦労も増大するとは思いますが、いつまでも「市民の図書館」であり続けてください。
- 生活に密着しながら、何事にも興味や向上心を煽るような展示、書架の工夫、司書の顔が見える押しのコーナー作りなど、意欲さえあれば図書館の世界はいくらでも広がります。それだけの面積や容積があります。
- 職員が、知の拠点として、様々な書籍の搜索、雑誌の購入をしてもらい、職員のみならず、市民にも広く書籍を活用してもらえようになればいいと考えます。
- 複合的社会教育施設を目指すのなら、機能について公民館と整理するべきではないですか？
- 新刊本の品揃えが全ての基本だと思いますし、市民への誘因となりますので、予算獲得に向けて頑張ってください。児童、生徒、学生の利用の多さが、図書館の人気・活発さのメルクマールとなると思いますので、若い人たちを応援していることが伝わるような品揃えを期待します(今もなかなか良いとは思いますが)。ネットは即時性・利便性、図書は体系的・専門性が強みだと思いますので、これまで以上にうまく融合した図書館になってほしいと思います。行政職員の利用が少ないように思いますが、一つには勤務中に図書館に調べものに行くことへの心理的障壁があるように思います(サボっているみたいに思われたくないみたいな感じでしょうか…)。そこらへんをうまく回避する方法とかがあっていいですね。いずれにしても応援しています。頑張ってください！

7.7 「専門性の向上」「対応や接遇」など職員について

【関係機関・団体_学校】

- 子どもたち、市民のための「オーテピア」であるために、親切な対応を強く望みます。特に、子どもたちには「笑顔」のたくさん見える図書館であってほしいと思います。
- いつ伺っても、丁寧な対応をしてくださり、気持ちよく利用させていただいています。これからも、お願いいたします。

【バリアフリーサービス】

- 詳しい利用の仕方がわからず、図書館(オーテピア)カウンターに障害者(困り感ある子どものために)対応できる専属者(理解して対応できる人)をおいてほしい。
- きれいな図書館ができてうれしいです。スタッフの人たちも親切でした。
- 優しく色々教えてくれる職員さんばかりの素晴らしい良い所と思います。また、行かさせてもらいますね。これからもよろしくお願いします。

- オーテピア高知図書館には、何度も行かせてもらったことがあります。分からないことや聞きたいことも、職員さんも優しく教えてくれて、快適に利用させていただいています。これからも利用させてもらいたいと思います。

【行政】

- スタッフの対応をもう少し親身にしていただけたらと思う。蔵書検索 PC で検索した本の位置がわかりづらく、探し出せない。検索 PC から出てくる紙の本のコードと、館内の本の案内マップを見直してほしい。
- 司書らしき職員(2階東側・中年女性)に、路面電車の企画展示の場所を聞いたところ、つつけんどんな対応をされて不快な感じであった。ある程度は、不快感を与えないような柔軟な対応をするよう努めた方が良いと思う。
- 職務、プライベート含め活用させていただいています。職務で活用した際は、とても親切に色々気にかけてくださいました。知らないサービスがたくさんあったので、うまく活用していきたいと思います。
- お昼休みによく行くのですが、無愛想な人が多い。挨拶をしてくれる人が少ないのが残念。
- 以前、子供絵本カウンターに接客サービスのあまり良くない職員がいた(ぶっきらぼうに冷たく対応された)。なぜ、いちばん愛想の良い職員を配置してほしい部署に適任者がいないのか疑問に思ったことがあった。職員の資質向上を切に望みます。
- 業務で古い時代の資料について、図書館に資料があるかどうかを電話で問い合わせた事があります。そのときの担当の男性の方が、大変親切丁寧でした。残念ながら探していた資料はありませんでしたが、担当の男性の方の誠実な対応に感謝しました。
- 図書館利用者として、内部職員の対応は、親切・丁寧だと思う。ただ駐車場担当職員は、満車の場合の説明が不十分に感じる時がある。
- いつも官報閲覧に行っていますが、一般のお客様もいらっしゃるので、静かに迅速に対応していただき有難く思っています。
- 昨年度、県の新規採用職員を対象に図書館の使い方講座をしていただいたのですが、非常に熱意をもってわかりやすくご説明いただきました。優秀な職員の方が多く在籍されている印象を受けています。現在は図書館利用に依りづらい業務を担当しているのでなかなか業務利用はできないのですが、機会があればぜひ使わせていただきたいと思います。
- 話しかけやすく、親切に対応してもらっています。ありがとうございます。

- 業務に関連して、ある雑誌について書かれている内容も含めて相談したところ、すぐにご回答いただきました。たいへん心強かったです。
- 職員の皆さんはいつも感じよく、たいへん頑張っていると思います。
- 分室の職員さんの対応もすばらしく気持ちよく活用させていただいています。
- 以前データベースの提供を受けたく、電話したことがあるが、担当者がいないため、分からないとのことであった。広報するのであれば、対応できる体制をとっておいた方が良いと思う。
- 図書館は、本を借りる以外に沢山活用できるという認識がまだまだされていない。⇒もっとPRを。一部の迷惑行為を行う利用者が目立つ。⇒厳しい対応を。
- ハードは素晴らしいので、ヒューマンスキルのより一層の向上に努められると、さらなる高みにステップアップできると思います。

7.8 蔵書・視聴覚資料についての要望、感想等

【関係機関・団体_学校】

- 高知にゆかりのある著者・人物等の書籍を沢山購入し、貸出して欲しいです。

【バリアフリーサービス】

- どんどん新刊を入れてほしい。
- 本を増やしてほしい。
- よく利用させていただいております。海外文学の文庫スペースを拡充していただけると嬉しいです。よろしくお願いいたします。
- 録音図書だけでなく、クラシックやジャズなどの音楽も聴けるようなら、もっといいのになと思った。
- スマホの取扱いDVD(字幕付)が有ればと思います。(スマホ教室では、聞き取れない為)
- 生物の図鑑が読みたい。探すのが大変だった。探しにくい。幽霊、妖怪、ゾンビの本を充実させてほしい。超能力の本も充実させてほしい。
- 高知県は歴史的な分かりやすい、読んでみたい。
- とてもおもしろい本がいっぱいあった。
- 高知市が遠くて行けない。外国の写真集等見てみたいです。

- 字幕付映画や資料は、映像と声と文字で内容が伝わりやすい。学習するうえでも発達障害等障害上、声だけの説明や文は分かりにくいこともあるので、図書においてあるもので、声＋字幕付の DVD 等があればうれしい。いつも、いろいろとありがとうございます。
- 本がいっぱいある。
- スペースがゆっくりしてほしい。ダンスとゲームの本がもっとほしい。
- シネマデイジーの最新の物を取り入れてほしい。

【行政】

- さまざまな種類の蔵書があることは仕事で調べ物がある際にもとても重要な資料の提供をしていただけるということで感謝しています。これからもさまざまなジャンルの書籍の保管を更にすすめていただきたいと存じます。
- 行政職員としては専門書があることはありがたいですが、そこに注力するよりは、広く県民の皆様が、より利用しやすく、また学びたいと思える図書館になっていただくことが第一ではないかと思います。
- 各地の大学の紀要とか閲覧したい。
- 専門書が今以上に充実するとありがたい。
- 蔵書が充実しており、読みたい本が苦労なく手に入る環境が整っていることはすばらしいことだと思います。図書館は「借りる・返す」だけではないということをもっと広く一般の方に知っていただけるように、PR が必要だと思います。
- 新書を入れてほしい。
- 職場研修でDVDを閲覧しようとしたが、研修の場での閲覧は著作権があり、不可とのことだった。県の研修DVDは、職員能力開発センターにあるが、古いものが多い。研修で使えるDVDの使用について何とかならないでしょうか？貴館には、いい接遇のDVDビデオがありましたが、使用できませんでした。職員能力開発センターからの貸し出しでもいいので、対応できるようにお願いします。
- 子供の絵本を隔週でお借りしています絵本の種類も多く大変助かっています。
- 最先端の内容を解説した本を読みたいです。
- 蔵書の質が、橿原の雲の上の図書館より低い。が、橿原の図書館の質は、他市町村のどこよりも高いので、仕方ないと考えている。視聴覚資料の貸し出しの貧困さは、目を覆うばかりです。
- 常に新しい書籍・資料が充実している事が図書館の最大の武器だと思う。

- 専門書で、市町村図書館、大学図書館には蔵書されている本が、オーテピアにはなかったことがあった。専門書の充実を望む。
- 今年個人的な勉強のため、図書を何冊かお借りしました。専門性の高い図書を個人で購入することは経済的に困難ですが、図書館で借りられ大変助かりました。
- カードは持っていないが、仕事上での調べものをする際に利用している。雑誌の種類も豊富なことに驚いた。本の貸出しも簡単そうなので、カードを申込みたいと考えている。
- 見たい本が書庫にしまわれていて、手に取ることができないことが多い。展示スペースはあるのでは？と思ってしまいます。
- たくさん蔵書があるのはいいことですが、外に出ている本はどうしても限られる。(良書が書庫に入る)数年で価値が消えそうな流行の本は、入荷しなくても別にかわまないと思います。読みたければ買って読むべきと思っているので。(個人的意見)図書館で借りて読んでも、ただであると、熟読しない傾向があります。(人間はけちなので)価値が長く続くような良書を優先的に入れてほしい。
- 仕事に関する書物やそれ以外でも、お世話になっております。行政に関する書物も一定そろっている印象です。今後も定期的に利用したいと思います。

7.9 利用しづらい、できない

【関係機関・団体】

- 遠方にあるため、気軽に活用しづらい状況です。

【関係機関・団体_学校】

- 個人的にもよく利用しています。大津中は、少し離れているので日常的な利用はちょっと難しいかと思いますが、呼びかけ等はしていきたいと思います。

【バリアフリーサービス】

- オーテピア高知図書館まで行かなくても、近くに分室があり予約できる。
- 個人では行くことができないので、小さなツアーなどがあれば参加したい。
- 一度出かけないと思いつつ、まだ実現できていません。交通手段がなく残念に思っております。
- 高知市が遠くて行けない。外国の写真集等見てみたいです。
- 普通免許を持ち、車もあるが使用やめたので、瀬戸東町から図書館まで行くのが億劫で、昨年から行っていない。通っていた時は、館内が古くさくなく明るく感じがよかった。
- 行ってみたいが、行ける手段がないので、送迎便などがあればいいと思う。

【行政】

- 所属において公務で図書館を使えるような雰囲気がない。情報収集だけであればインターネット検索で大抵のことが事足りるが、行政に関する事例を(理論も含めて)収集したりするのは限界があり、図書館(オーテピアに限らず議会図書室も)の力を一定借りたいと思うときが個人的にはあるのだが、そのようなことを言い出せるような感じがしない。
- オーテピア高知図書館が様々事業を実施しているのは知っているが、周りに活用している人がおらず、職務で本当に活用していいのか、どのレベルのことであれば聞いていいのかが分からない。
- 遠いので行きにくい。駐車場の利用方法など教えてください。
- 郡部の者が利用しやすい図書館にしてください。
- 街へ出ていく事がおっくうである。
- 県庁勤務になると利用する頻度が増大すると思います。居住地が郊外で勤務先が出先機関では利用する機会がありません。
- 仕事が忙しく、開館時間に行けない。出張貸出しサービスがあれば便利だと思う(コストと手間的に無理だと思うが)。また、自宅が高知市外のため、休日にオーテピアを利用するためだけに高知まで出てくることがない。駐車場が広くて、かつ無料で使えて出入りがしやすいれば利用するかもしれない。
- 非常に良いサービスを提供してくださっていると思う。出先のために利用が難しいのが残念だ。
- コロナウイルス感染症で利用しにくい。
- 自宅や職場から遠く、利用する機会がない。一度だけ館内に入ったことはあるが、広くてきれいな図書館だと思った。プラネタリウムも利用してみたいと思う。
- 個人的には利用をしていますが、業務で利用するとなると、距離があり、すぐに対応する必要がある場合は、インターネット等で調べることが多くなっています。過去の資料は、デジタル化もされていないので、出先機関での利用は限られるのではないかと思います。
- 必要な情報の大半は今インターネットで得られる。仕事を持っている者は、行く暇もない。はっきり言って図書館の存在価値がわからない。税金の無駄である。
- 中央部付近以外に住む者にとっては利用しようとは思わない。郡部の者が利用するには、どのようにすれば便利かを教えてもらいたい。既にその情報が掲示されているかも知れませんが。

- 調べ物や業務に関わる知識向上のための書籍の貸し出しなどに興味はあるのですが、出先機関であり、業務時間中に図書館分館等に向かうのはなかなか難しいです。可能であれば出先機関までの郵送や生協便・メール便を利用した貸し出し・返却の制度などがあればうれしいです。
- オーテピアの素晴らしさはよくわかっているのだが、自宅とは反対方向になるので今はあまり活用できていない。
- 図書館のサービスも含め利用してみたいが、気軽に行ける距離ではないし物理的に図書館が遠いため、わざわざ利用しに行くということになりにくい。図書館から離れていても利用できるサービス等あるのかもしれないが、こういった利用が出来るのかなど不勉強なためよく知らない。
- オーテピアの存在が遠い。
- 業務に利用するには職場から離れすぎている。
- 以前から比べると随分明るくて利用しやすい雰囲気になりましたが、平日は仕事ですし日曜日は日曜日とかで人が多く駐車場にも入れない状況なので中々行けないです。仕方ないですが。
- サービスについても調べ物の部屋や勉強室もあり学生が開館時間に並んで入ののを見るとまあ利用しやすいのではないかと思います。
- 何度図書館に行ったことはありますし、本屋さんでは見ることのできない興味関心のある本がたくさんあることは知っていますが、「借りる」よりは購入することが多く、なかなか貸し出しなどの利用までには至っていません。
- 公私ともになかなか活用できない。仕事中には行けるような環境ではないし、プライベートでは車が駐車できるかどうかわからないのにわざわざ図書館に行かない。「ここでなければいけない」というオンリーワンの価値観が必要であると考えてる。

7.10 その他

【関係機関・団体】

- 2019年度貸出冊数日本一おめでとうございます。

【バリアフリーサービス】

- 83歳の義母のことを記入しました。年々、活字を読む機会が少なくなっています。
- 何でもかまわない。
- 点字や手話など体に障害がある人の助けになれるように、点字や手話を学習したいと思う。自分も事故で、障害者になったので楽けることで生きる喜びを得たいと思った。

- 高知県庁と高知市役所が共同で生かそうとするのが、医療と図書のすべてになったような気がしてしまうのは変な感じで、考えているのは正しくないのですか？県立、県庁市立の医院が一つになった時、少し危険な気がしたのですが。図書館を追っていった気がしました。市立医院や市立図書館の優先利用者が全段だった友人は南国市民として知っています。
- 私は小学生の頃から図書館の本を借りて読んだ事があるのですが、大人になって借りた事がないのでよくわかりません。
- 通所している施設の本(ほっとこうちなど)
- 行ったことがないのでわかりません。
- 点字や高知声を使った事がないので、利用の仕方がわかりません。
- プラネタリウムは4時からですが、早くからしていただきたいです。
- どんな本がありますか？
- 図書館の月刊誌など。
- 自分は子どもの頃から目が悪かったので、読書を愉しんだり、図書館に行ったりする習慣がないので、図書館のサービスや便利さなどは、頭では分かっているけど、なかなか利用にまでつながらないのがお恥ずかしいです。書籍のテキストデータ化を何度か図書館でしていただきましたが、あれは本当に助かりました。ありがとうございました。対面朗読などは利用してみたいと思っているのですが、自宅からの移動時間を考えると、なかなか踏み切れていませんね。自宅近くの図書館や、オンラインでの対面朗読サービスがあれば利用させていただくかもしれません。今後ともよろしくお願いいたします。
- コロナでサービスがなくなった、お茶のサービスをしてほしい。ペットボトルをくばるなど工夫してほしい。
- 新聞から。

【行政】

- サービスを活用するかは職場次第であり、サービス自体に欠点があるわけではない。現職場では県が活用しなくても市が利用しているケースがあった。
- 業務利用は認めて貰え難いと思います。
- オーテピアまでは遠いのですが、近隣の図書館を利用して本の貸し借りができるため大変ありがたいです。
- 業務に関係する調べ物で、インターネットでは薄い情報を、図書館で補うことがあります。1つの事案を調べていくときに、複数の図書を利用することで、理解が深まります。

- 学生でいっぱいじゃないかとか、比較的空いている日時がわかるとありがたい。
- 閉館時間までに行けないことが多く、予約本の受け取り期限に間に合わないことが何度もある。予約本の受け取りのみ、1時間でも延長してもらえるとありがたい。
- いつも利用させていただいており、オーテピアとオーテピア図書館が開館して本当によかったです。可能であれば、開館時間の延長を検討していただけたらうれしいです。具体的には土日でも20時までの開館など。難しければ一部サービス(例えば予約本の貸し出しのみなど)でもかまいません。
- オーテピアではないが、大学の図書館を業務で利用できないか？専門書の検索、閲覧、貸し出しのサービス利用したい。
- 自分は図書館を利用する方ではないので単なるイメージですが、個人的には専門的なものの以外は雑誌が充実している必要はないと思います。図書館は本屋等で個人購入が難しいような書籍が閲覧できる場所という感覚です。
- 西敷地を活用した、さらなるサービスの充実を検討して欲しい。
- 閉館の日が多い。
- 学術論文等の入手や複写サービスを充実してほしい。
- 業務中に調べたいことがある場合、「調べもの」のために業務時間を読書に割くことができないので、インターネット検索が圧倒的に多いです。ペーパーレス化も進みだしたので、イベント時の利用だけではなく、市職員の通常の仕事場の1か所として使えたらいいな、と思います。
- 個人・複数での出版を物心でサポート。または図書館発刊の本に掲載記事募集とか。国会図書館への保管に憧れます。
- 県外や大学図書館等との連携で、県外や大学の書籍も借りられるなど、サービスが行き届いていると思います。
- とても魅力的でよいと思いますが、本を借りる・返す作業のみで考えると、高知弁で言う「おっこう」です。駐車場のあれこれや、中の広さが。でも、オーテピアにいくぞ！と目的地になるのは楽しいです。

- 現場を知らない司書が資料収集をしても図書館の自己満足。アンケートでニーズがわかると思ったらもっと自己満足。図書や資料を活用するためには図書館が受身では…。掲示板や自館広報誌で「活用してください」のやってますアピールしても図書館の都合に合わせて使うほど現場は暇ではない。本気で資料を活用したほうが良いと思うなら、図書館職員がまずは現場へ足を運び、ニーズを探る姿勢が必要では？本気なら、行政課題に即応し、図書館が収集資料を担当課に持ち込み、行政課題を分析・提案することを定期的に行えば？図書館の書庫にだけに閉じこもらずにもっと外に出てみたら、こんなアンケート結果より見えることがあるのでは？
- 以前、市民図書館でカードを作成していたが未使用の期間が長くなり、紛失している。新しくカードを作成する場合はどのようにすればよいか知りたい。
- 子どもができたりしたら、休日など絵本を見に行ったりして利用する機会ができてくるのかなと思う。
- 本を読まない人間です。情報はネットで得ることができるし、図書館いるのかと思います。
- 変な人が来た時に無力だと思う。変な人が自由にしていると、どんどん変な人が増えていくと思う。
- 不特定多数の人が使用する施設なので、コロナ対策も大変だと思いますが、消毒等よろしくをお願いします。

8 調査票

8.1 関係機関・団体

『オーテピア高知図書館サービス計画』に基づくアンケート調査
関係機関・団体による図書館活用についてのアンケート調査



このアンケート調査は、オーテピア高知図書館が提供するビジネス支援サービスや健康・安心・防災情報サービス等の課題解決支援サービスに関係する機関・団体を対象として、『オーテピア高知図書館サービス計画』（平成29年度～令和3年度の5か年計画）の改定に向けた参考とするため、図書館サービスの満足度やニーズ等を把握するために行うものです。ご多用のところ誠に恐縮ですが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、オーテピア高知図書館との連携・共催事業等の実施実績がある場合、当該事業のご担当者様、実績がない場合、外部機関との連携、渉外等のご担当者様に回答作成をお願いいたします。

問1 貴所の名称・回答を担当された部署を教えてください。

機関・団体の名称 ()

担当部署 ()

問2 貴所の所在地を教えてください。（県内に複数の事業所がある場合は、中心となる事業所の所在地）

1 高知市内 2 県内市町村 (市・町・村)

問3 オーテピア高知図書館が提供している以下のサービスや取組を知っていますか。また、貴所の業務に関連して、これらのサービスを利用したり、連携した取組をしたことはありますか。
(①～④のそれぞれ該当する枠に○をつけてください)

	使 っ た こ と が あ る	知 っ て い て 使 っ た こ と が な い	知 っ て い る が 使 っ た こ と が な い	知 ら な い
① 団体貸出サービス 50冊を上限として本を1か月間貸し出します。				
② 調べものの案内（レファレンスサービス） 図書館司書が、資料の紹介や調べものの案内をして、調べものをお手伝いします。				
③ データベースの提供 新聞記事や法情報、農業情報、商圏分析、企業情報、市場動向、医学・看護分野の論文などを検索・調査できるオンラインデータベースを導入しています。				
④ 貸し施設（オーテピア4階のホール・研修室・集会室） 会議や催し物に利用できるホール、研修室、集会室があります。				

	使 っ た こ と が あ る	知 っ て い て 使 っ た こ と が あ る	知 っ て い る が 使 っ た こ と が あ る	知 ら な い
⑤ チラシやパンフレットの館内配置 各フロアにチラシ・パンフレットを設置することができます。				
⑥ 視聴覚機材の団体貸出 団体での使用を目的として、視聴覚の機材(プロジェクターなど)を貸し出します。				
⑦ 貴重資料の画像データの提供 デジタル化された歴史的資料の画像データを提供します。商品のパッケージデザイン等にも活用いただけます。				
⑧ ブックリストの作成・提供 テーマや対象別に作成する本のリストです。ご相談があれば、イベント等のテーマに合わせて作成することも可能です。				
⑨ 貸し施設(オーテピア4階のホール・研修室・集会室)でイベントを開催 する際の関連本展示 イベントのテーマや対象に合わせて本を選び、会場内に展示します。貸出しも可能です。				
⑩ 出前図書館の実施 講演会や研修などの内容に合わせて図書館から会場に本をお持ちし、希望者にその場で貸し出すサービスです。				
⑪ 図書館の活用方法やサービス周知のための講師派遣 図書館司書がセミナーや相談会、イベント等で、図書館の活用方法やサービスを周知するための講座を行います。				

※各サービスや取組の詳細は、オーテピア高知図書館に直接お問い合わせください。

問4 問3で「知っていて使ったことがある」と答えた機関・団体におたずねします。利用したサービスについて、どのように感じましたか。(問3で「知っていて使ったことがある」サービスのみ、該当する枠に○をつけてください。「やや不満である」・「不満である」の場合、理由もお聞かせください)

	大 い に 満 足 し て い る	だ い たい 満 足 し て い る	や や 不 満 で あ る	不 満 で あ る	わ か ら な い
① 団体貸出サービス					
② 調べものの案内(レファレンスサービス)					
③ データベースの提供					
④ 貸し施設(ホール・研修室・集会室)					

	大いに満足 している	だいたい満足 している	やや不満である	不満である	わからない
⑤ チラシやパンフレットの館内設置					
⑥ 視聴覚機材の団体貸出					
⑦ 貴重資料の画像データの提供					
⑧ ブックリストの作成・提供					
⑨ 貸し施設（ホール・研修室・集会室）でイベントを開催する際の関連本展示					
⑩ 出前図書館の実施					
⑪ 図書館活用方法の説明のための講師派遣					

（問4 やや不満である・不満である場合の理由）

問5 普段、貴所では、業務で必要な情報をどのように入手していますか。（〇はいくつでも）

- 1 専門分野の新聞の購入 （具体的に： ）
- 2 専門分野の雑誌の購入 （具体的に： ）
- 3 書籍の購入
- 4 貴所で契約しているデータベース （具体的に： ）
- 5 インターネットの閲覧
- 6 専門機関・団体によるサービス（会員制のウェブ・サイト、メールマガジンなど）
（機関・団体やサービスの名称： ）
- 7 オーテピア高知図書館の利用
- 8 近隣の市町村立図書館（分館・分室を含む）の利用
- 9 その他（具体的に： ）

問6 図書館の活用は、貴所の業務に役立つと思いますか。

- 1 そう思う 2 おおむねそう思う 3 あまり思わない
- 4 思わない 5 わからない

問7 貴所の業務にオーテピア高知図書館のサービスが役立った事例があれば、教えてください。(例：支援企業の販路拡大、商品開発のヒント、従業員のモチベーション向上、業務改善、業界動向の把握など、どんなことでも構いません。利用したサービス(資料の借受け、調べものの相談、データベースなど)もあわせてお書きください。)

問8 問7にご記入いただいた機関・団体におたずねします。
貴所の図書館活用の事例をマンガ化するなどにより、広報に活用させていただくことは可能でしょうか。可能な場合、ご連絡先の担当部署・担当者・連絡先(TEL)を教えてください。

可能 ・ 不可

担当部署・担当者名 ()

連絡先(TEL) ()

問9 オーテピア高知図書館のこれからのサービスについてどのようなことに期待しますか。
(○はいくつでも)

- 1 本や雑誌の品ぞろえ
- 2 特にビジネスや就職活動に役立つ本や雑誌の品ぞろえ
- 3 特に健康づくりや防災に役立つ本や雑誌の品ぞろえ
- 4 特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ
- 5 図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会
- 6 セミナーや相談会での連携(関連本展示・出前図書館・図書館活用方法の説明など)
- 7 新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談
- 8 専門的な調べものの相談に対応できるよう職員の資質向上
- 9 図書館の場や資源を活用した広報活動

問10 オーテピア高知図書館のサービスについて、自由なご意見をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

8.2 関係機関・団体_学校

『オーテピア高知図書館サービス計画』に基づくアンケート調査
学校による図書館活用についてのアンケート調査

このアンケート調査は、オーテピア高知図書館が提供する学校や学校図書館への支援に関するサービスについて、『オーテピア高知図書館サービス計画』（平成29年度～令和3年度の5か年計画）の改定に向け、図書館サービスの満足度やニーズ等を把握するため、高知県立学校、高知市立学校、学校法人等に行うものです。ご多用のところ誠に恐縮ですが、本アンケート調査の趣旨をご理解いただき、回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、オーテピア高知図書館との連携・共催事業等の実施実績がある場合、当該事業のご担当者様、実績がない場合、図書館担当の教職員に回答作成をお願いいたします。

問1 貴校の名称・回答を担当された方の職名・お名前をご記入ください。

貴校の名称 ()

職名・お名前 ()

問2 オーテピア高知図書館が提供する以下のサービスや取組を知っていますか。また、貴校の業務や教育活動に関連して、これらのサービスを利用したことはありますか。

(①～⑧のそれぞれ該当する枠に○をつけてください)

	使 っ た こ と が あ る	知 っ て い て	使 っ た こ と が な い	知 っ て い る が	知 ら な い
① 貸出セット等の団体貸出サービス テーマ別にあらかじめまとめた「貸出セット」等を団体貸出します。					
② 調べものの案内（レファレンスサービス） 図書館司書が、資料の紹介や調べ方の案内をして、調べものをお手伝いします。					
③ 児童図書選定支援コーナー 児童書の選書を支援するため、出版後1年以内の児童書を全点購入し、図書館、学校、園、読書活動推進に携わる団体・ボランティア等に閲覧の機会を提供します。					
④ データベースの提供 新聞記事をはじめさまざまな情報を検索できるオンラインデータベースを導入しています。調べ学習や入試対策、進路指導など幅広く活用できます。					

	使 つ た こ と が あ る	知 っ て い て	使 っ た こ と が な い	知 っ て い る が	知 ら な い
⑤ 学校見学の受け入れ 図書館への興味・関心を高めるため、社会科見学や校外学習の一環として図書館見学を受け入れます。					
⑥ 貸し施設（ホール・研修室・集会室） 会議や催し物に利用できるホール、研修室、集会室があります。					
⑦ 視聴覚機材の団体貸出 団体での使用を目的として、視聴覚の機材（プロジェクターなど）を貸し出します。					
⑧ 貴重資料の画像データの提供 デジタル化された歴史的資料の画像データを提供します。教材作成等にも活用いただけます。					

問3 問2で「知っていて使ったことがある」と答えた学校にお尋ねします。利用したサービスについて、どのように感じましたか。

（問2で「知っていて使ったことがある」サービスのみ、該当する枠に○をつけてください。

「やや不満である」「不満である」の場合、理由もお聞かせください）

	大 い に 満 足 し て い る	だ い たい 満 足 し て い る	や や 不 満 で あ る	不 満 で あ る	わ か ら な い
① 貸出セット等の団体貸出サービス					
② 調べものの案内（レファレンスサービス）					
③ 児童図書選定支援コーナー					
④ データベースの提供					
⑤ 学校見学の受け入れ					
⑥ 貸し施設（ホール・研修室・集会室）					
⑦ 視聴覚機材の団体貸出					
⑧ 貴重資料の画像データの提供					

(問3 やや不満である・不満である場合の理由)

問4 普段、貴校では、教育活動に必要な資料や情報をどのように入手していますか。(○はいくつでも)

- 1 自校の学校図書館の利用
- 2 オーテピア高知図書館の利用
- 3 近隣の市町村立図書館(分館・分室を含む)の利用
- 4 高知県教育センターの利用
- 5 高知市教育研究所の利用
- 6 業務用図書の購入
- 7 貴校で契約しているデータベース (DB名称:)
- 8 インターネットの検索・閲覧
- 9 教育専門機関・団体等によるサービス(会員制ウェブ・サイト、メールマガジンなど)
(機関・団体名称:)
- 10 その他(具体的に:)

問5 オーテピア高知図書館の所蔵資料やデータベースなどの情報源をどのような教育活動に活用することができますか。(○はいくつでも)

- 1 児童・生徒の読書活動
- 2 児童・生徒の探求的な学習
- 3 児童・生徒の情報活用能力の育成
- 4 学校図書館の資料を選定する参考
- 5 教職員による授業づくりやその他の教育活動
- 6 その他(具体的に:)

問6 オーテピア高知図書館のこれからのサービスについてどの程度期待しますか。

(①～⑧のそれぞれ該当する枠に○をつけてください)

	大いに期待する	まあまあ期待する	あまり期待しない	期待しない	わからない
① 本や雑誌、新聞の品ぞろえ					
② ブックリスト(テーマや対象別に作成する本のリスト)の充実					
③ 図書館司書による学校図書館の運営やサービスについての相談					
④ 所蔵資料やデータベースなどを活用した探求的な学習の場の提供					
⑤ 児童・生徒を対象とした出前講座					
⑥ 図書館司書による教職員を対象とした図書館活用方法の説明					
⑦ 新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談					
⑧ 調べものの相談に対応する職員の専門性向上					

問7 問6①で本や雑誌、新聞の品ぞろえについて、「大いに期待する」・「まあまあ期待する」と回答した学校におたずねします。本や雑誌、新聞の品ぞろえについて、特に期待する分野について○をつけてください。(いくつでも)

情報学 / 哲学 / 心理学 / 宗教 / 歴史 / 地理 / 政治 / 法律 / 経済 /
 社会 / 教育 / 数学 / 物理学 / 化学 / 天文学 / 地学 / 生物学 /
 医学・薬学 / 技術・工学 / 家政学・生活科学 / 農業 / 園芸 / 畜産業・獣医学 /
 林業 / 水産業 / 商業 / 芸術・美術 / 書道 / 写真 / 音楽・舞踏 / 演劇・映画 /
 スポーツ・体育 / 日本語 / 英語 / 日本文学 / 英米文学
 その他 ()

問8 オーテピア高知図書館のサービスについて、自由なご意見をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

8.3 バリアフリーサービス

『オーテピア高知図書館サービス計画』に基づくアンケート調査
 バリアフリーサービスに関するアンケート調査



このアンケート調査は、『オーテピア高知図書館サービス計画』の改定に向けた参考とするため、オーテピア高知図書館と高知声と点字の図書館によるバリアフリーサービスの満足度やニーズ等を把握するために行うものです。お忙しい中恐れ入りますが、回答にご協力いただきますようお願い申し上げます。この調査の結果につきましては、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。なお、回答はお一人様1回のみお願いいたします。

問1 あなたの年齢を教えてください。(○は1つだけ)

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 15～19歳 | 2 | 20～29歳 | 3 | 30～39歳 | 4 | 40～49歳 |
| 5 | 50～59歳 | 6 | 60～69歳 | 7 | 70～79歳 | 8 | 80歳以上 |

問2 あなたのお住まいはどちらですか。(○は1つだけ)

- | | | | | | |
|---|-----|---|--------------|---|----|
| 1 | 高知市 | 2 | 県内市町村(市・町・村) | 3 | 県外 |
|---|-----|---|--------------|---|----|

問3 該当する場合、○を付けてください。級や区分はわかる範囲で構いません。

- 身体障害者手帳を持っている [] 級
 障害の種類 [視覚・聴覚・肢体(上肢・下肢の障害)・その他]
- 精神障害者保健福祉手帳を持っている [] 級
- 療育手帳を持っている 区分 []
- 活字をそのままの大きさでは読めない
- 活字を長時間集中して読むことができない

- 6 ^め ^よ ^{ないよう}目で読んでも内容がわからない ^{ないよう} ^{きおく}内容を記憶できない
- 7 ^{しんたい}身体^のまひなどにより、^{しりょう} ^も資料を持ったりページをめくったりできない
- 8 ^{ほん} ^{ざっし}本や雑誌をそのまま利用^{りよう}することができない
- 9 ^{としょかん} ^{いどう}図書館まで移動することができない
-

問4 ^{たい}オーテピア^{こうちとしょかん}高知図書館または^{こうちこえ} ^{てんじ} ^{としょかん}高知声と^{らいかん}点字の図書館に来館したことはありますか。(○はそれぞれに1つだけ)

- ・ ^{こうちとしょかん}オーテピア高知図書館
- 1 したことがある 2 したことがない
- 3 わからない

- ・ ^{こうちこえ} ^{てんじ} ^{としょかん}高知声と点字の図書館
- 1 したことがある 2 したことがない
- 3 わからない
-

問5 ^{たい}オーテピア^{としょかん}図書館と^{こうちこえ} ^{てんじ} ^{としょかん}高知声と^{ていきょう}点字の図書館が提^し供しているバリアフリーサービスで知っているものがありますか。また、利用^{りよう}したことはありますか。(○は1つだけ)

※サービスの^{ないよう}内容は、^{いろ}ピンク色のチラシ「バリアフリーサービス」を^{らん}ご覧ください。

- 1 ^し知っているものがあり、^{りよう}利用したことがある → ^{たい}問6へ
- 2 ^し知っているものがあるが、^{りよう}利用したことがない → ^{たい}問7へ
- 3 ^し知らない → ^{たい}問8へ
-

問6 問5で「利用したことがある」と回答した方におたずねします。オーテピア図書館と高知声と点字の図書館を利用して、どのようにお感じになりましたか。(①～⑦のそれぞれ該当する枠に○をつけてください)
→ 問8へ

	大いに満足している	満足している	やや不満である	大いに不満である	利用したことがない
①点字図書の品ぞろえ					
②録音図書の品ぞろえ					
③大活字本の品ぞろえ					
④やさしい(わかりやすい)本やマンガの品ぞろえ					
⑤対面音訳サービスの環境や方法					
⑥利用方法の案内のわかりやすさ					
⑦イベントなどの情報発信					

問7 問5で「知っているが利用したことがない」と回答した方におたずねします。バリアフリーサービスを利用しない最大の理由を教えてください。(○は1つだけ) → 問8へ

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 図書館に行くことが難しい | 2 読みたい本が特にない |
| 3 図書館を利用する必要がない | 4 本に興味がない |
| 5 図書館の使い方がわからない | 6 利用できる本がない |
| 7 どのような本があるのかわからない | 8 相談することが難しい |
| 9 自分がサービスの対象かわからない | 10 利用したいサービスがない |
| 11 その他【 | 】 |

問8 普段、暮らしや仕事に必要な情報をどこから得ていますか。

(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------|--------------------------|--------------|
| 1 家族・知人 | 2 ヘルパー | 3 福祉関係施設の職員 |
| 4 行政のお知らせ | 5 インターネットの閲覧 | 6 新聞・雑誌・本の購入 |
| 7 テレビ | 8 ラジオ | 9 学校のお知らせや先生 |
| 10 職場の同僚 | 11 お住まいの近くの図書館 (分館・分室含む) | |
| 12 その他【 | | 】 |

問9 オーテピア高知図書館や高知声と点字の図書館のサービスに関する
ことなど、自由なご意見をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

8.4 行政職員

R2.10.20 修正

『オーテピア高知図書館サービス計画』に基づくアンケート調査
行政職員による図書館活用についてのアンケート調査

このアンケート調査は、『オーテピア高知図書館サービス計画』（平成 29 年～令和 3 年）の改定にあたり、高知県及び高知市職員の図書館の利用状況や満足度等を把握するために行うものです。ご多用のところ恐縮ですが、回答にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、調査は無記名で行い、調査の結果についてはすべて統計的に処理し、他の目的には一切使用しません。

問 1 あなたの職種を教えてください。

（10/20 以降に回答いただく方）会計年度任用職員は「その他」を選び、その旨をご記入ください。

- 1 行政職（事務職）
- 2 行政職（技術職）
- 3 技能職
- 4 研究職
- 5 福祉職（事務系以外）
- 6 医療職（病院以外）
- 7 その他（ ）

問 2 あなたの年齢を教えてください。

- 1 ～20代
- 2 30代
- 3 40代
- 4 50代
- 5 60代～

問 3 あなたの職位を教えてください。

専門員は「主幹級」を選んでください。

（10/20 以降に回答いただく方）会計年度任用職員等は「その他」を選んでください。

（県）主事級 主査級 主幹級 主任級 チーフ級 課長補佐級 課長級 副部長級 部長級

その他

（市）主事・技師級 主査補・技査補級 主査・技査級 主任級 係長級 課長補佐級 課長級

副部長級 部長級 その他

問 4 現在の勤務先（所属）の部局名を教えてください。

(県) 総務部 危機管理部 健康政策部 地域福祉部 文化生活スポーツ部 産業振興推進部
 中山間振興・交通部 商工労働部 観光振興部 農業振興部 林業振興・環境部
 水産振興部 土木部 会計管理局 議会事務局 教育委員会事務局
 行政委員会 (監査委員事務局・人事委員会事務局・労働委員会事務局・収用委員会事務局・高知海
 区漁業調整委員会事務局)
 その他 ()

(市) 総務部 防災対策部 財務部 市民協働部 健康福祉部 こども未来部 環境部
 商工観光部 農林水産部 都市建設部
 会計管理者 (出納) 上下水道局 消防局 教育委員会 議会事務局
 行政委員会
 その他 ()

問 5 あなたは、オーテピア高知図書館・高知市民図書館分館分室の共通利用カードを持っていますか。

- 1 持っている
- 2 持っていない
- 3 わからない

問 6 オーテピア高知図書館が「行政支援サービス」として提供している以下のサービスや取組を知っていますか。また、現在の所属の業務に関連して、これらのサービスを利用したり、連携した取組をしたことはありますか。

(①～⑫のそれぞれ該当する枠に○をつけてください)

【選択肢】 知っていて使ったことがある
 知っているが使ったことがない
 知らない

- ① 団体貸出サービス
50 冊を上限として本を 1 か月間貸し出します。
- ② 調べものの案内 (レファレンスサービス)
図書館司書が、資料の紹介や調べ方の案内をして、調べものをお手伝いします。
- ③ データベースの提供
新聞記事や法情報、農業情報、商圏分析企業情報、市場動向などを調査できるオンラインデータベースを導入・提供しています。利用は無料です。公務で使うときは印刷料金が免除される場合があります。
- ④ 貸し施設 (オーテピア 4 階のホール・研修室・集会室)
会議や催し物に利用できるホール、研修室、集会室があります。
- ⑤ チラシやパンフレットの館内設置
各フロアのラックにチラシ・パンフレットを設置することができます。

R2.10.20 修正

- ⑥ 視聴覚機材の団体貸出
団体での使用を目的として、視聴覚の機材（プロジェクターなど）を貸し出します。
- ⑦ 貴重資料の画像データの提供
デジタル化された歴史的資料の画像データを提供します。パッケージデザイン等にも活用いただけます。
- ⑧ 連携展示の実施
各所属の事業紹介や普及・啓発にあたり、図書館内の展示スペースを活用いただけます。テーマに合わせて図書館の本を選び、ポスター掲示等と一緒に展示します。
- ⑨ ブックリストの作成・提供
テーマや対象別に作成する本のリストです。ご相談があれば、イベント等のテーマに合わせて作成することも可能です。
- ⑩ 貸し施設（ホール・研修室・集会室）でイベントを開催する際の関連本展示
イベントのテーマや対象に合わせて本を選び、会場内に展示します。貸出しを希望する場合、2階・3階にお持ちいただき、セルフ貸出機等で手続きしていただきます。
- ⑪ 出前図書館の実施
講演会や研修などの内容に合わせた本を図書館から会場にお持ちし、希望者にその場で貸し出すサービスです。
- ⑫ 図書館活用方法の説明のための講師派遣
図書館司書がセミナーや相談会、イベント等で、図書館の活用方法やサービスを周知するための講座

問7 普段、あなたは、仕事に必要な情報をどのように入手していますか。（〇はいくつでも）

- 1 インターネットの閲覧
- 2 個人で書籍・新聞・雑誌を購入
- 3 所属で業務用の書籍・新聞・雑誌を購入
（新聞・雑誌の名称：）
- 4 所属で契約しているデータベース
（データベースの名称：）
- 5 専門機関・団体によるサービス（ウェブ・サイト、メールマガジンなど）
（機関・団体やサービスの名称：）
- 6 オーテピア高知図書館の利用
- 7 近隣の市町村立図書館（分館・分室を含む）の利用
- 8 その他
（具体的に：）

オーテピア高知図書館は、図書館サービスを通して、暮らしや仕事で直面する「疑問」や「困りごと」の解決の支援に取り組んでいます。

問8 図書館の活用は、あなたの仕事や勤務先（所属）の業務に役立つと思いますか。

【選択肢】

- 1 そう思う
- 2 おおむねそう思う
- 3 あまり思わない
- 4 思わない
- 5 わからない

問 8－1 問 8 で「あまり思わない」「思わない」と答えた方におたずねします。役立たないと思う理由を教えてください。

【選択肢】

- 1 図書館を利用しても、必要な資料・情報を得られない
- 2 図書館の利用方法が煩雑で、利用したいと思わない
- 3 図書館を利用して、必要な資料・情報を探す時間がない
- 4 図書館の利用以外の方法で、必要な資料・情報を得ることができる
- 5 図書館を利用してまで、資料・情報を得る必要性がない
- 6 仕事や勤務先（所属）の業務に図書館がどう役立つか、想像がつかない
- 7 その他（ ）

問 9 オータピア高知図書館のこれからのサービスについて、どのようなことを期待しますか。期待する項目を選んでください（3 つ以内）。

- ① 本や雑誌の品ぞろえ
- ② 特にビジネスや就職活動に役立つ本や雑誌の品ぞろえ
- ③ 特に健康づくりや防災に役立つ本や雑誌の品ぞろえ
- ④ 特に資格取得や学び直しに役立つ本や雑誌の品ぞろえ
- ⑤ 電子図書館の品ぞろえ
- ⑥ 図書館を業務に生かすための活用方法を学ぶ機会
- ⑦ さまざまなセミナーや相談会で学ぶ機会
- ⑧ 新しいコミュニケーションツールを活用した調べものの相談
- ⑨ 専門的な調べものの相談に対応できるよう職員の資質向上

問 10 オータピア高知図書館のサービスについて、自由なご意見をお聞かせください。

【自由記述】

